

厚生労働省「平成29年基礎的ITリテラシーの習得カリキュラムに関する調査研究事業」

ITユーザー企業におけるIT利活用に関する調査 アンケート結果報告書（業種別・職種別集計編）

2018年3月

III. 業種別/職種別の集計結果	…P 2
1. 企業の基礎情報	… 2
1) 操業年	… 3
2) 社員数	… 4
3) 業種及び職種	… 5
2. 従来技術に係る活用状況	… 6
1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿	… 7
3. 新技術に係る活用状況	… 1 5
1) 新技術の認知度合	… 1 6
2) 活用意向・状況	… 2 1
3) 活用理由	… 2 6
4) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿	… 2 8
4. 人材確保方法、従業員育成状況	… 3 8
1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向	… 3 9
2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向	… 4 7
3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル	… 5 7
4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル	… 6 5

III. 業種別/職種別の集計結果

1. 企業の基礎情報

- 1) 操業年数及び社員数
- 2) 業種
- 3) 最もITを活用する職種
- 4) 業種×職種

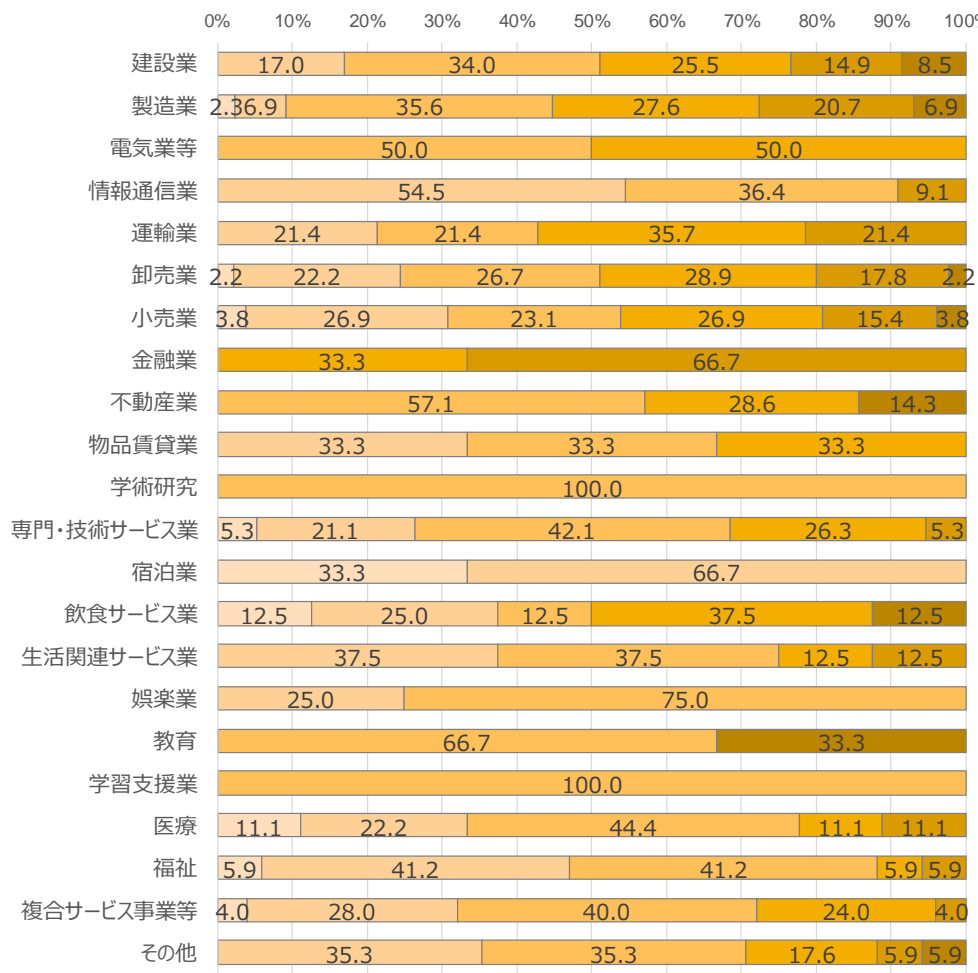
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 1. 企業の基礎情報

1) 操業年数

- 操業年数に関する全体の傾向として「30～49年」が34.4%と最も高く、次いで「50～69年」が23.9%と高いのに対し、業種別では情報通信産業、小売業、飲食サービス業及び福祉業以外の業種において「30～49年」が最も高い傾向にある。
- 職種別では、サービス職及び建設・採掘職以外の職種において「30～49年」が最も高い傾向にある。

業種別操業年数

N=360

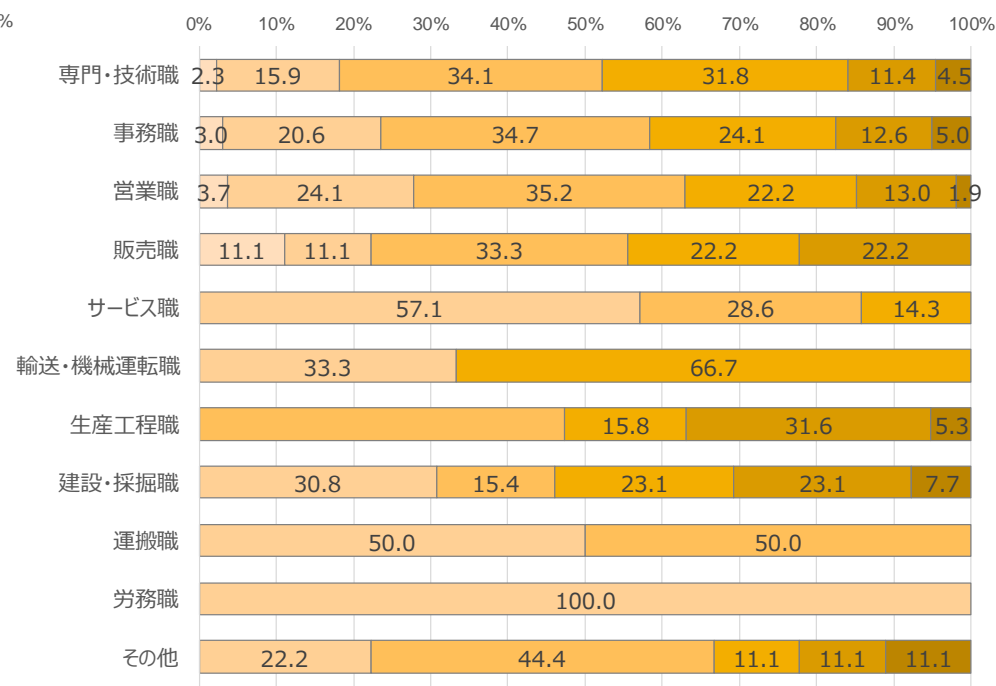


□ 10年未満 □ 10～29年 □ 30～49年 □ 50～69年 □ 70～99年 □ 100年以上

(%)

職種別操業年数

N=360



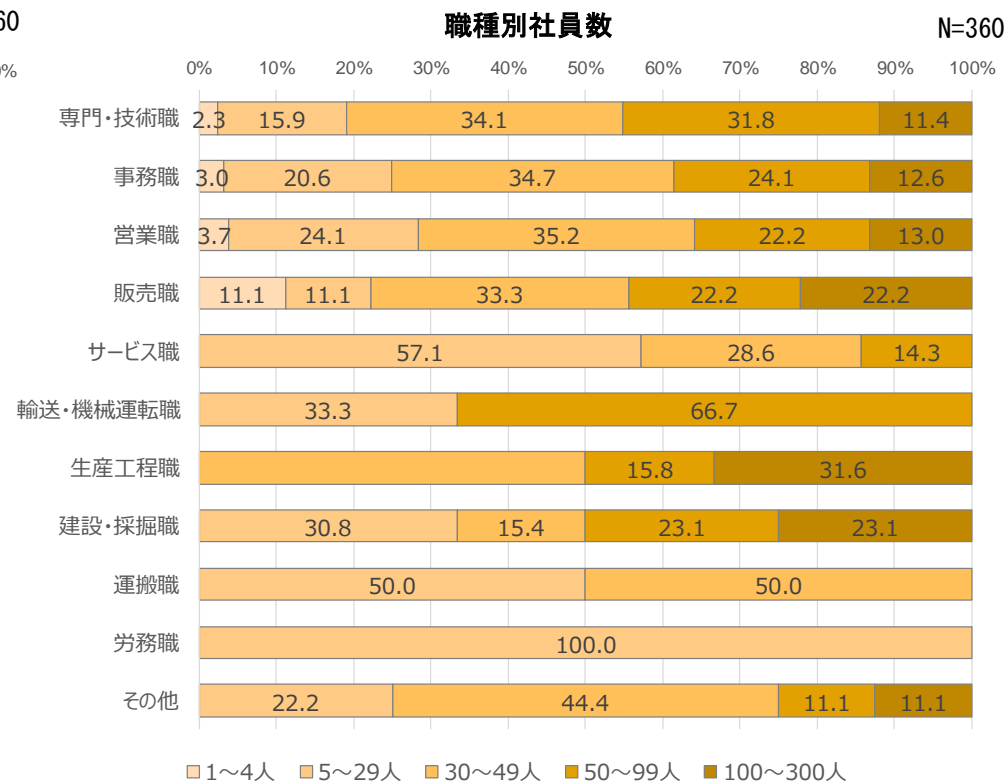
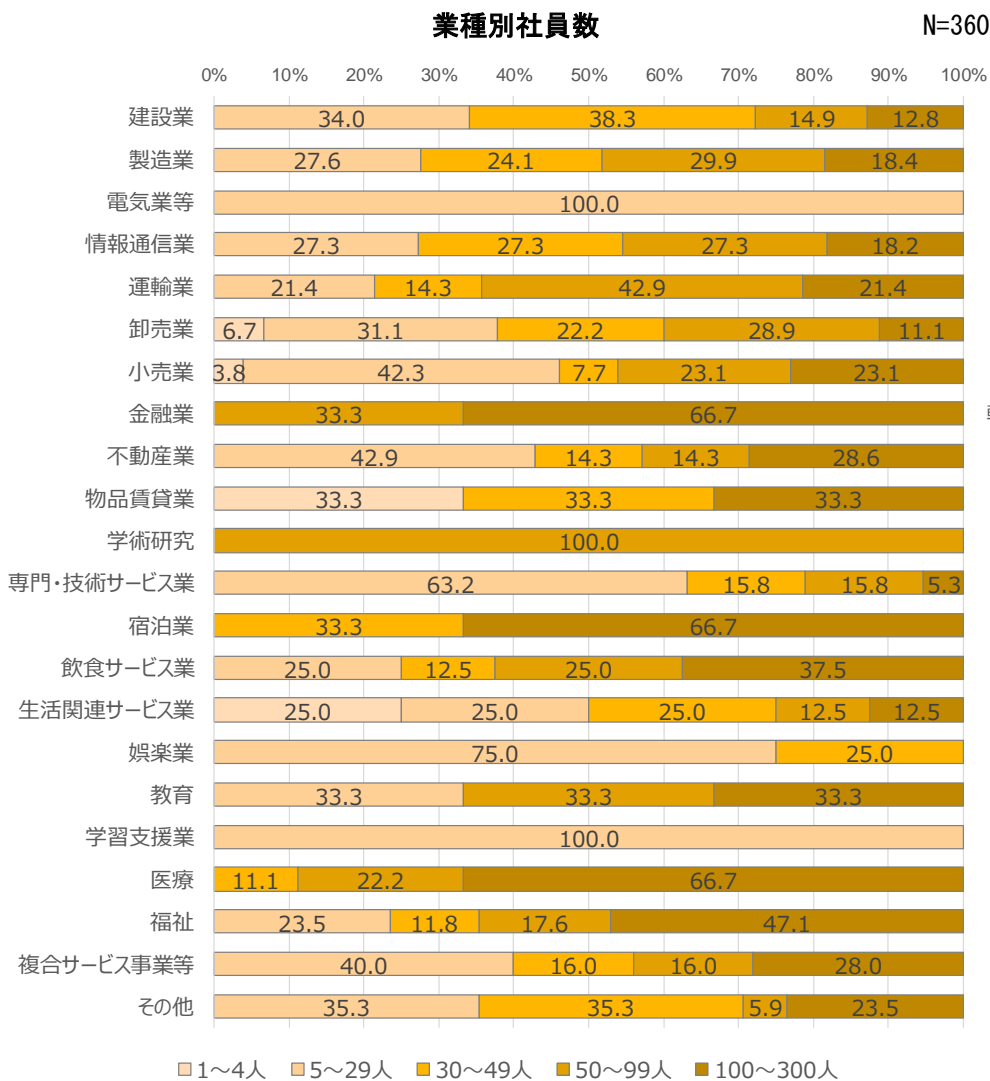
□ 10年未満 □ 10～29年 □ 30～49年 □ 50～69年 □ 70～99年 □ 100年以上

(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 1. 企業の基礎情報

2) 社員数

- 社員数に関する全体的な傾向として「5～29人」が32.5%と最も高く、次いで「50～99人」が22.5%と高いのに対し、業種別では卸売業、小売業、不動産業、専門・技術サービス業及び複合サービス事業等において「5～29人」が最も高い。
- 職種別では、サービス職及び建設・採掘職において「5～29人」が最も高い。



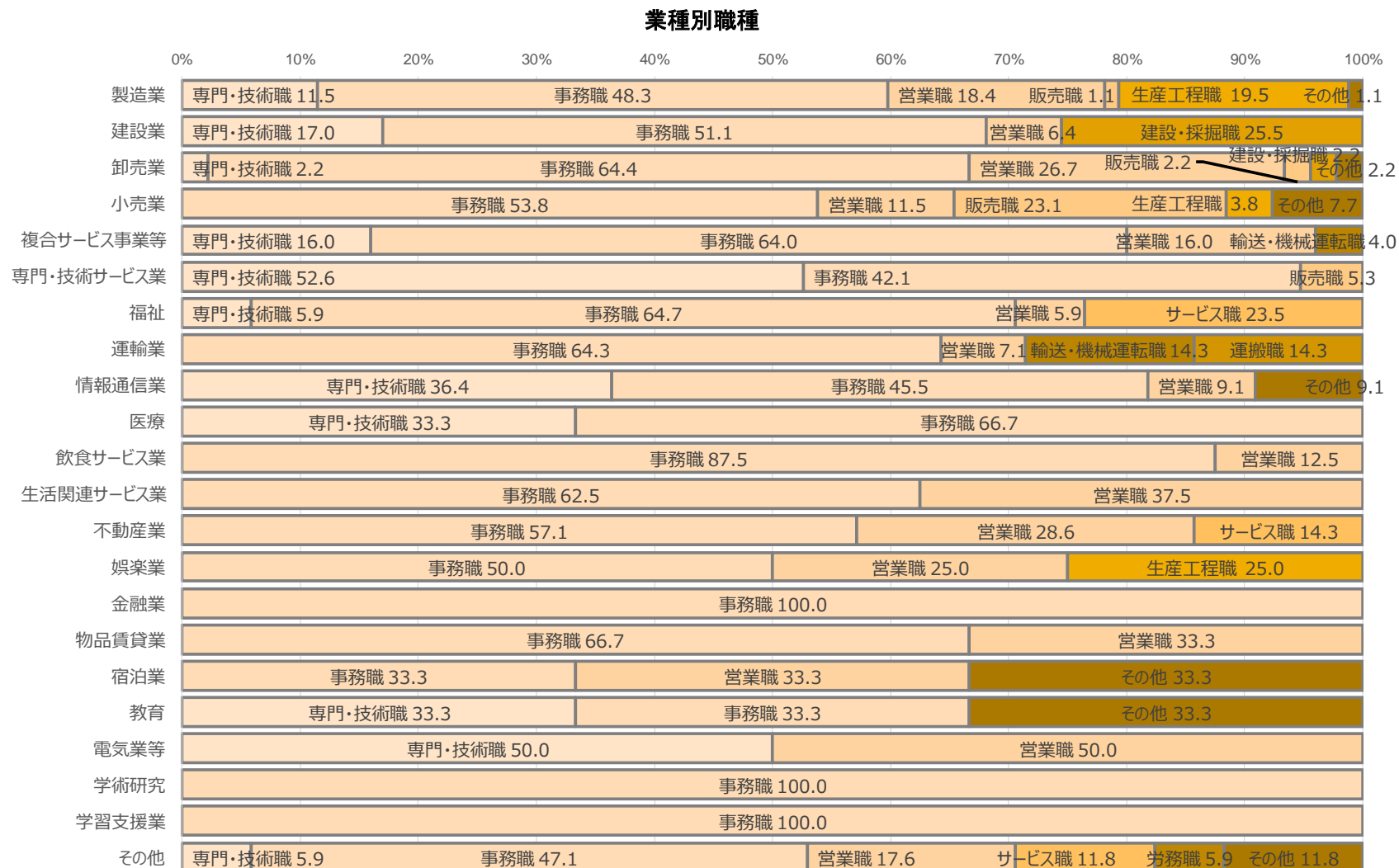
(%)

(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 1. 企業の基礎情報

4) 業種別職種

- 上位3業種において最もITを活用する職種としては、いずれの業種も「事務職」が最も高い。
- 製造業では、「生産工程職」が19.5%と事務職に次いで高い。
- 建設業では、「建設・採掘職」が25.5%と事務職に次いで高い。
- 卸売業では、「営業職」が26.7%と事務職に次いで高い。



III. 業種別/職種別の集計結果

2. 従来技術に係る活用状況

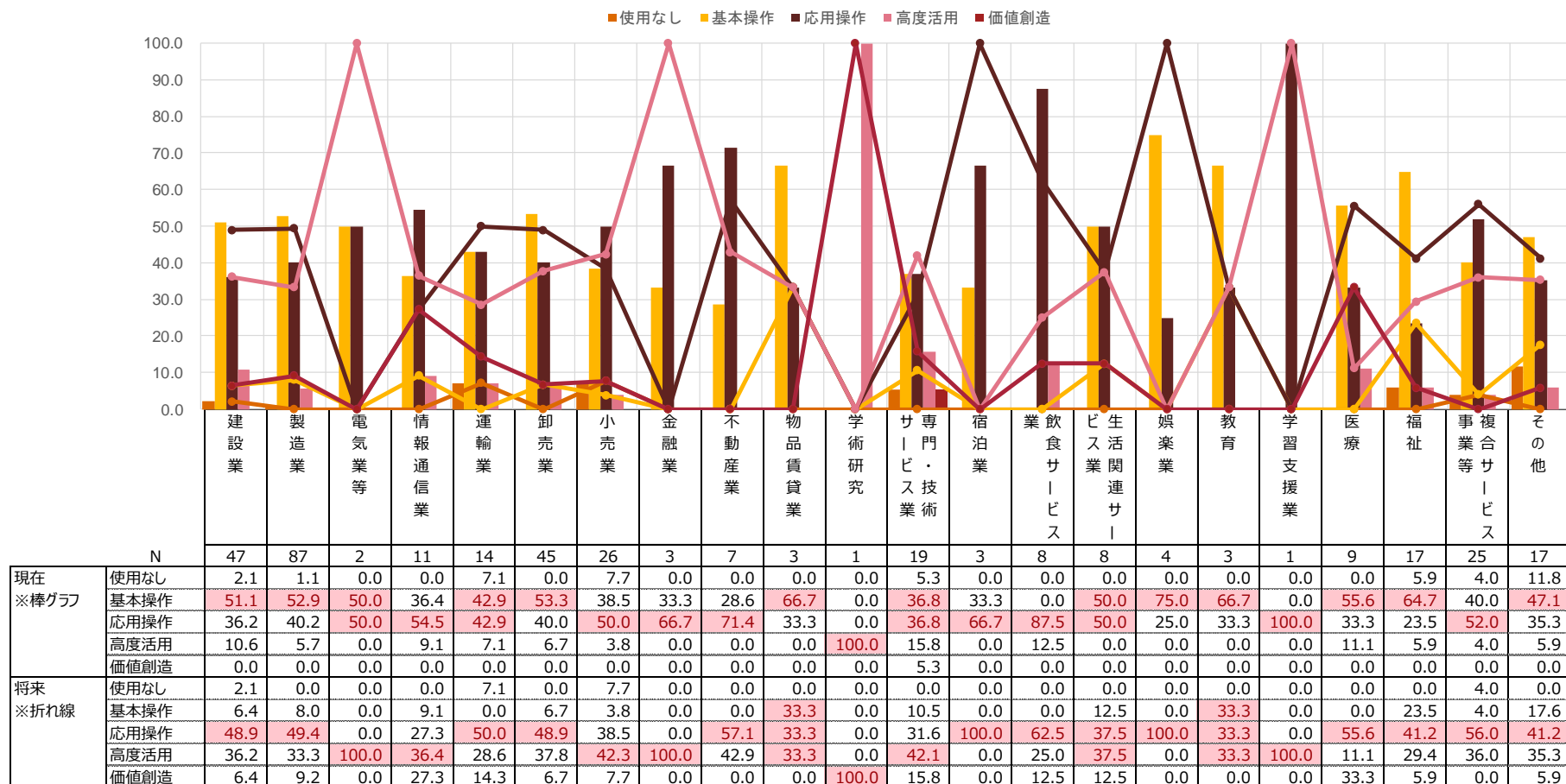
1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 2. 従来技術に係る活用状況

1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ①表計算ツール【業種別】 1/2

- 現在の活用段階に関する全体的な傾向として「基本操作」が最も高く、次いで「応用操作」が高いのに対し、業種別では情報通信業、小売業、金融業、不動産業、宿泊業及び複合サービス事業等においては「応用操作」が最も高く、次いで「基本操作」が高い。
- 将来、到達してほしい姿に関する全体的な傾向としては、「応用操作」が最も高く、次いで「高度活用」が高いのに対し、業種別では情報通信業及び専門・技術サービス業においては「高度活用」が最も高く、次いで「応用操作」が高い。

表計算ツールの現在と将来の活用状況（業種別）



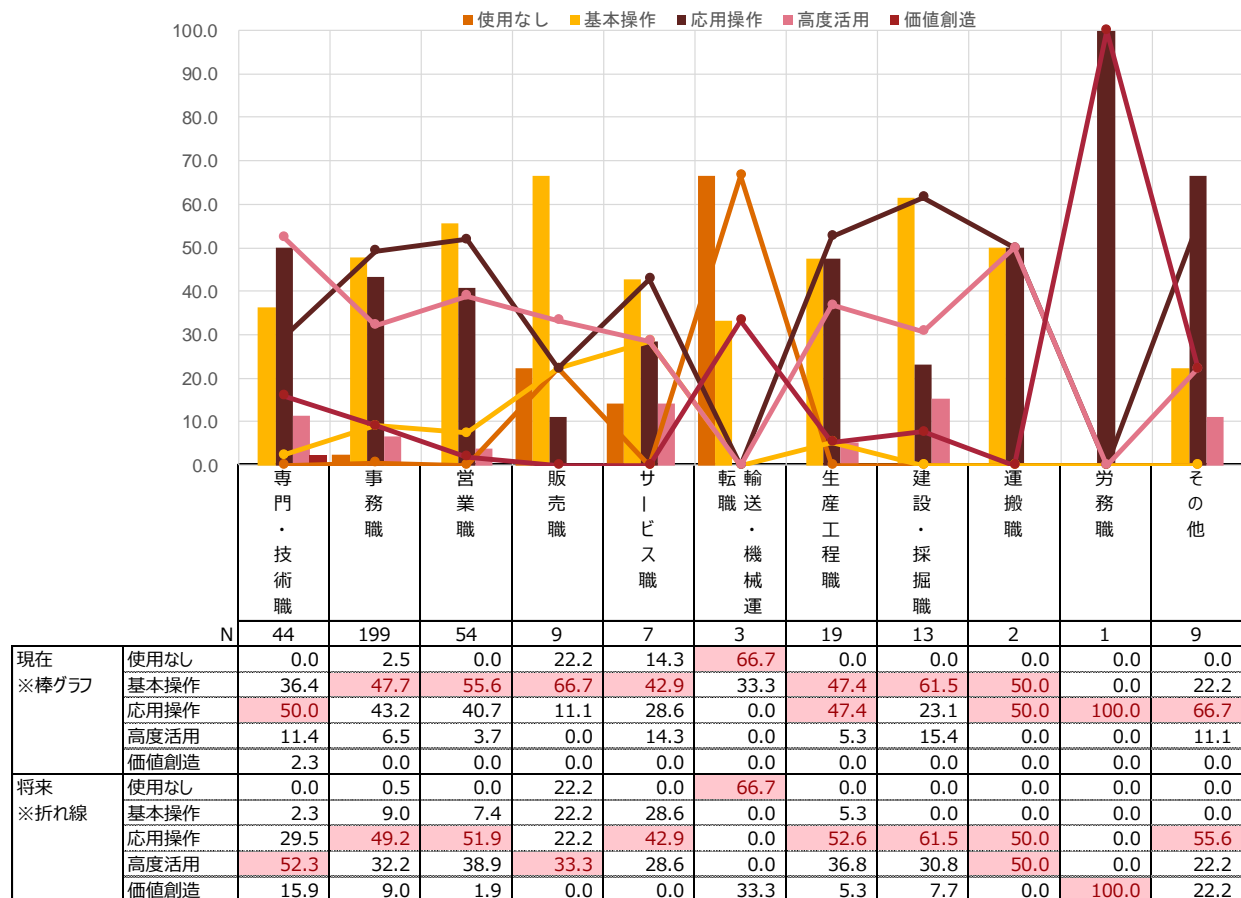
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 2. 従来技術に係る活用状況

1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ①表計算ツール【職種別】 2/2

- 職種別では、現在の活用段階に関する全体的な傾向として「基本操作」が最も高く、次いで「応用操作」が高いのに対し、専門・技術職においては「応用操作」が最も高く、次いで「基本操作」が高い。
- 将来、到達して欲しい姿については、全体的な傾向としては「応用操作」が最も高く、次いで「高度活用」が高いのに対し、専門・技術職においては「高度活用」が最も高く、次いで「応用操作」が高い。

表計算ツールの現在と将来の活用状況（職種別）



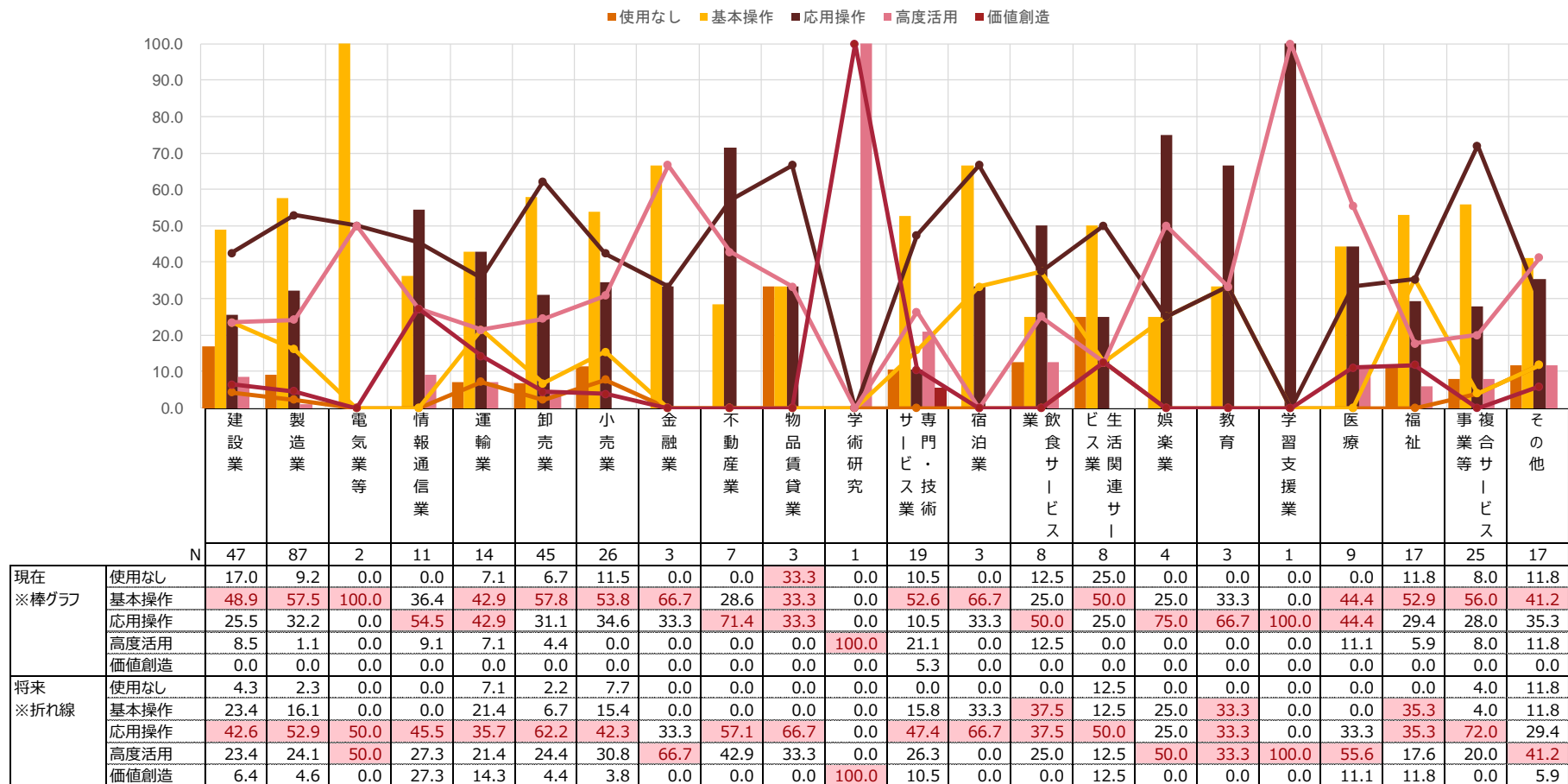
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 2. 従来技術に係る活用状況

1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ②文書・資料作成ツール【業種別】 1/2

- 現在の活用段階に関する全体的な傾向として「基本操作」が最も高く、次いで「応用操作」が高いのに対し、業種別では情報通信業、不動産業、飲食サービス業以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 将来、到達してほしい姿に関する全体的な傾向としては、「応用操作」が最も高く、次いで「高度活用」が高いのに対し、業種別では情報通信業及び専門・技術サービス業においては「高度活用」が最も高く、次いで「応用操作」が高い。

文書・資料作成ツールの現在と将来の活用状況（業種別）



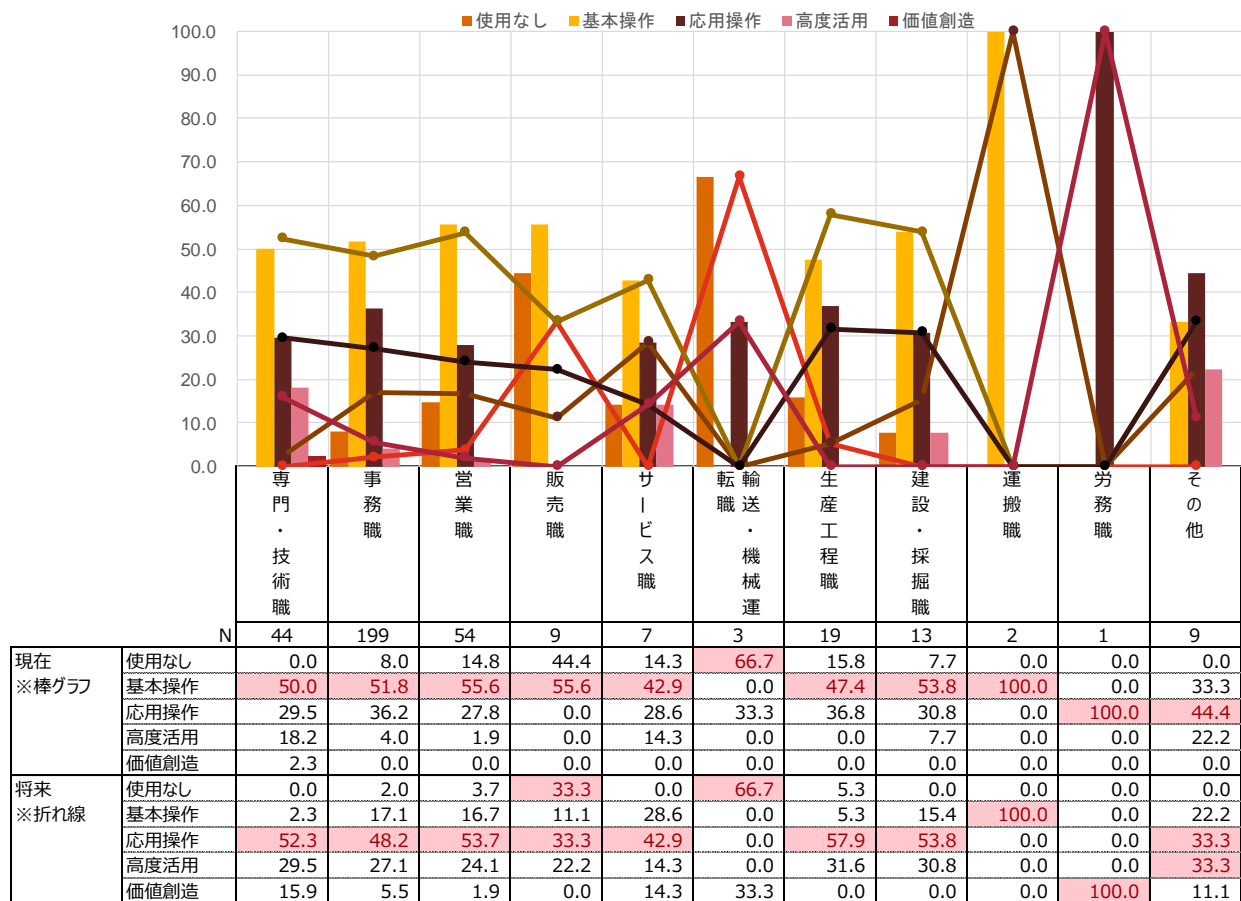
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 2. 従来技術に係る活用状況

1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ②文書・資料作成ツール【職種別】 2/2

- 現在の活用段階に関する全体的な傾向として「基本操作」が最も高く、次いで「応用操作」が高いのに対し、職種別でも同様の傾向にある。
- 将来、到達してほしい姿に関する全体的な傾向としては、「応用操作」が最も高く、次いで「高度活用」が高いのに対し、職種別でも同様の傾向にある。

文書・資料作成ツールの現在と将来の活用状況（職種別）



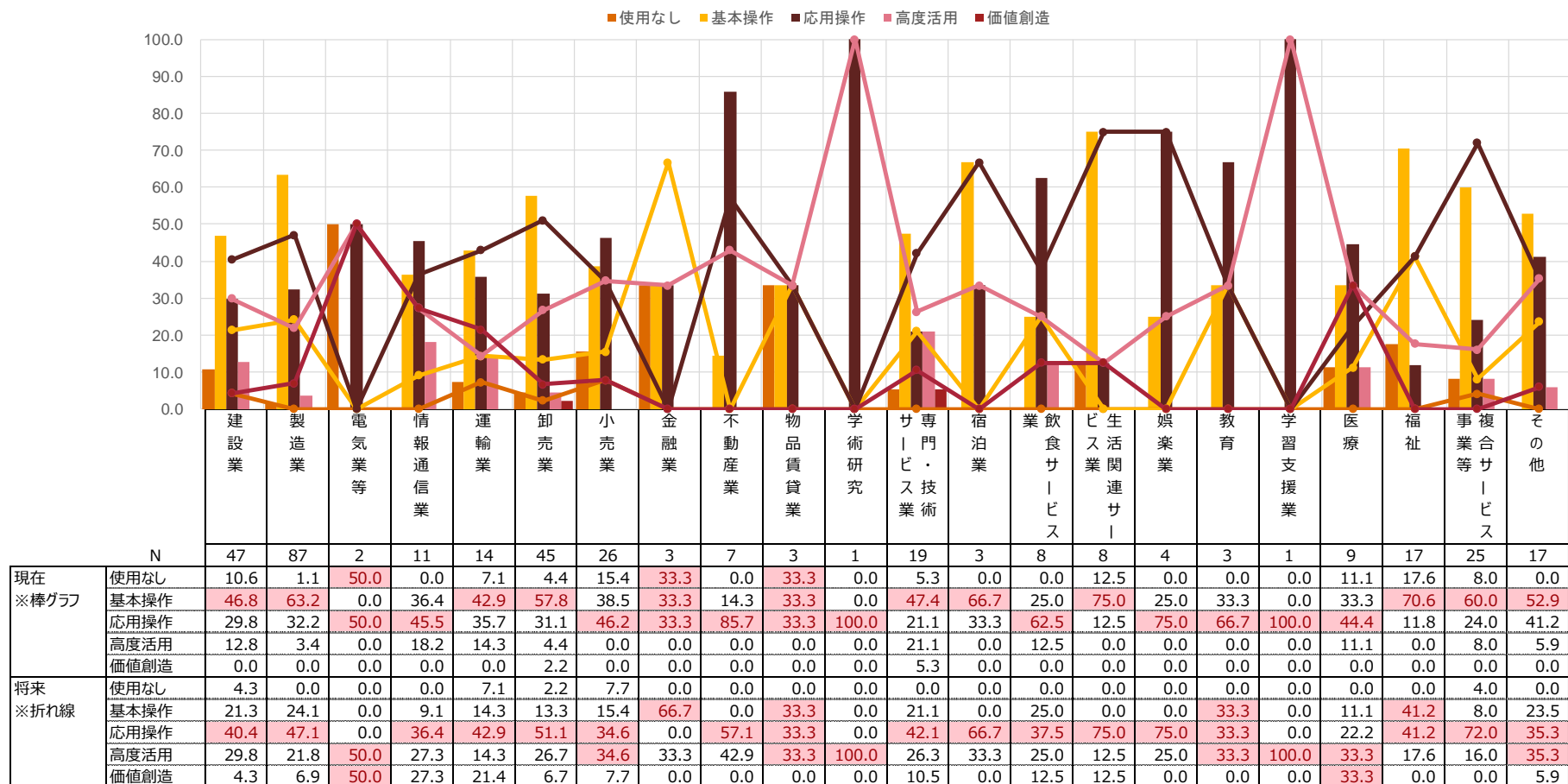
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 2. 従来技術に係る活用状況

1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ②コミュニケーションツール【業種別】 1/2

- 現在の活用段階に関する全体的な傾向として「基本操作」が最も高く、次いで「応用操作」が高いのに対し、業種別では情報通信業、小売業、不動産業及び飲食サービス業においては「応用操作」が最も高く、次いで「基本操作」が高い。
- 将来、到達してほしい姿に関する全体的な傾向としては、「応用操作」が最も高く、次いで「高度活用」が高いのに対し、業種別でも同様の傾向にある。

コミュニケーションツールの現在と将来の活用状況（業種別）



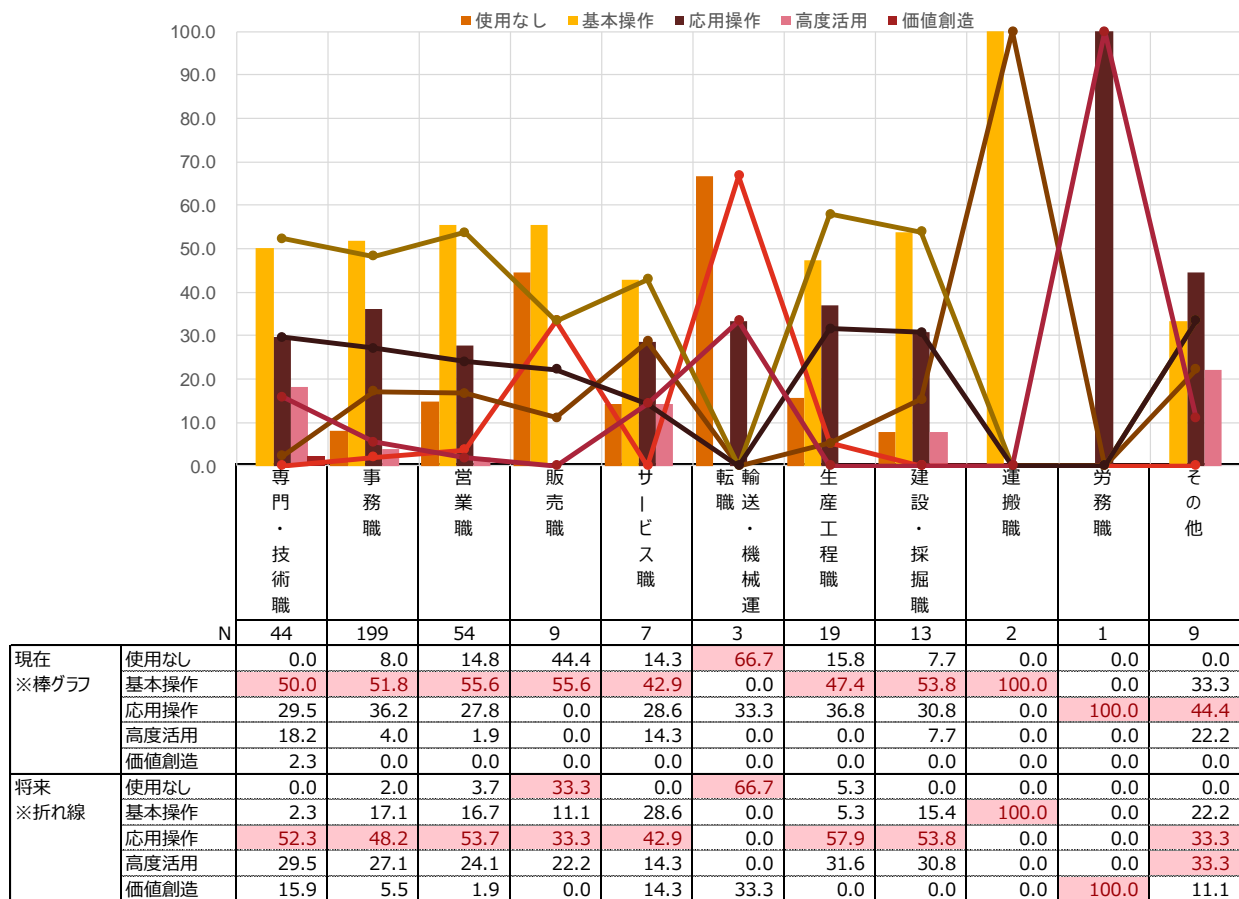
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 2. 従来技術に係る活用状況

1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ②コミュニケーションツール【職種別】 2/2

- 現在の活用段階に関する全体的な傾向として「基本操作」が最も高く、次いで「応用操作」が高いのに対し、職種別でも同様の傾向にある。
- 将来、到達してほしい姿に関する全体的な傾向としては、「応用操作」が最も高く、次いで「高度活用」が高いのに対し、職種別でも同様の傾向にある。

コミュニケーションツールの現在と将来の活用状況（職種別）



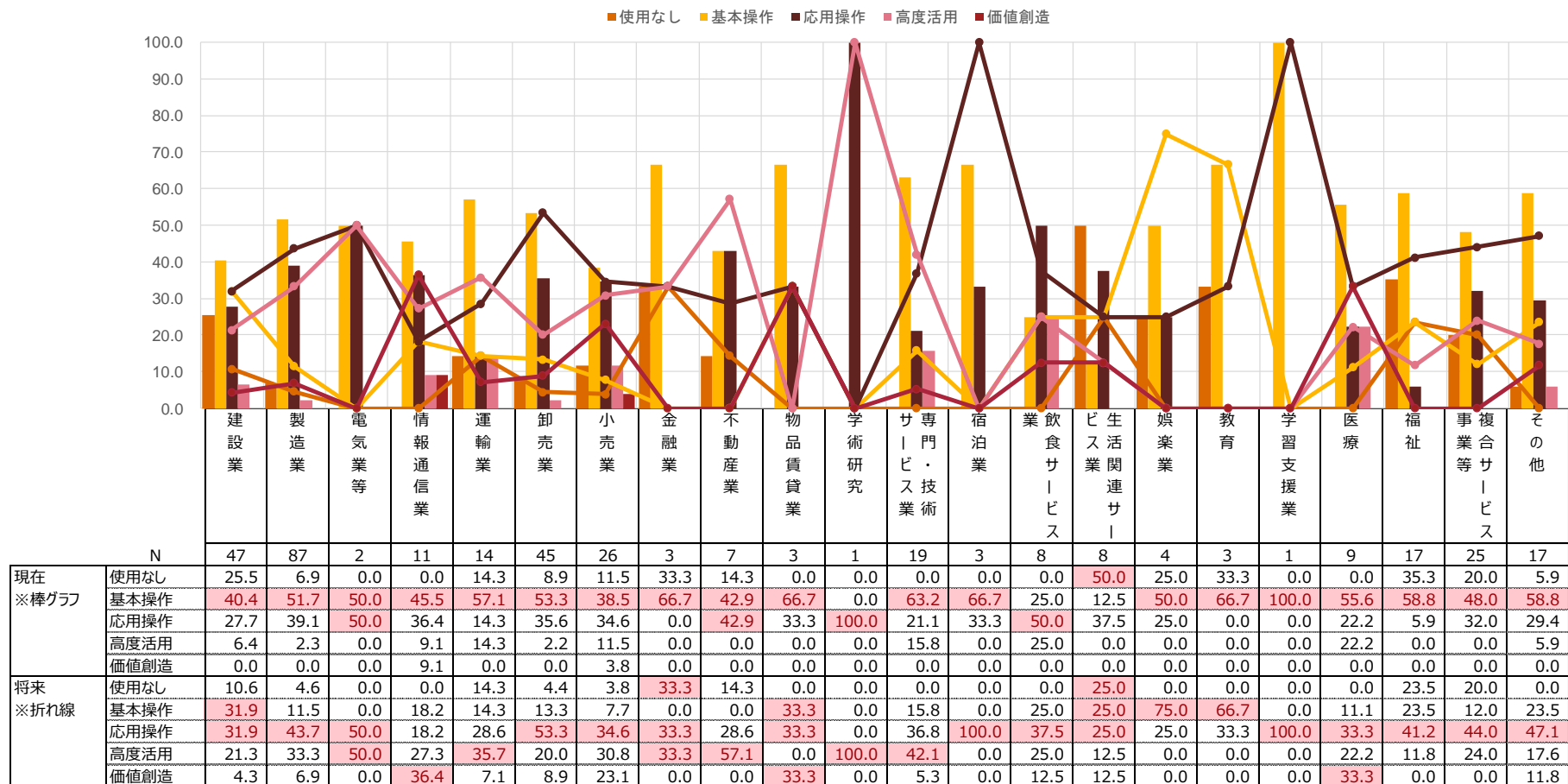
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 2. 従来技術に係る活用状況

1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ②業務システム【業種別】 1/2

- 現在の活用段階に関する全体的な傾向として「基本操作」が最も高く、次いで「応用操作」が高いのに対し、業種別では飲食サービス業においては「応用操作」が最も高く、また、生活関連サービス業では「使用なし」が最も高い。
- 将来、到達してほしい姿に関する全体的な傾向としては、「応用操作」が最も高く、次いで「高度活用」が高いのに対し、業種別では情報通信業、運輸業、不動産業及び専門・技術サービス業においては「高度活用」が最も高く、次いで「応用操作」が高い。

業務システムの現在と将来の活用状況（業種別）



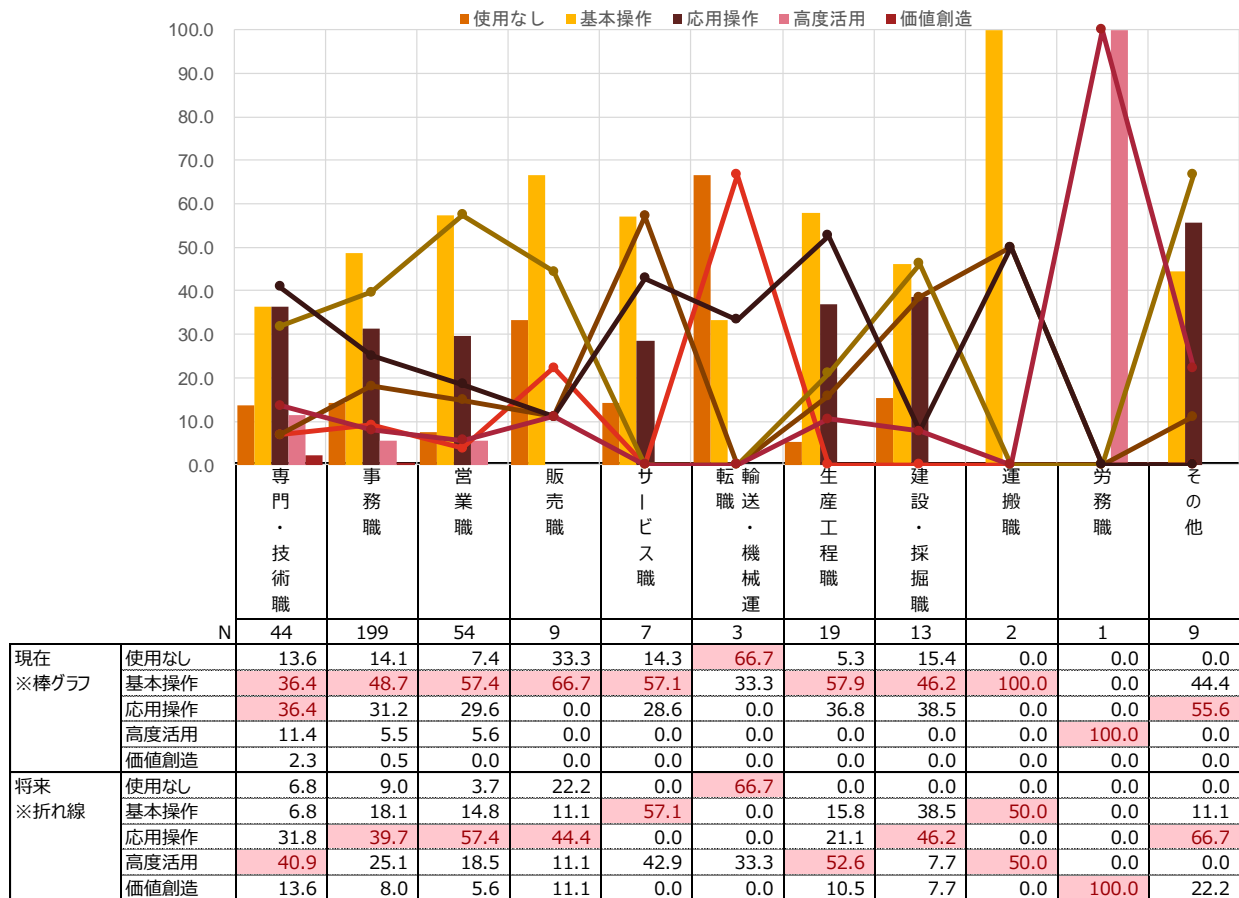
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 2. 従来技術に係る活用状況

1) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ②業務システム【職種別】 2/2

- 現在の活用段階に関する全体的な傾向として「基本操作」が最も高く、次いで「応用操作」が高いのに対し、職種別でも同様の傾向にある。
- 将来、到達してほしい姿に関する全体的な傾向としては、「応用操作」が最も高く、次いで「高度活用」が高いのに対し、職種別では専門・技術職及び生産工程職においては「高度活用」が最も高く、次いで「応用操作」が高い。

業務システムの現在と将来の活用状況（職種別）



(%)

III. 業種別/職種別の集計結果

3. 新技術に係る活用状況

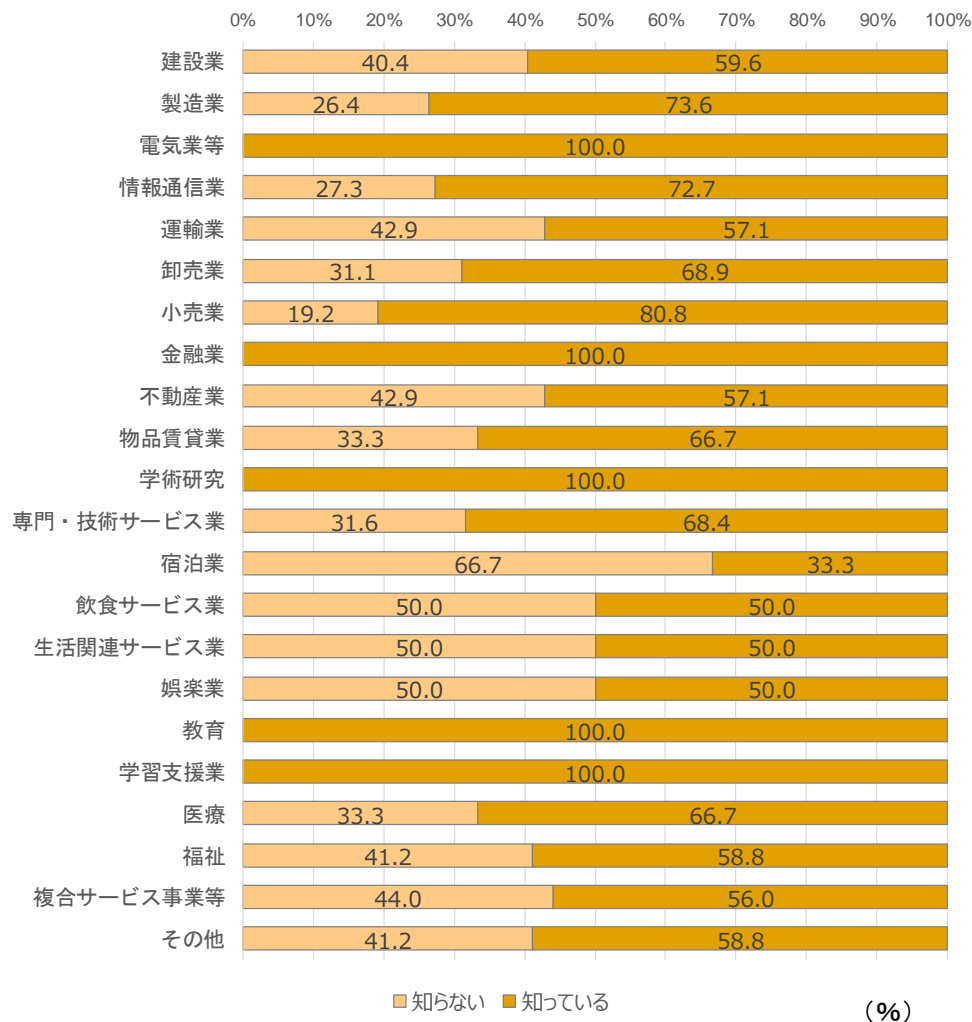
- 1) 新技術の認知度合
- 2) 活用意向・状況
- 3) 活用理由
- 4) 現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

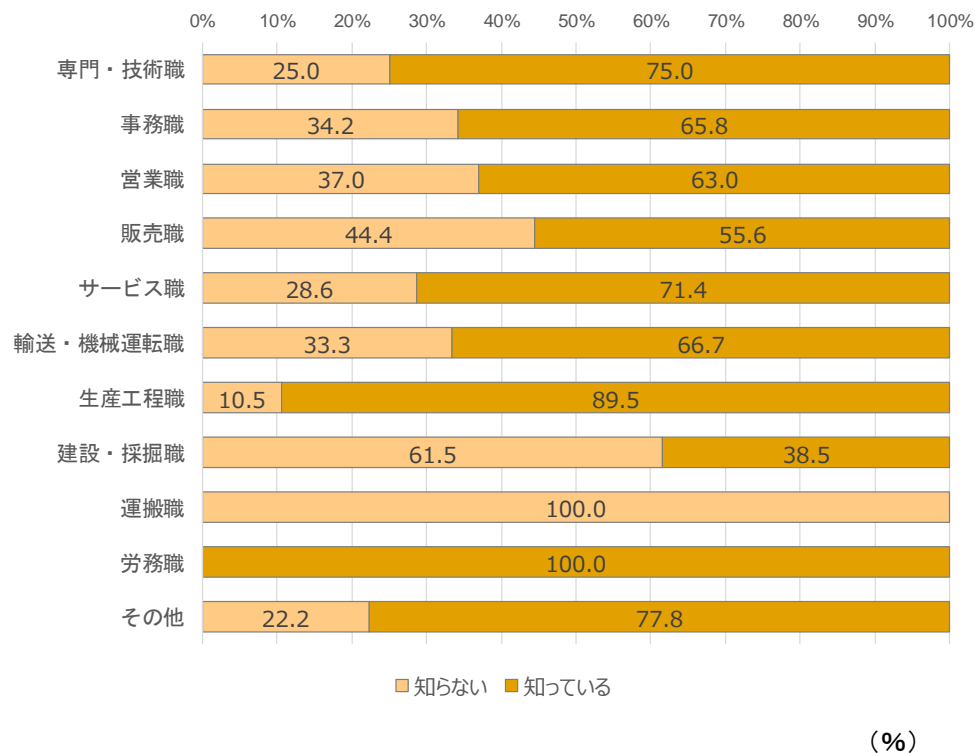
1) 新技術の認知度合 ①IoT

- IoTの認知度に関する全体的な傾向としては、「知っている」が約6割、「知らない」が約3割であるのに対して、業種別でも「知っている」という回答の割合が高い。小売業においては、「知らない」という回答が約2割以下と他業種に比べて低い。
- 職種別では、建設・採掘職以外の職種においては「知っている」という回答の割合が高い。建設・採掘職においては、「知らない」という回答が約6割と他職種と比べて高い。

IoTに係る認知度（業種別）



IoTに係る認知度（職種別）



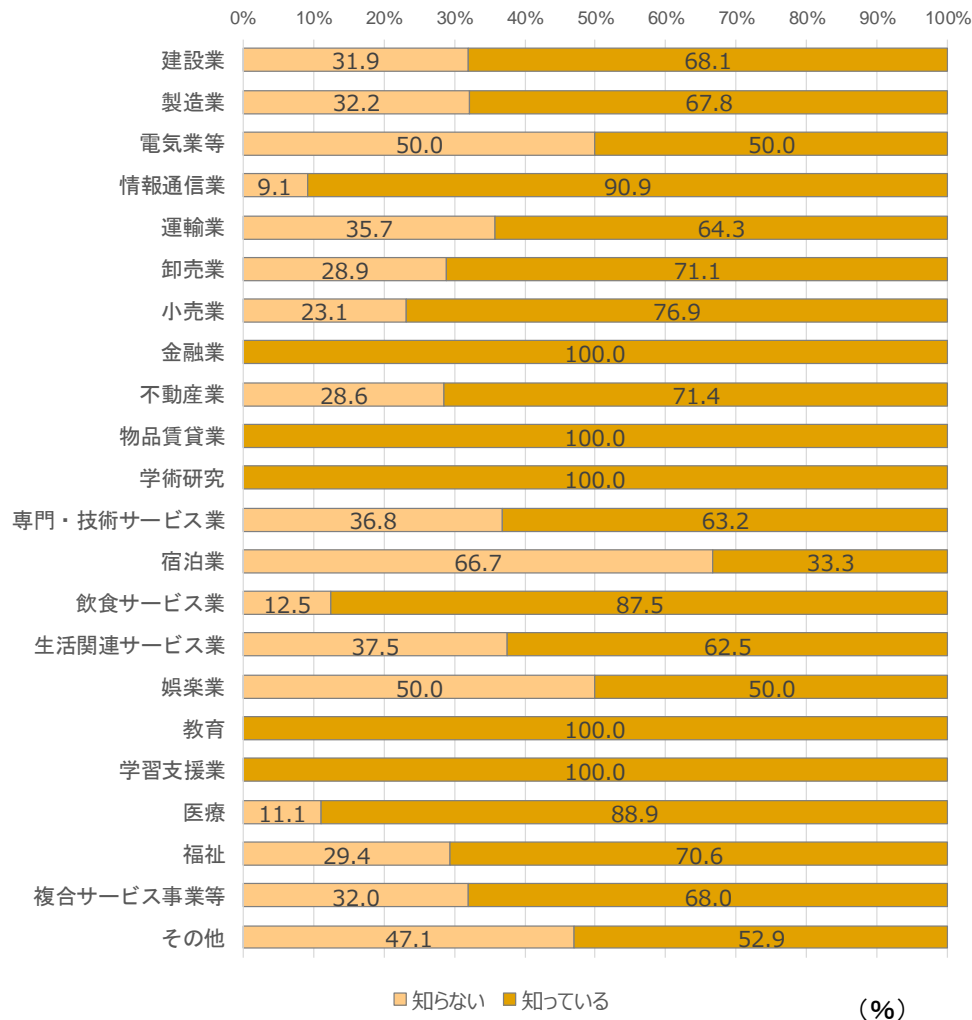
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

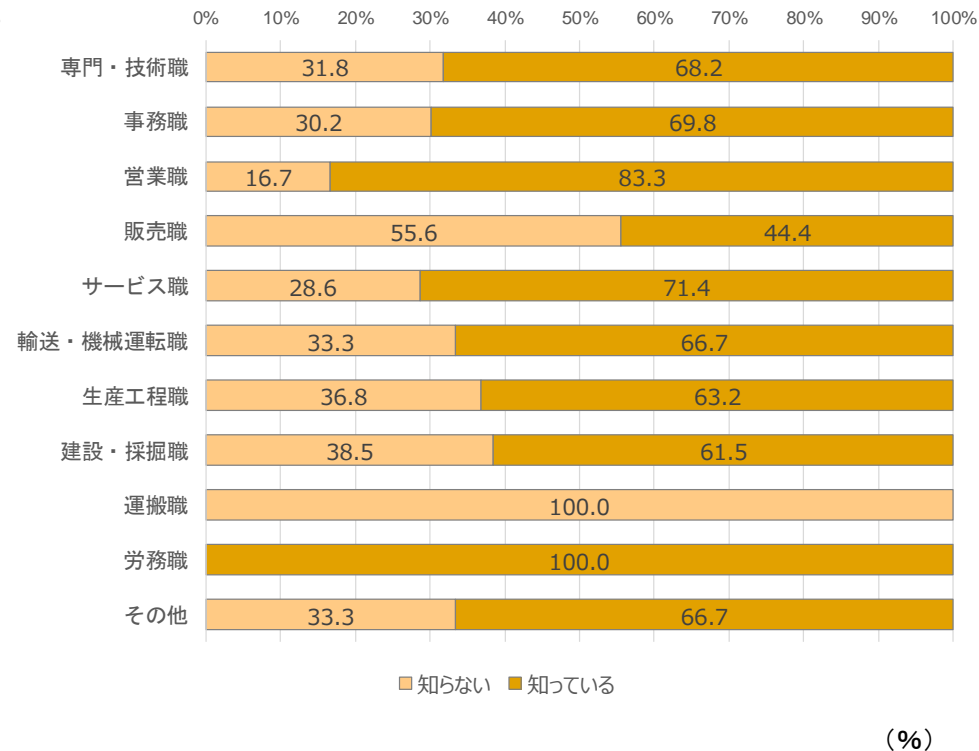
1) 新技術の認知度合 ②ビッグデータ

- ビッグデータの認知度に関する全体的な傾向としては、「知っている」が約7割、「知らない」が3割であるのに対して、業種別でも「知っている」という回答の割合が高い。情報通信業においては、約9割が「知っている」と回答している。
- 職種別では、販売職以外の職種においては「知っている」という回答の割合が高い。販売職においては、「知らない」という回答が約6割と他職種と比べて高い。

ビッグデータに係る認知度（業種別）



ビッグデータに係る認知度（職種別）



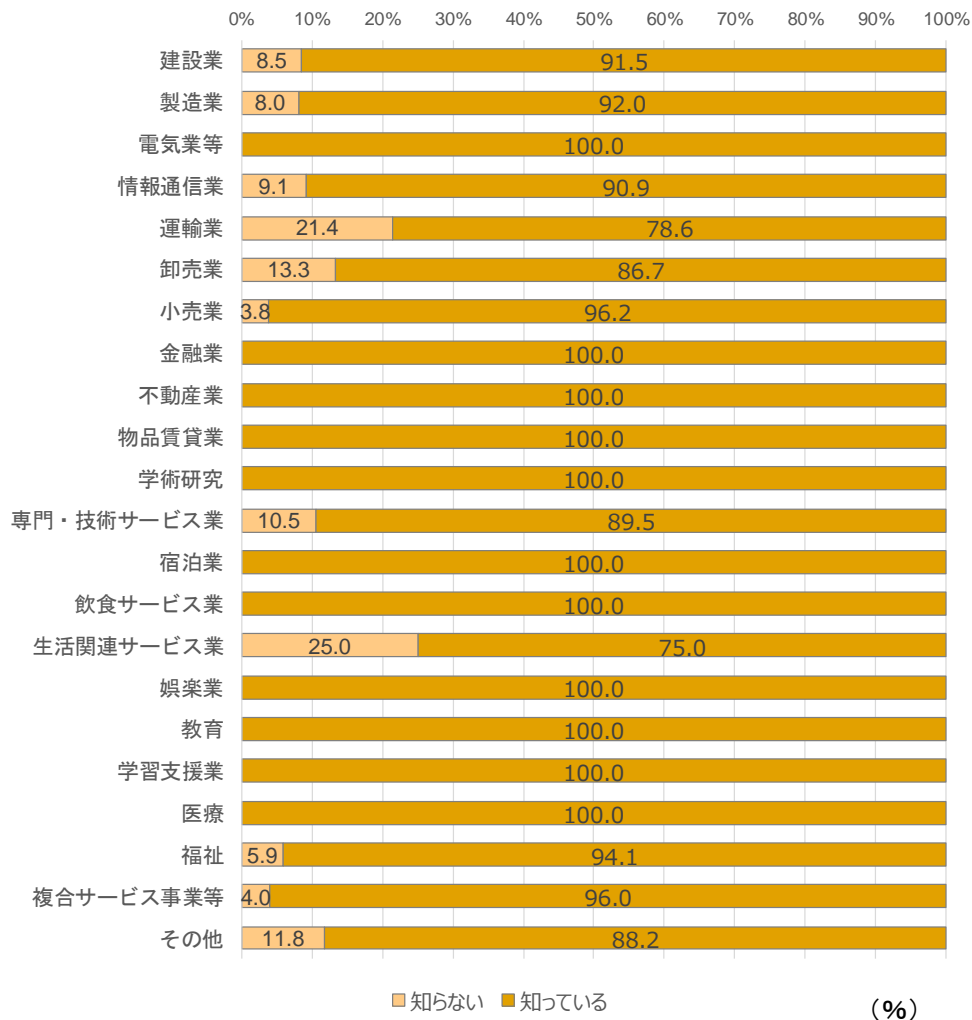
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

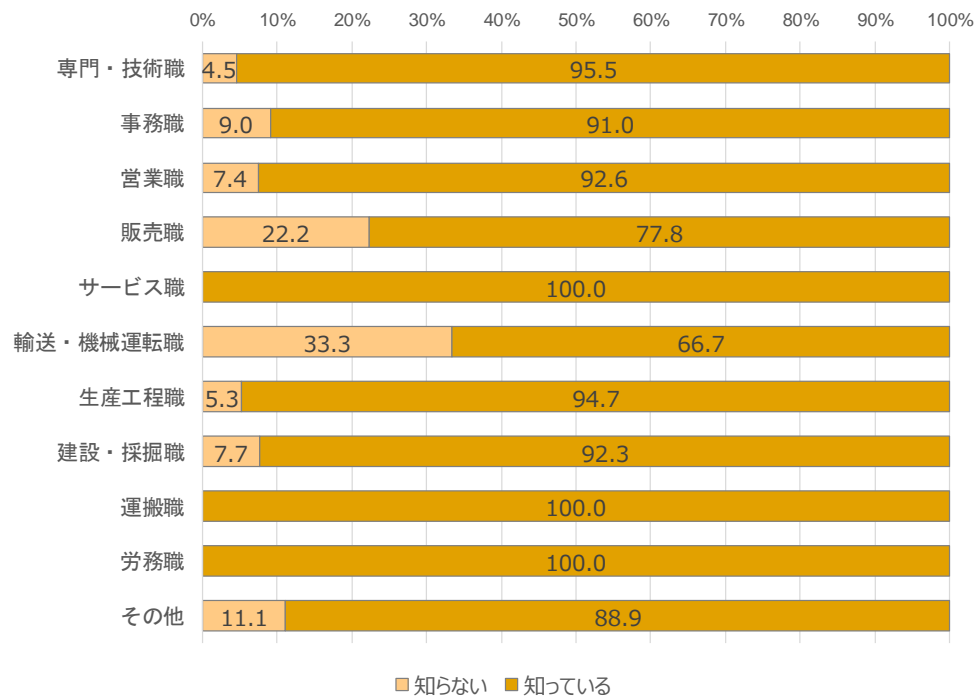
1) 新技術の認知度合 ③AI

- AIの認知度に関する全体的な傾向としては、「知っている」が約9割、「知らない」が約1割であるのに対して、業種別では運輸業及び生活関連サービス業以外の業種においては同様の傾向がみられる。運輸業及び生活関連サービスについては、「知らない」という回答の割合が他業種に比べて高い。
- 職種別では、販売職以外の職種においては同様の傾向がみられる。販売職については、「知らない」という回答の割合が他職種に比べて高い。

AIに係る認知度（業種別）



AIに係る認知度（職種別）



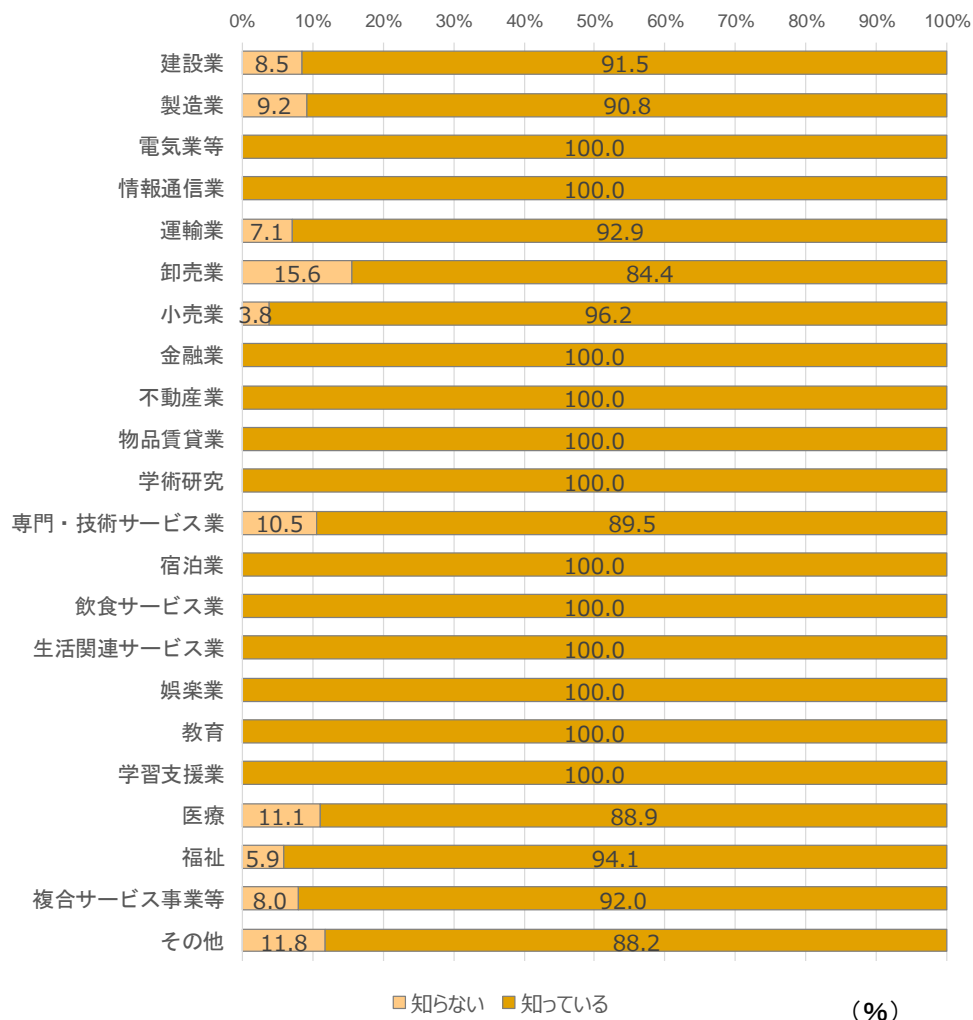
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

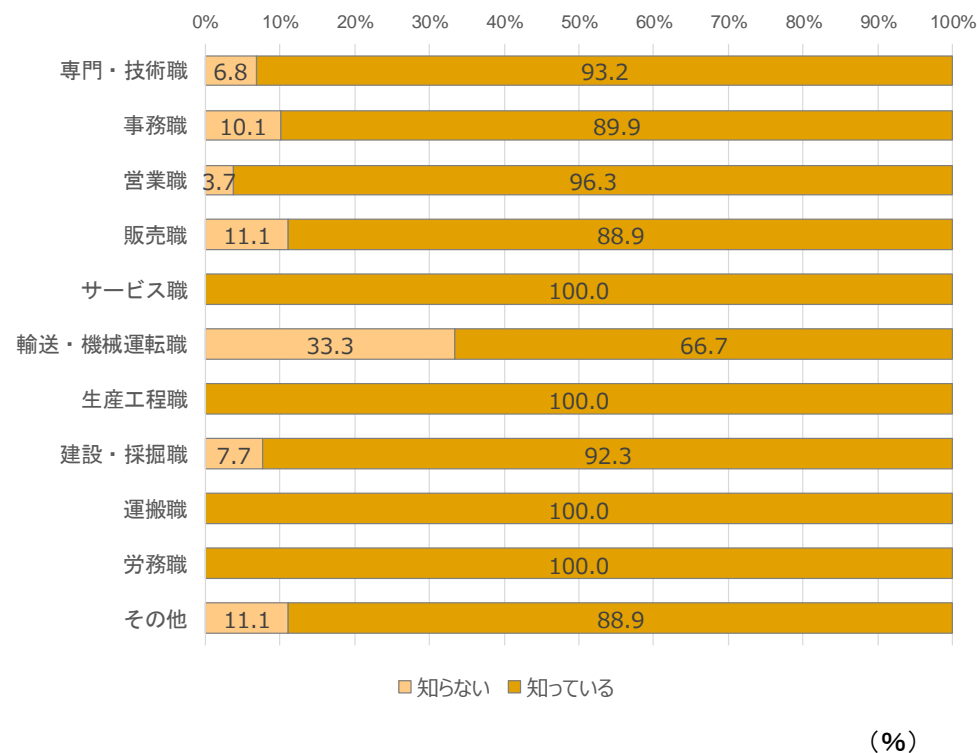
1) 新技術の認知度合 ④ロボット

- ロボットの認知度に関する全体的な傾向としては、「知っている」が約9割、「知らない」が約1割であるのに対して、業種別でも同様の傾向がみられる。卸売業については、他業種に比べて「知らない」という回答がやや高い。
- 職種別でも全体と同様の傾向がみられる。

ロボットに係る認知度（業種別）



ロボットに係る認知度（職種別）



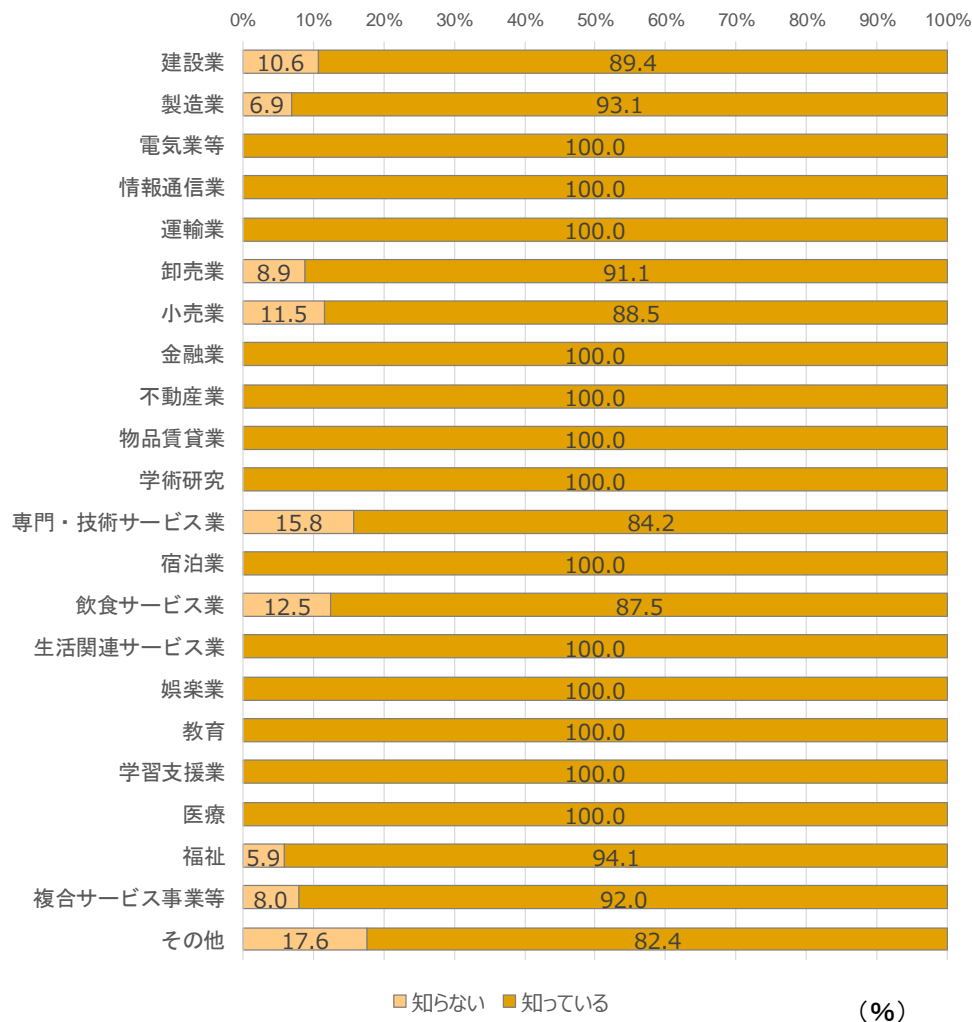
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

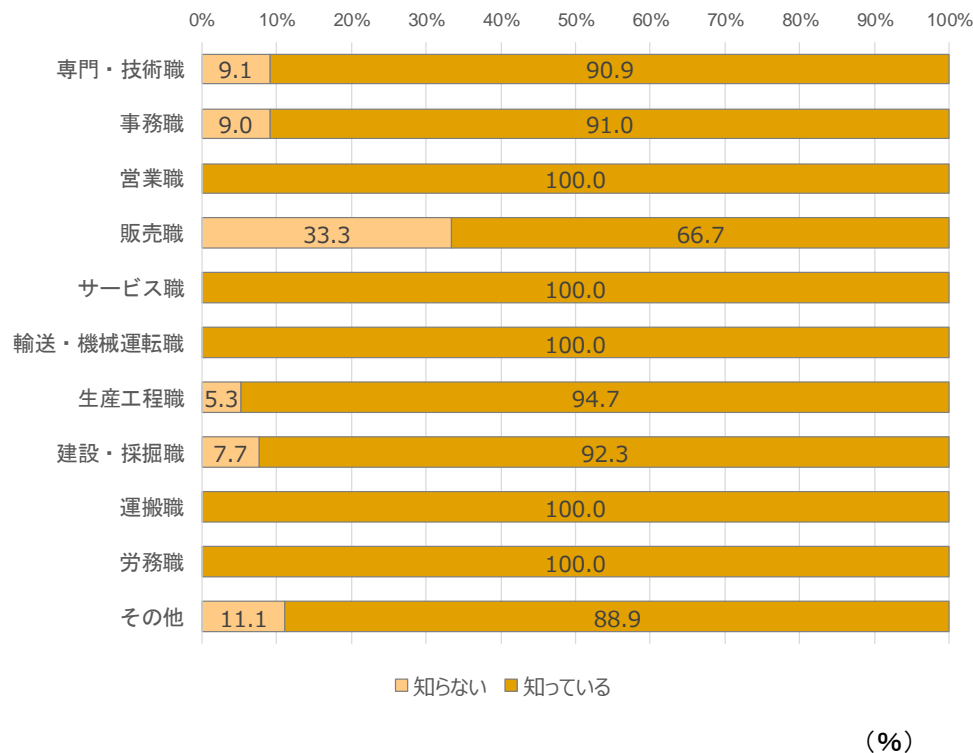
1) 新技術の認知度合 ⑤クラウド

- クラウドの認知度に関する全体的な傾向としては、「知っている」が約9割、「知らない」が約1割であるのに対して、業種別では専門・技術サービス業以外の業種については、全体と同様の傾向がみられる。専門・技術サービス業においては「知らない」という回答の割合が他業種に比べてやや高い。
- 職種別でも全体と同様の傾向がみられる。

クラウドに係る認知度（業種別）



クラウドに係る認知度（職種別）



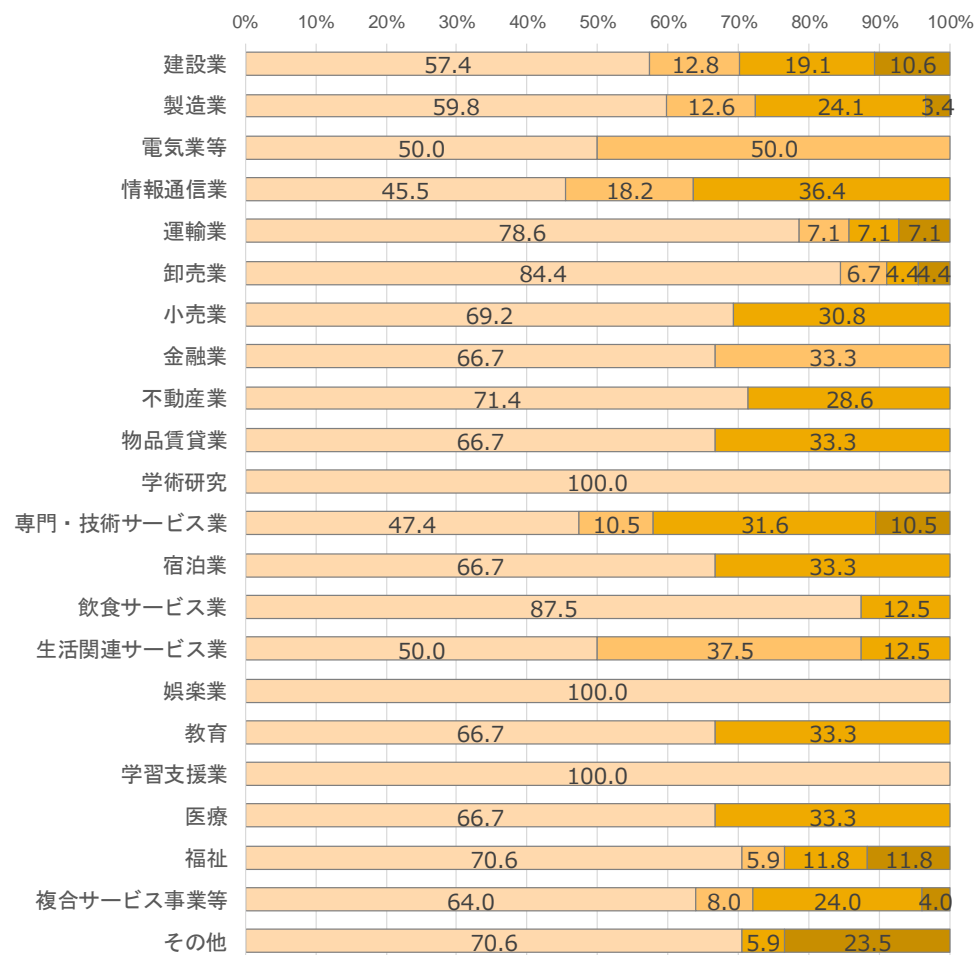
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

2) 新技術の活用意向・活用状況 ①IoT

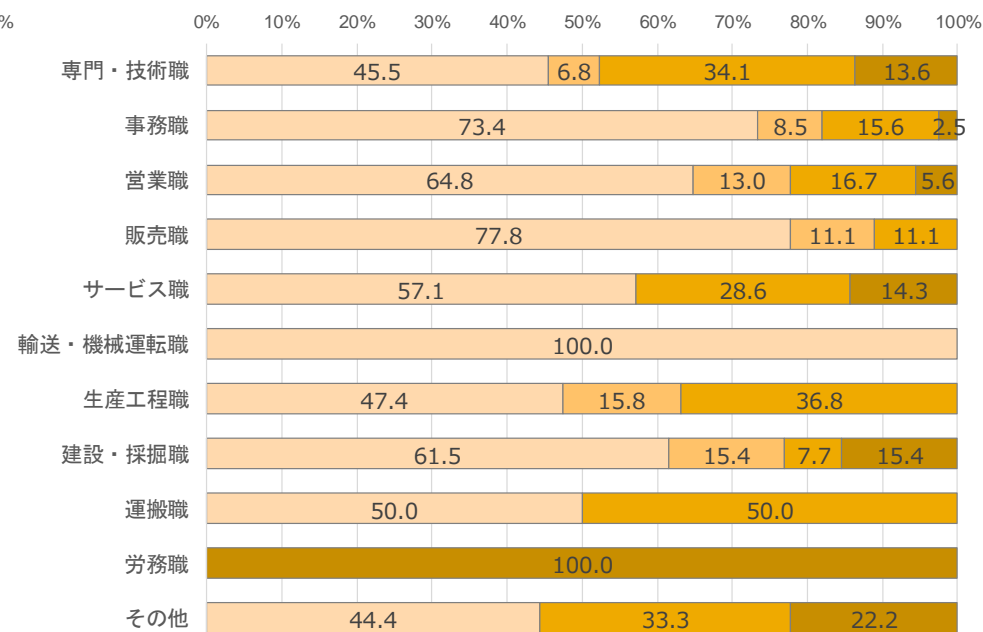
- IoTの活用意向・活用状況に関する全体的な傾向としては、「活用イメージがない」が約7割と最も高く、次いで「活用検討中、未活用」が約2割と高い傾向にあり、業種別でも「活用イメージがない」がいずれの業種においても最も高い。建設業、製造業、運輸業、卸売業、専門・技術サービス業、福祉及び複合サービス事業等においては、「活用中」という回答が約1割ある。
- 職種別でも「活用イメージがない」がいずれの職種においても最も高い。専門・技術職、サービス職及び建設・採掘職においては、1割以上が「活用中」と回答している。

IoTに係る活用意向・活用状況（業種別）



□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない ■ 活用検討中、未活用 ■ 活用中 (%)

IoTに係る活用意向・活用状況（職種別）



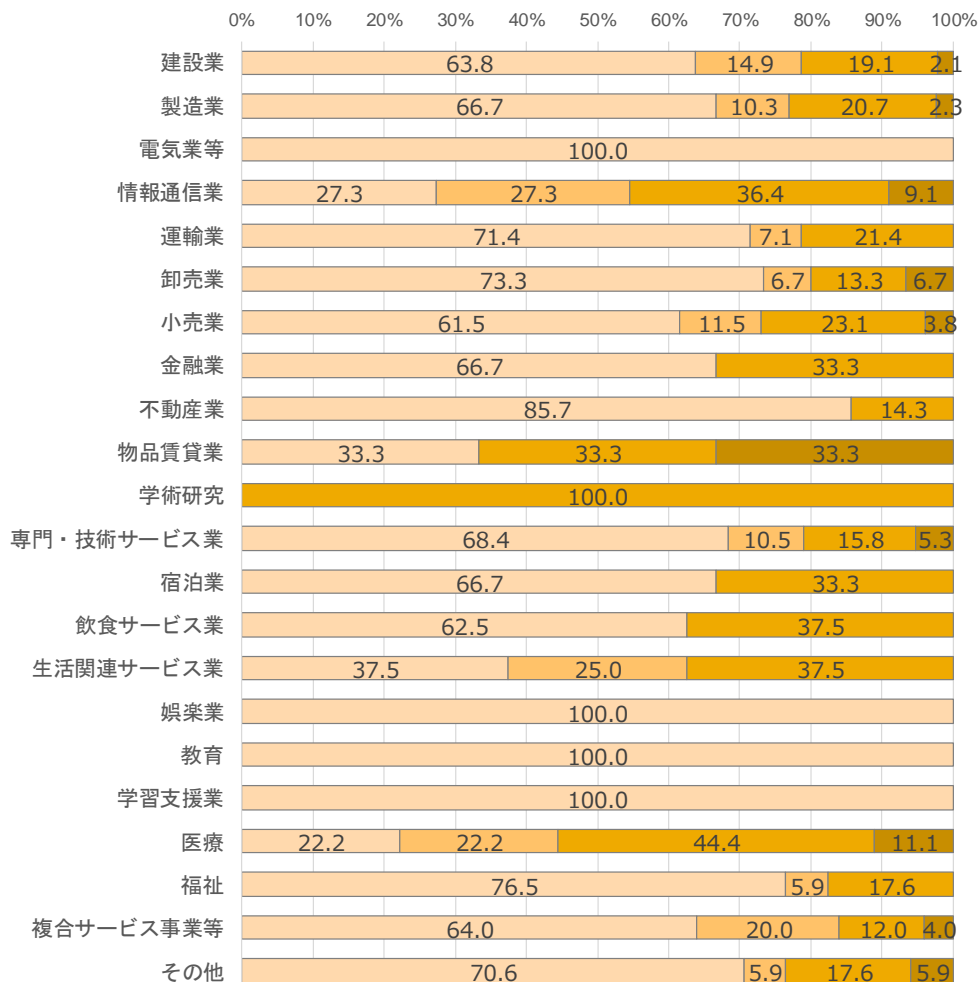
□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない ■ 活用検討中、未活用 ■ 活用中 (%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

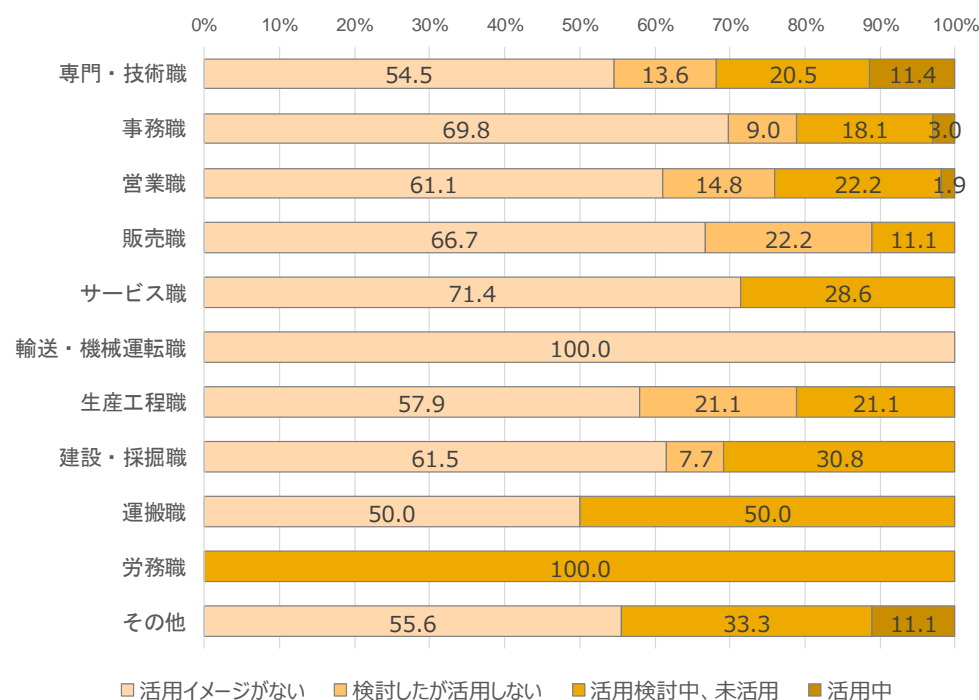
2) 新技術の活用意向・活用状況 ②ビッグデータ

- ビッグデータの活用意向・活用状況に関する全体的な傾向としては、「活用イメージがない」が約7割と最も高く、次いで「活用検討中、未活用」が約2割と高い傾向にあり、業種別では情報通信業及び医療以外の業種については「活用イメージがない」が最も高い。情報通信業及び医療においては、「活用検討中、未活用」が最も高い。
- 職種別でも「活用イメージがない」がいずれの職種においても最も高い。専門・技術職においては、1割以上が「活用中」と回答している。

ビッグデータに係る活用意向・活用状況（業種別）



ビッグデータに係る活用意向・活用状況（職種別）



(%)

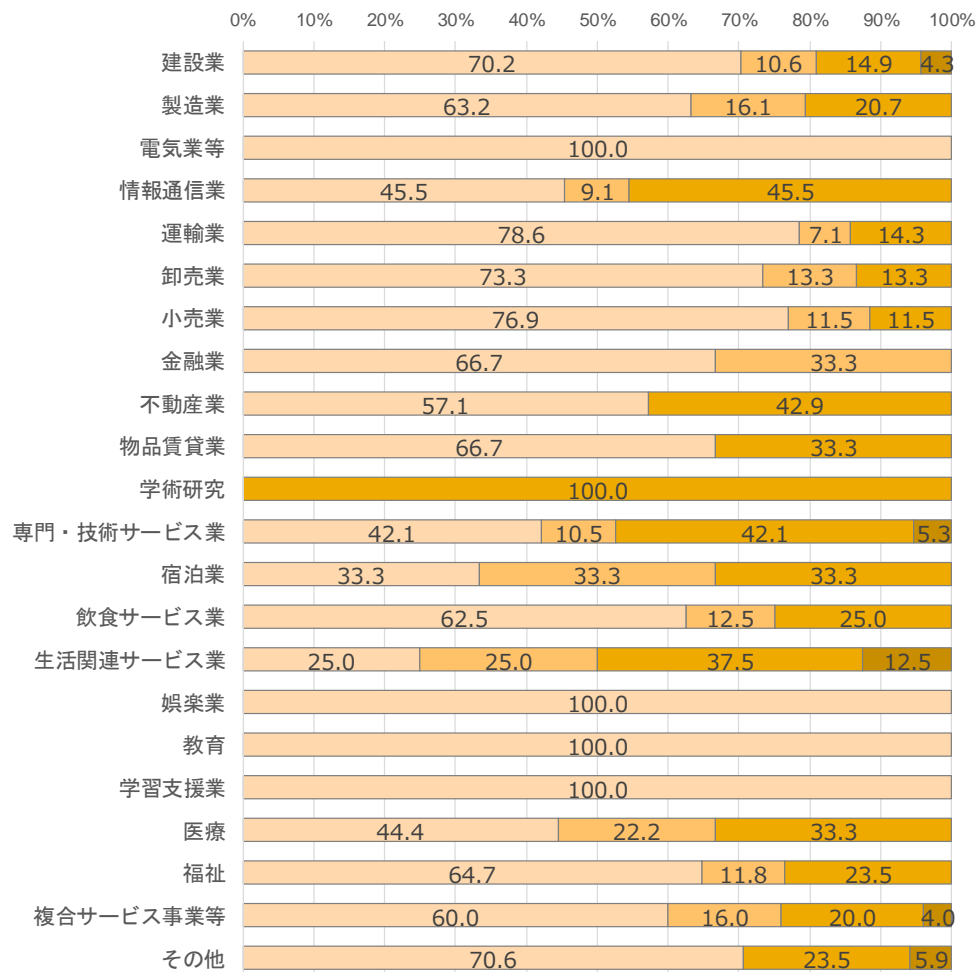
□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない □ 活用検討中、未活用 ■ 活用中 (%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

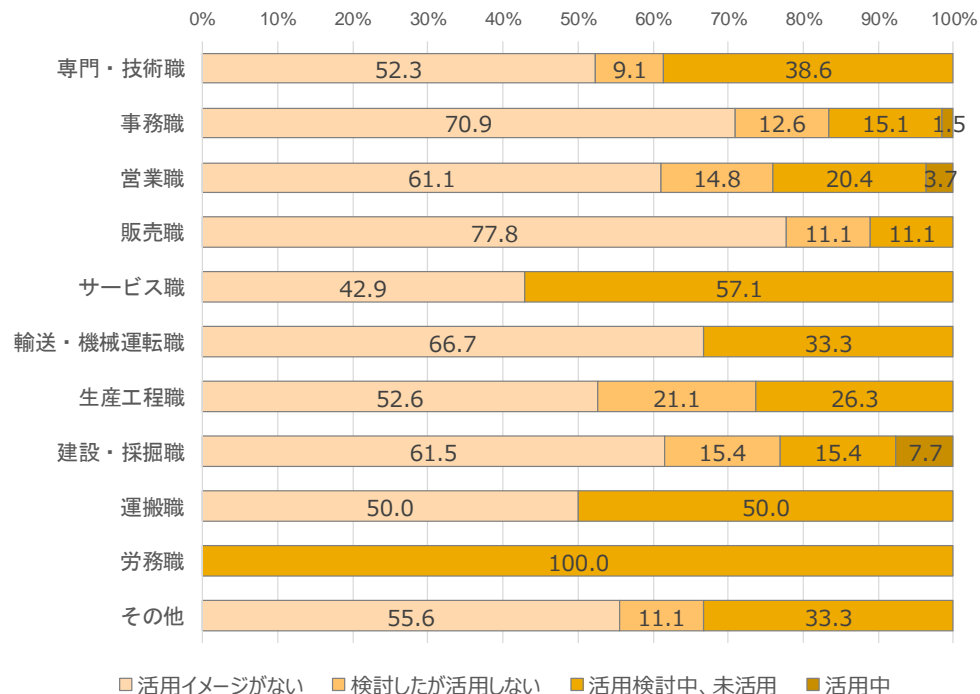
2) 新技術の活用意向・活用状況 ③AI

- AIの活用意向・活用状況に関する全体的な傾向としては、「活用イメージがない」が約6割と最も高く、次いで「活用検討中、未活用」が約2割と高い傾向にあり、業種別では生活関連サービス業以外については「活用イメージがない」が最も高い。生活関連サービス業については、「活用検討中、未活用」が最も高い。
- 職種別では、サービス職以外については「活用イメージがない」が最も高い。サービス職では、「活用検討中、未活用」が最も高い。

AIに係る活用意向・活用状況（業種別）



AIに係る活用意向・活用状況（職種別）



□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない ■ 活用検討中、未活用 ■ 活用中

(%)

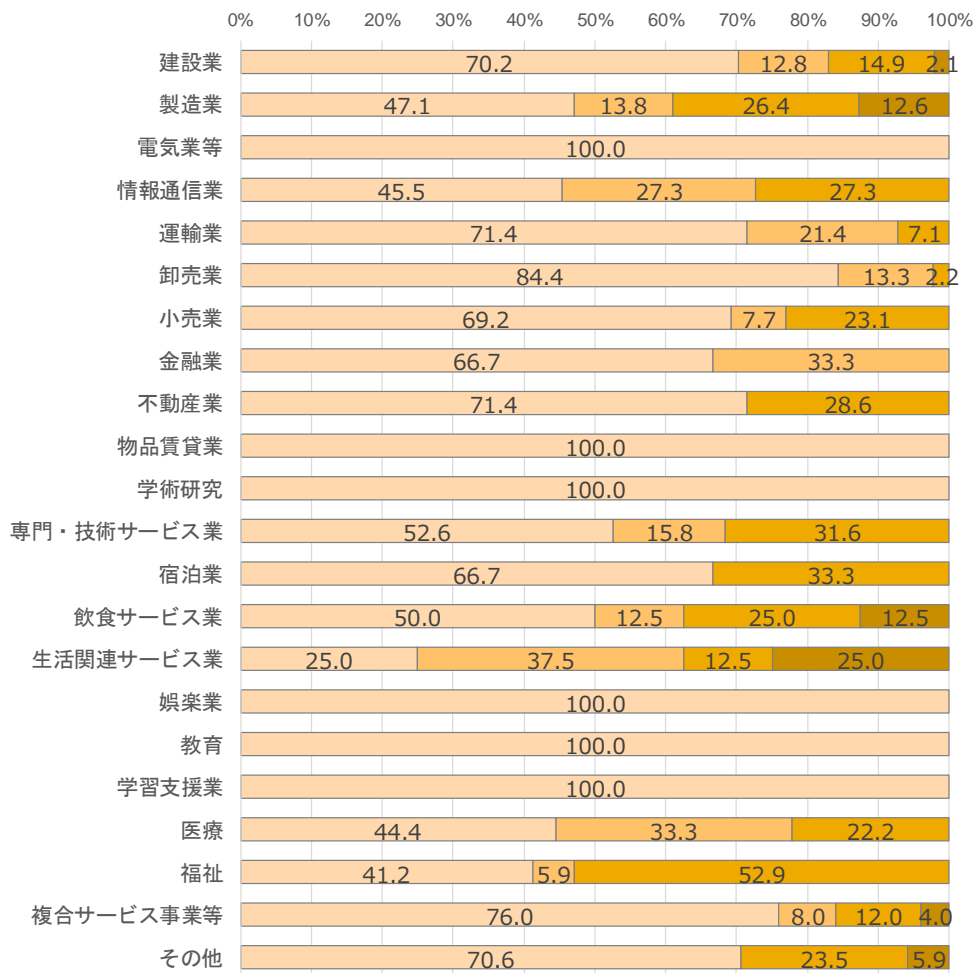
□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない ■ 活用検討中、未活用 ■ 活用中 (%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

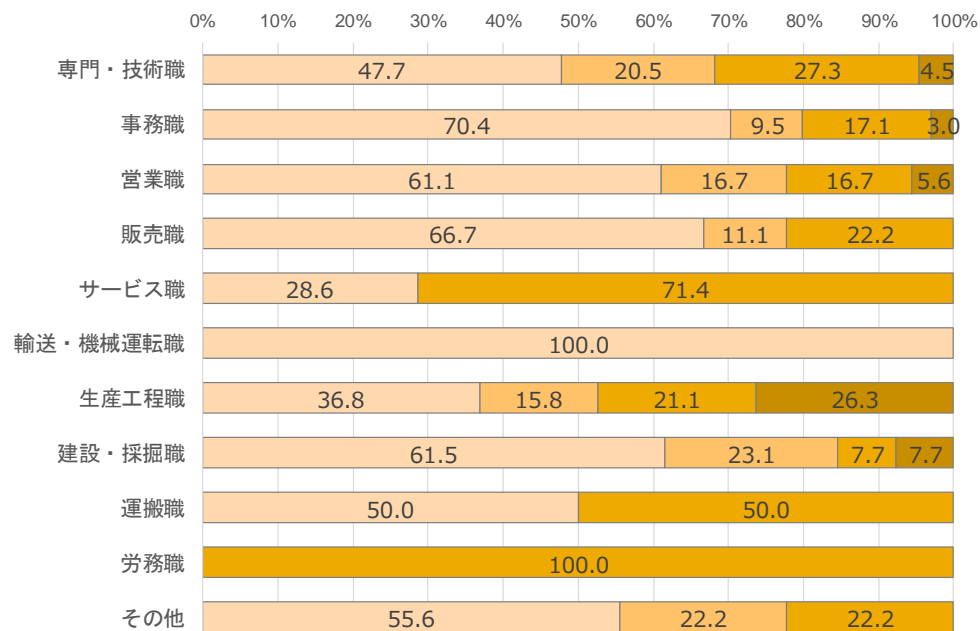
2) 新技術の活用意向・活用状況 ④ロボット

- ロボットの活用意向・活用状況に関する全体的な傾向としては、「活用イメージがない」が約6割と最も高く、次いで「活用検討中、未活用」が約2割と高い傾向にあり、業種別では生活関連サービス業以外については「活用イメージがない」が最も高い。生活関連サービス業については、「検討したが活用しない」が最も高い。
- 職種別では、サービス職以外については「活用イメージがない」が最も高い。サービス職では、「活用検討中、未活用」が最も高い。

ロボットに係る活用意向・活用状況（業種別）



ロボットに係る活用意向・活用状況（職種別）



□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない □ 活用検討中、未活用 □ 活用中

(%)

□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない □ 活用検討中、未活用 □ 活用中

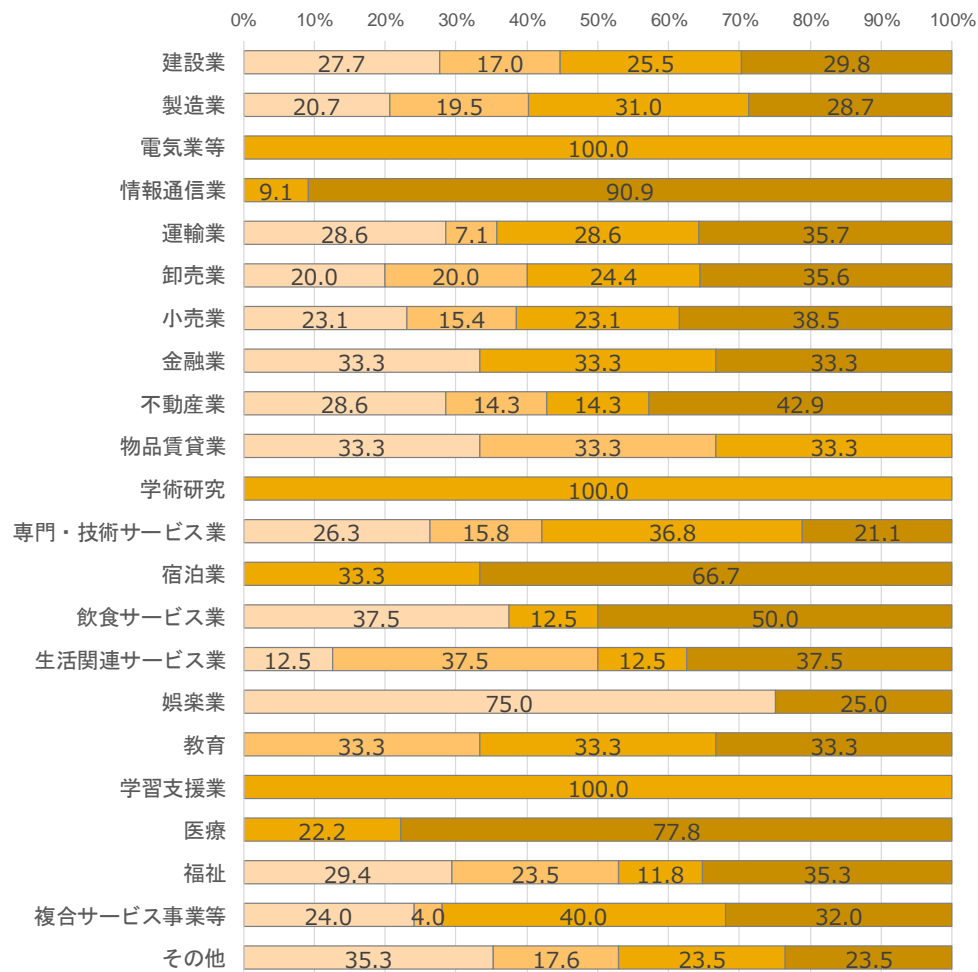
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

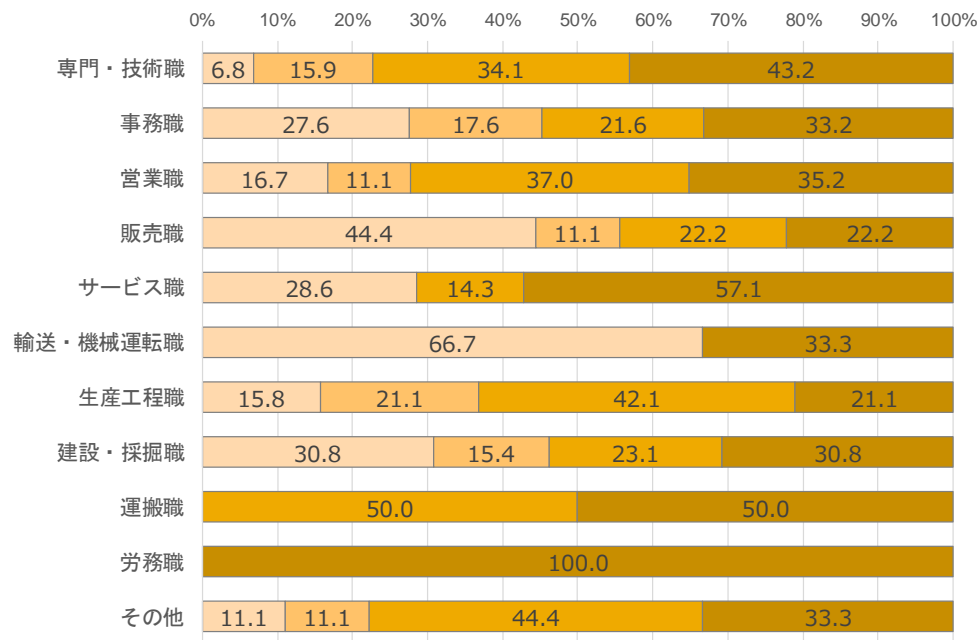
2) 新技術の活用意向・活用状況 ⑤クラウド

- クラウドの活用意向・活用状況に関する全体的な傾向としては、「活用中」が約3割と最も高く、次いで「活用検討中、未活用」が約3割弱と高い傾向にあり、業種別では建設業、製造業、運輸業、卸売業、小売業、不動産業、飲食サービス業、生活関連サービス業、医療、福祉及び複合サービス事業において約3割が「活用中」と回答している。
- 職種別では、販売職及び生産工程職以外については約3割以上が「活用中」と回答している。

クラウドに係る活用意向・活用状況（業種別）



クラウドに係る活用意向・活用状況（職種別）



□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない ■ 活用検討中、未活用 ■ 活用中

(%)

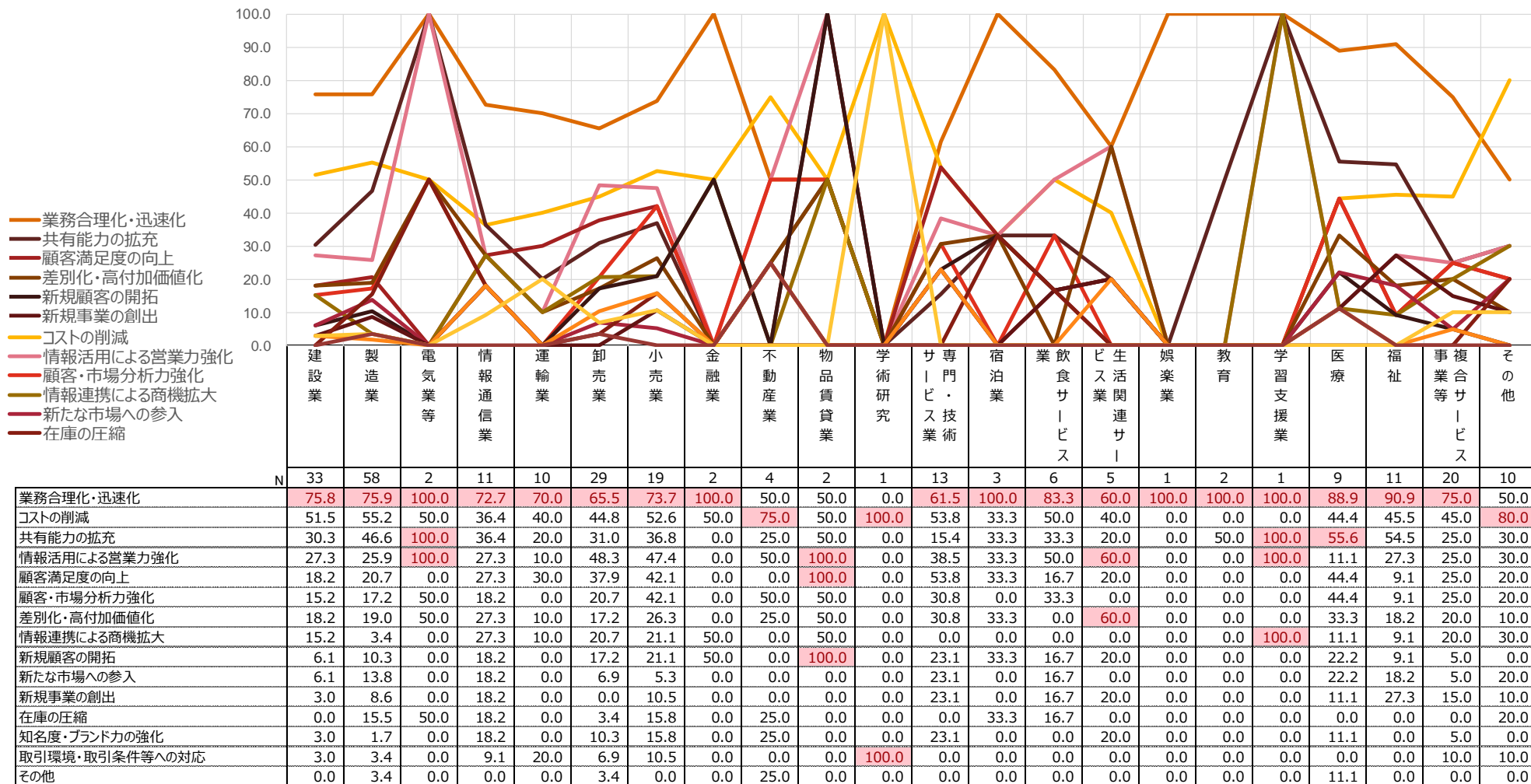
□ 活用イメージがない □ 検討したが活用しない ■ 活用検討中、未活用 ■ 活用中 (%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

3) 新技術の活用理由 ①業種別

- 新技術の活用理由に関する全体的な傾向として、「業務合理化・迅速化」が最も高く、次いで「コストの削減」「共有能力の拡充」が高い。
- 業種別でも同様の傾向がみられる。特に情報通信業、飲食サービス業及び医療においては、「業務合理化・迅速化」という回答が約7～8割あり、他業種に比べて高い。

活用理由（業種別） ※複数回答

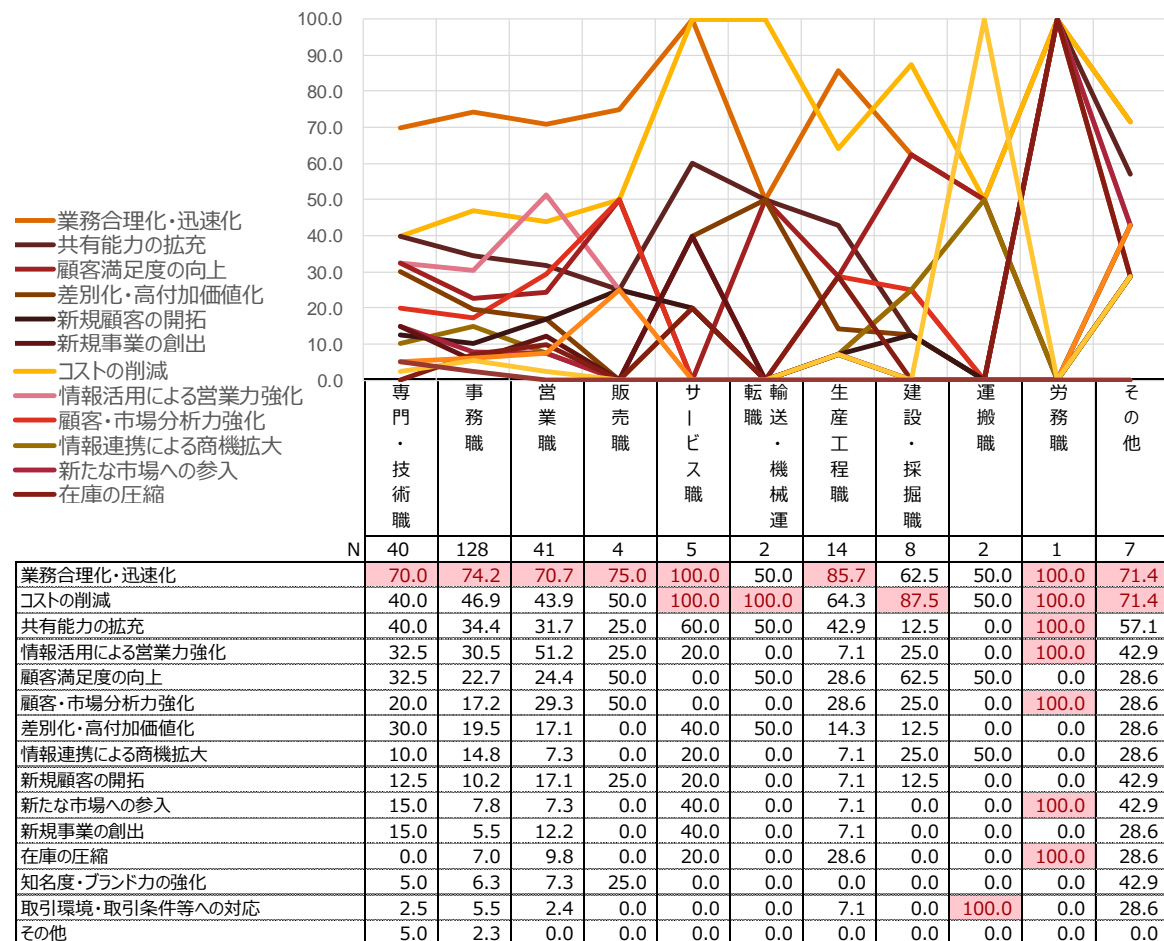


Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

3) 新技術の活用理由 ②職種別

- 新技術の活用理由に関する全体的な傾向として、「業務合理化・迅速化」が最も高く、次いで「コストの削減」「共有能力の拡充」が高い。
- 職種別では、建設・採掘職以外の職種においては同様の傾向がみられる。
- 建設・採掘職においては、「コストの削減」が約9割と最も高い。

活用理由（職種別） ※複数回答

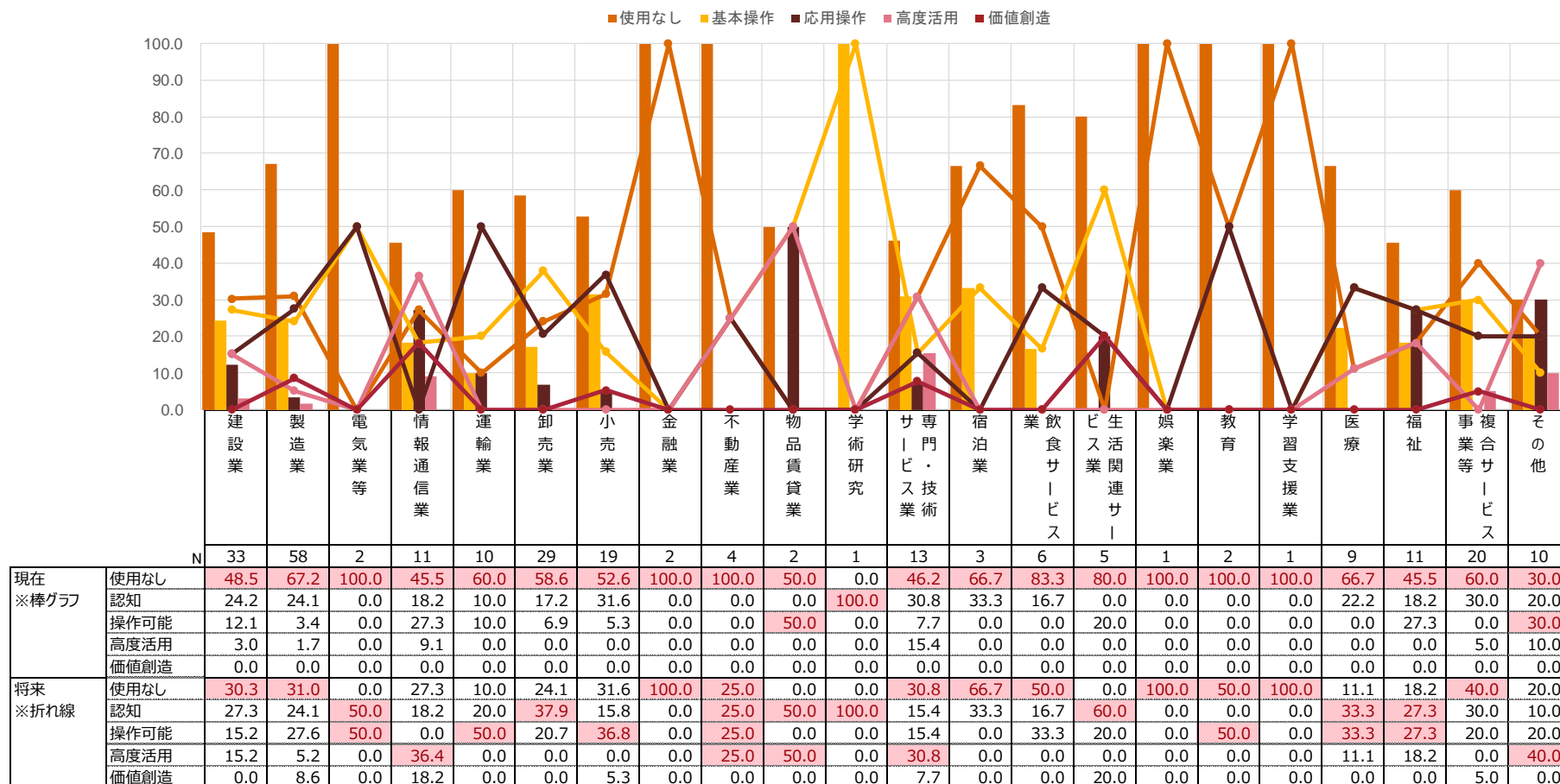


Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ①IoT【業種別】 1/2

- IoTの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「使用なし」が約6割と最も高く、次いで「認知」が約2割と高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業及び福祉以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 情報通信業及び福祉においては、「使用なし」が最も高く、次いで「操作可能」が高い。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「操作可能」の割合が増えるものの「使用なし」が変わらず最も高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業、運輸業、卸売業、小売業、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、医療及び福祉以外の業種において「使用なし」が最も高い。
- また、職種別でも全体的に「操作可能」の割合が増加している。

IoTの現在と将来の活用状況（業種別）

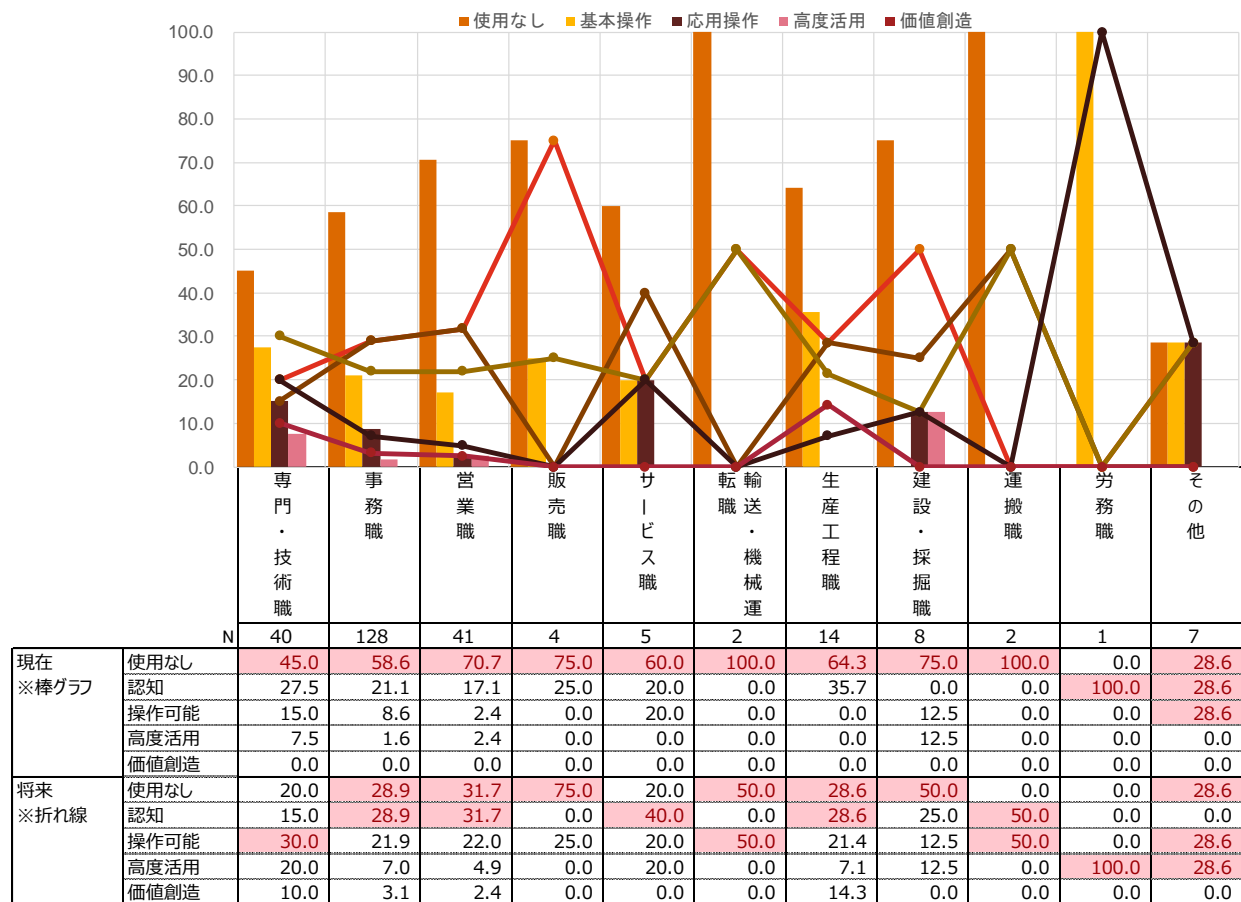


Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ①IoT【職種別】 2/2

- IoTの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「使用なし」が約6割と最も高く、次いで「認知」が約2割と高い傾向にあり、職種別でも同様の傾向がみられる。
- 専門・技術職、サービス職及び建設・採掘職においては、約1割強が「操作可能」と回答している。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「操作可能」の割合が増えるものの「使用なし」が変わらず最も高い傾向にあるのに対し、職種別では専門・技術職及びサービス職以外の業種において「使用なし」が最も高い。
- また、職種別でも全体的に「操作可能」の割合が増加している。

IoTの現在と将来の活用状況（職種別）

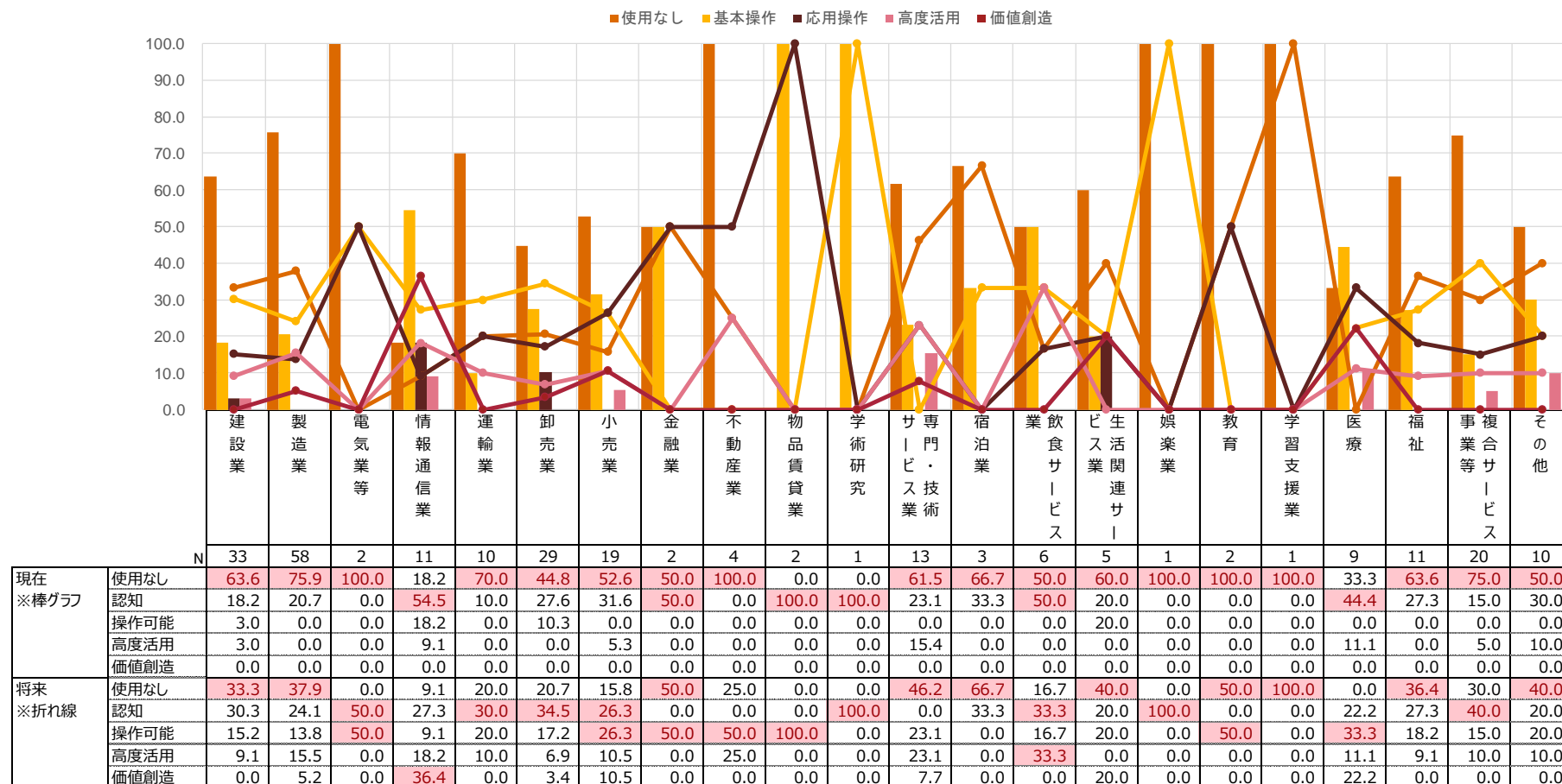


Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ②ビッグデータ【業種別】 1/2

- ビッグデータの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「使用なし」が約6割と最も高く、次いで「認知」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業及び医療以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 情報通信業及び医療においては、「認知」が最も高く、情報通信については「認知」及び「操作可能」、医療については「認知」が次いで高い。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「操作可能」の割合が増えるものの「使用なし」が変わらず最も高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業、運輸業、卸売業、小売業、飲食サービス業及び医療以外の業種において「使用なし」が最も高い。
- また、職種別でも全体的に「操作可能」の割合が増加している。

ビッグデータの現在と将来の活用状況（業種別）

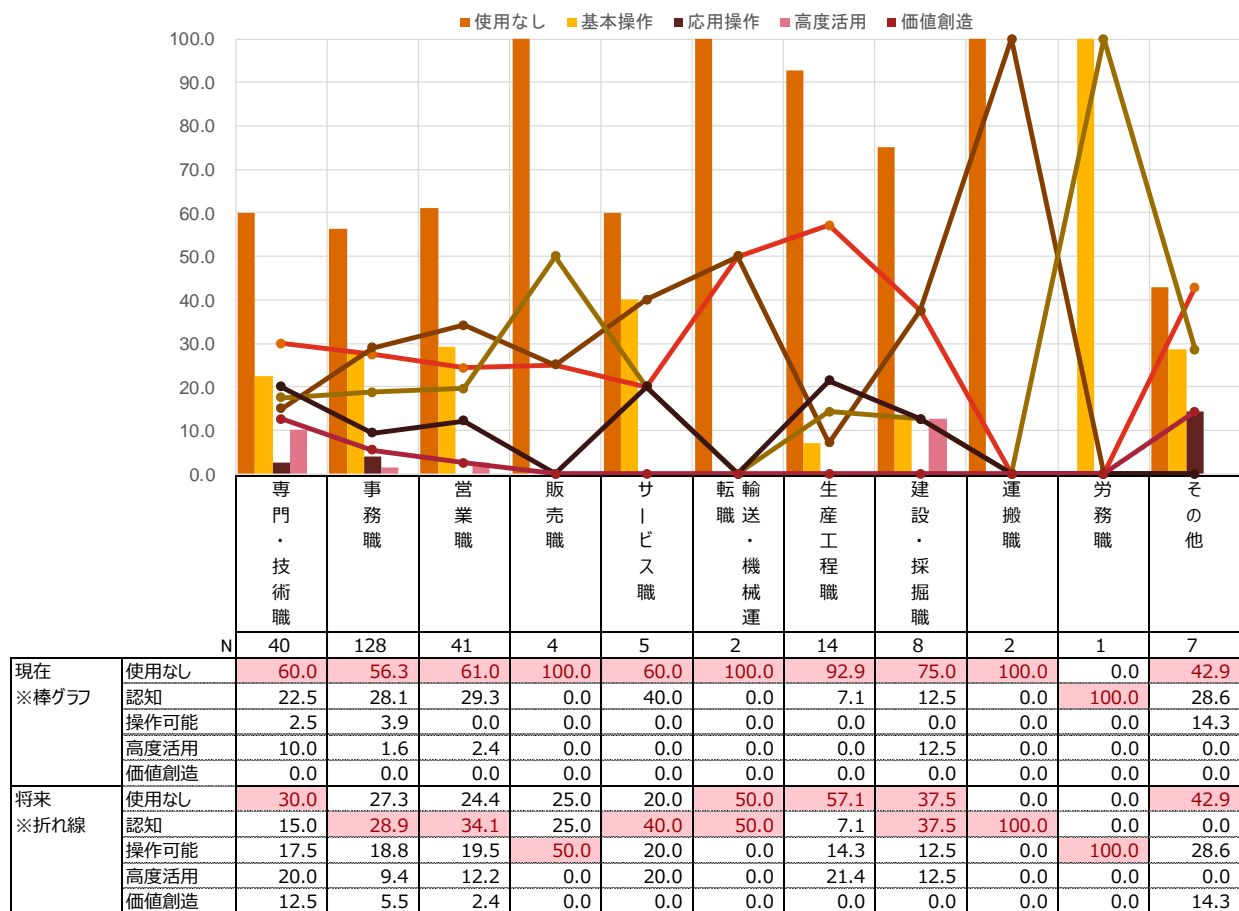


Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ②ビッグデータ【職種別】 2/2

- ビッグデータの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「使用なし」が約6割と最も高く、次いで「認知」が約3割と高い傾向にあり、職種別でも同様の傾向がみられる。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「操作可能」の割合が増えるものの「使用なし」が変わらず最も高い傾向にあるのに対し、職種別では専門・技術職、生産工程職及び建設・採掘職において「使用なし」が最も高い。
- また、職種別でも全体的に「操作可能」及び「高度活用」の割合が増加している。

ビッグデータの現在と将来の活用状況（職種別）

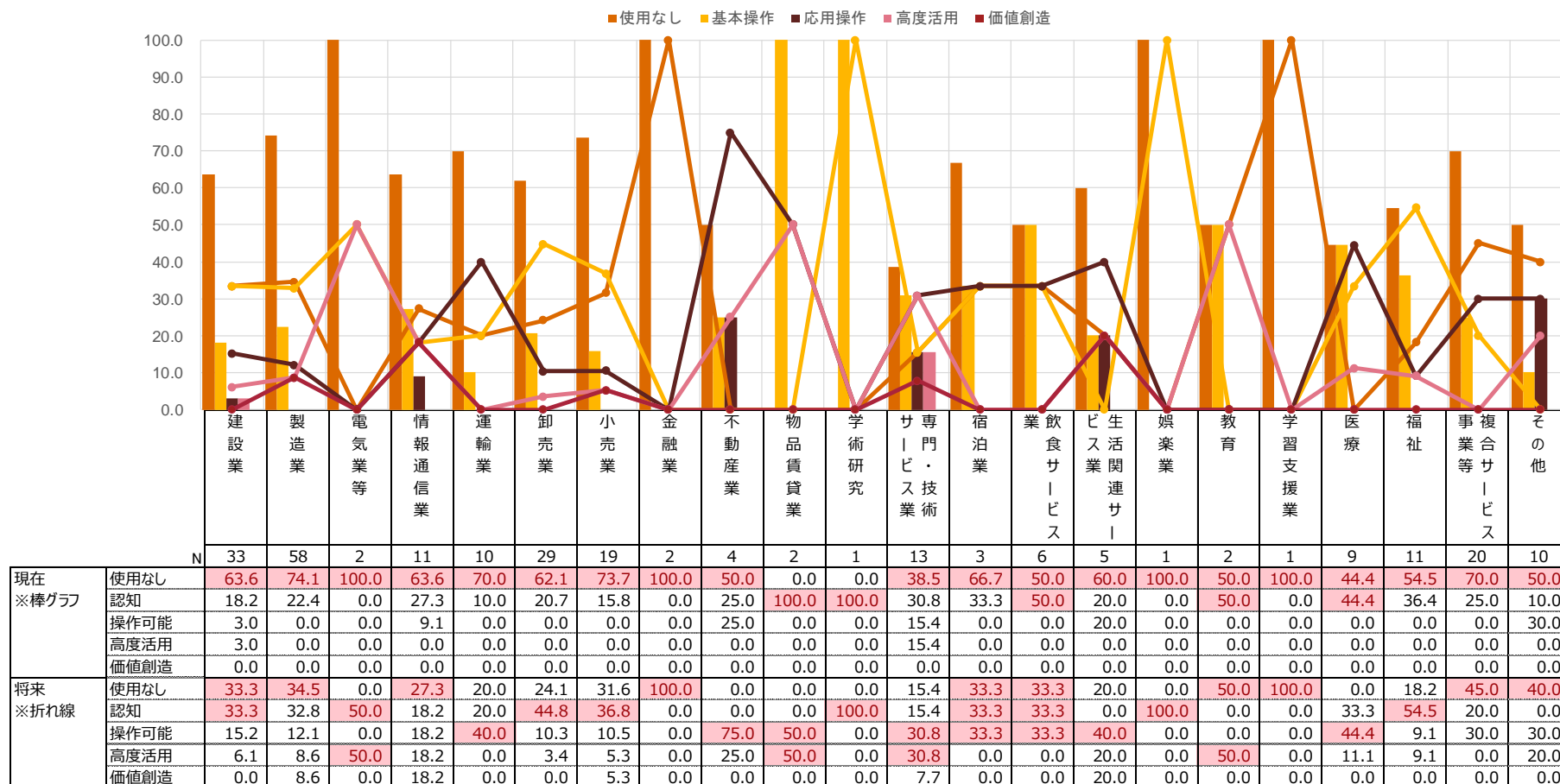


Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ③AI【業種別】 1/2

- AIの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「使用なし」が約6割と最も高く、次いで「認知」が約2割と高い傾向にあり、業種別でも同様の傾向がみられる。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「操作可能」の割合が増えるものの「使用なし」が変わらず最も高い傾向にあり、業種別では運搬業、卸売業、小売業、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、医療及び福祉以外の業種において「使用なし」が最も高い。
- また、職種別でも全体的に「操作可能」の割合が増加している。

AIの現在と将来の活用状況（業種別）



Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ③AI【職種別】 2/2

- AIの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「使用なし」が約6割と最も高く、次いで「認知」が約2割と高い傾向にあるのに対し、職種別ではサービス職以外の職種においては「使用なし」という回答が最も高く、次いで「認知」が高い。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「操作可能」の割合が増えるものの「使用なし」が変わらず最も高い傾向にあるのに対し、職種別では生産工程職及び建設・採掘職以外の職種において「認知」が最も高い。
- また、職種別でも全体的に「操作可能」及び「高度活用」の割合が増加している。

AIの現在と将来の活用状況（職種別）



(回答対象者252社のうち19社が未回答)

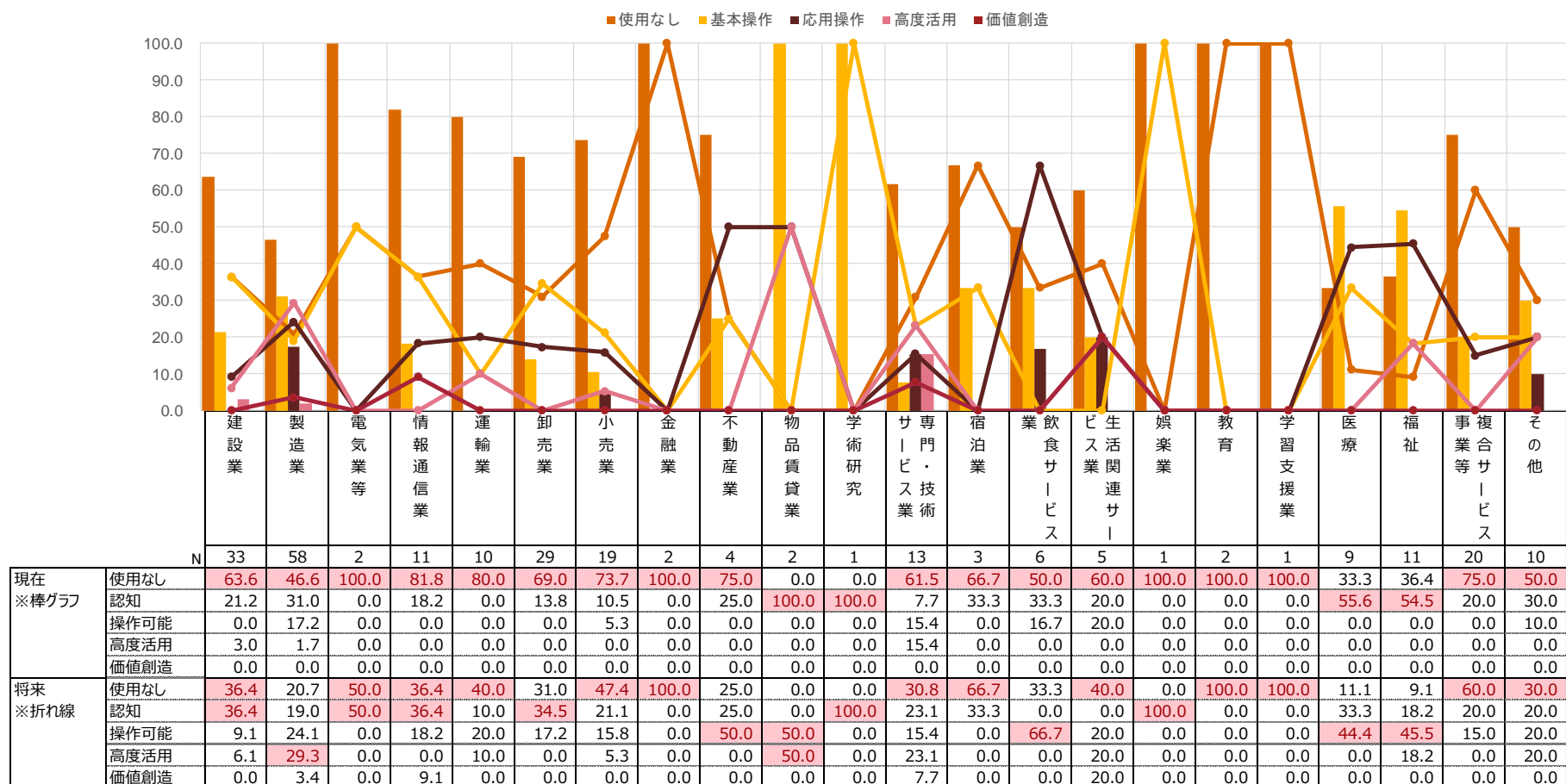
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ④ロボット【業種別】 1/2

- ロボットの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「使用なし」が約6割と最も高く、次いで「認知」が約2割と高い傾向にあるのに対し、医療及び福祉以外の業種においては同様の傾向がみられる。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「操作可能」の割合が増えるものの引き続き「使用なし」が最も高い傾向にあるのに対し、業種別では、卸売業以外の業種においては「使用なし」が最も高い。
- また、職種別でも全体的に「操作可能」の割合が増加している。

ロボットの現在と将来の活用状況（業種別）



(回答対象者252社のうち19社が未回答)

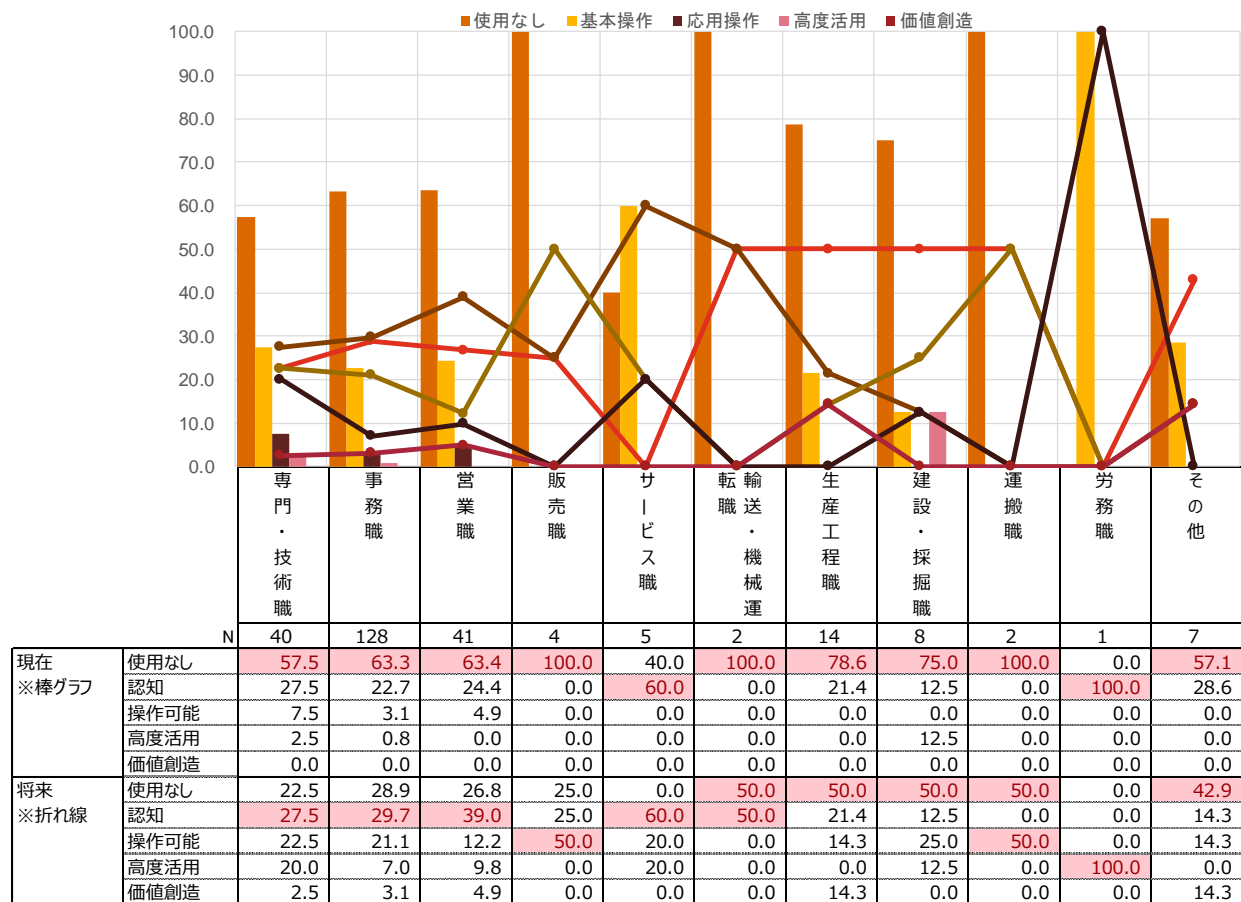
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ④ロボット【職種別】 2/2

- ロボットの現在の活用段階に関する全体的な傾向としては、「使用なし」が約6割と最も高く、次いで「認知」が約2割と高い傾向にあるのに対し、職種別ではサービス職以外の職種においては「使用なし」という回答が最も高く、次いで「認知」が高い。
- サービス職においては、「認知」が最も高く、次いで「使用なし」が続く。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「操作可能」の割合が増えるものの「使用なし」が変わらず最も高い傾向にあるのに対し、職種別では生産工程職及び建設・採掘職以外の職種において「認知」が最も高い。
- また、職種別でも全体的に「操作可能」及び「高度活用」の割合が増加している。

ロボットの現在と将来の活用状況（職種別）

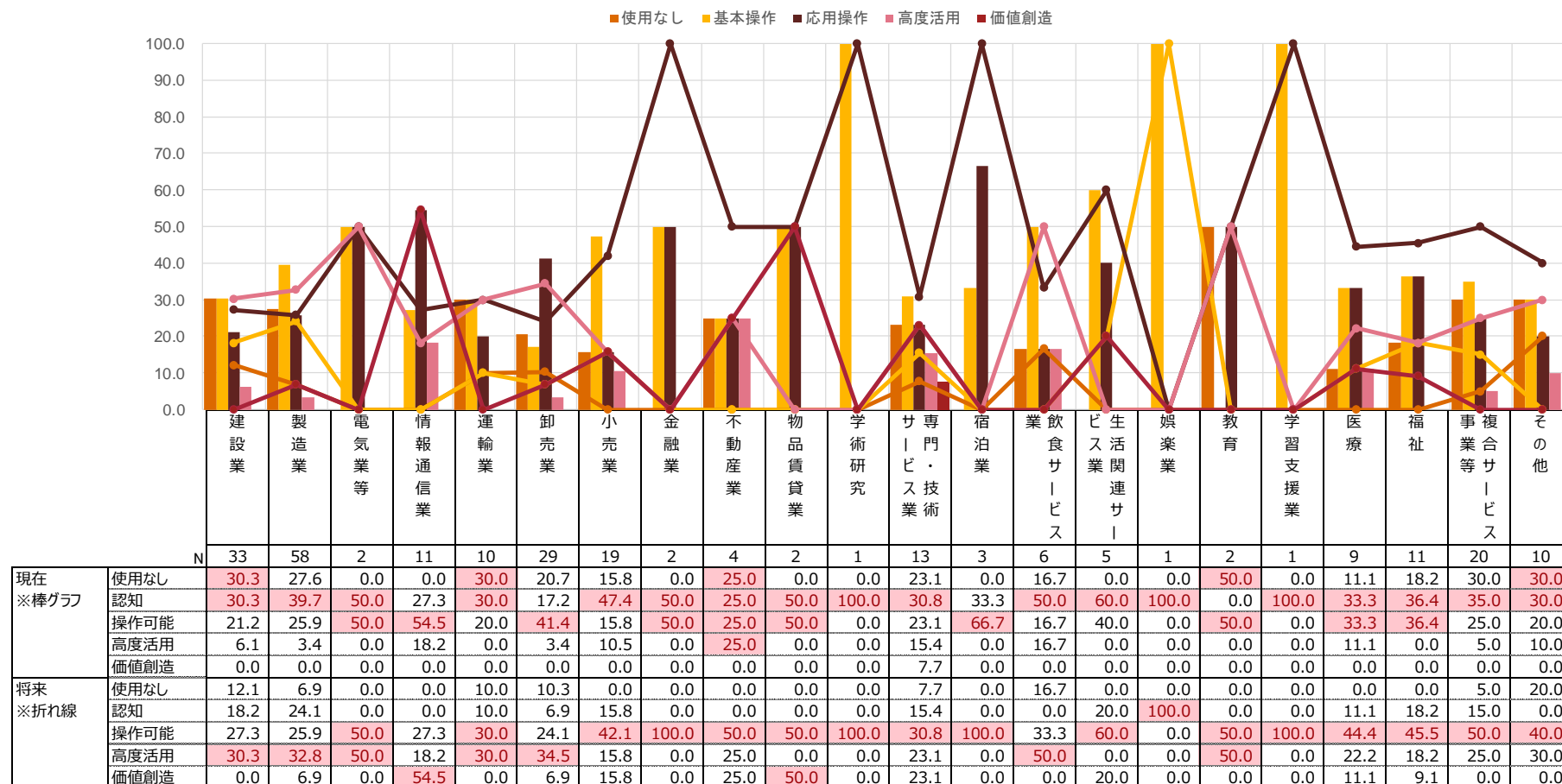


Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ⑤クラウド【業種別】 1/2

- クラウドの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「認知」が約3割と最も高く、次いで「操作可能」が約2割強と高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業及び卸売業以外の業種においては同様の傾向がみられる。
- 情報通信業及び卸売業については、「操作可能」が最も高く、次いで「認知」が高い。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「高度活用」及び「価値創造」の割合が増加しており、業種別でも同様の傾向がみられる。

クラウドの現在と将来の活用状況（業種別）

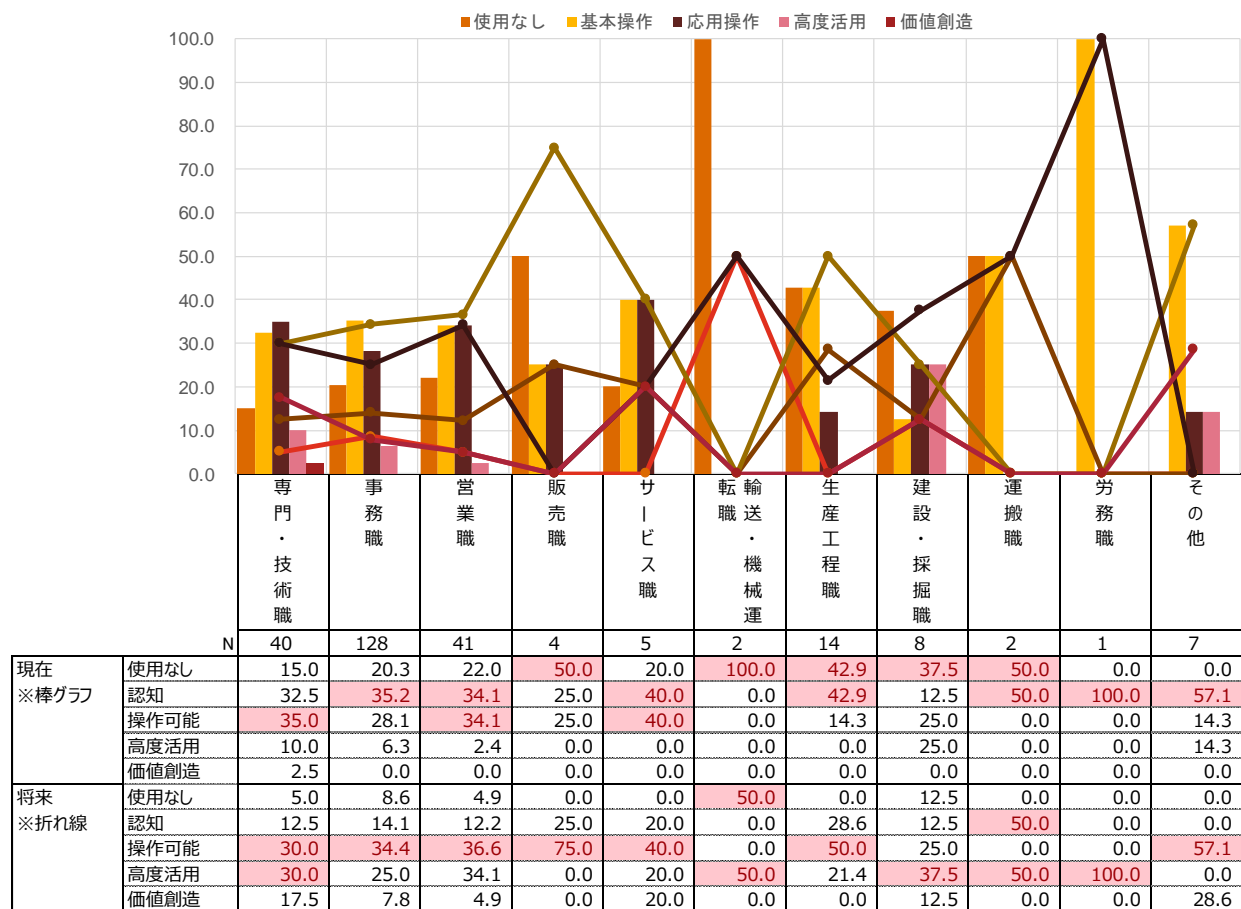


Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 新技術に係る活用状況

4) 新技術の現在の活用段階及び将来、到達して欲しい姿 ⑤クラウド【職種別】 2/2

- クラウドの現在の活用段階に関する全体的な傾向として「認知」が約3割と最も高く、次いで「操作可能」が約2割強と高い傾向にあるのに対し、職種別では専門・技術職及び建設・採掘職以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 専門・技術職については、「操作可能」が最も高く、建設・採掘職については「使用なし」が最も高い。
- 将来の活用段階に関する全体的な傾向として「高度活用」及び「価値創造」の割合が増加しており、職種別でも同様の傾向がみられる。

クラウドの現在と将来の活用状況（職種別）



III. 業種別/職種別の集計結果

4. 人材確保方法、従業員育成状況

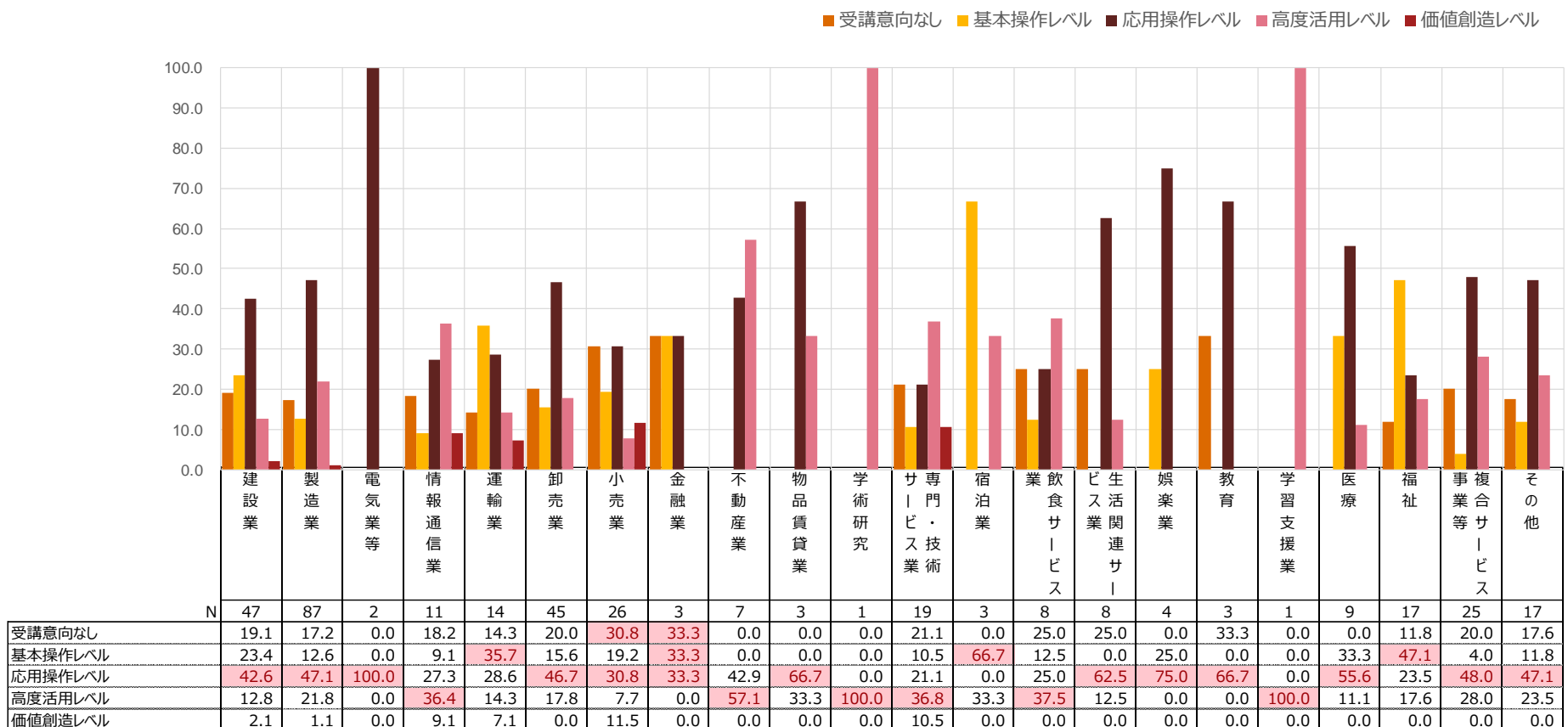
- 1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向
- 2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向
- 3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル
- 4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ①表計算ツール【業種別】 1/2

- 表計算ツールに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約4割と最も高く、次いで「高度活用レベル」が約2割と高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業、運輸業、不動産業、専門・技術サービス業、飲食サービス業及び福祉以外の業種においては同様の傾向がみられる。
- 情報通信業、不動産業、専門・技術サービス業、飲食サービス業については、「高度活用レベル」が最も高い。
- 運輸業及び福祉については、「基本操作レベル」が最も高い。

表計算ツールに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）



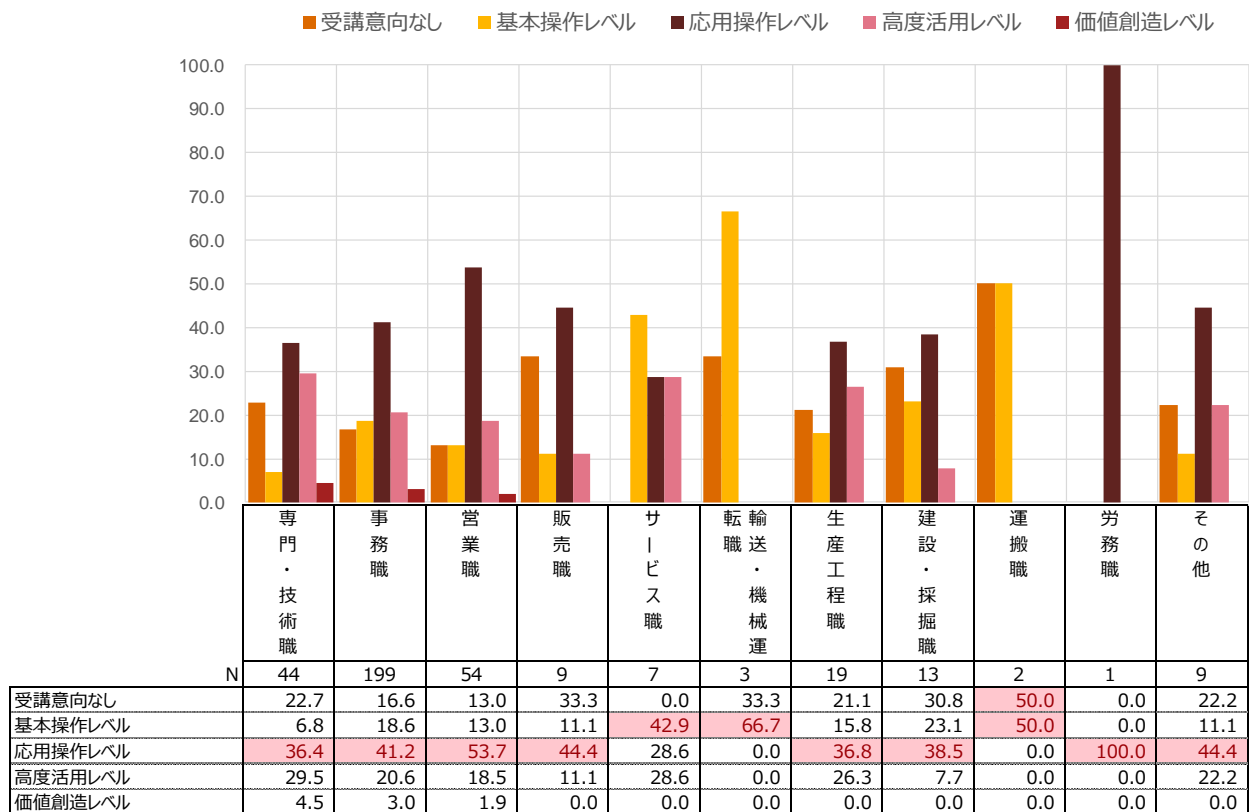
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ①表計算ツール【職種別】 2/2

- 表計算ツールに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約4割と最も高く、次いで「高度活用レベル」が約2割と高い傾向にあるのに対し、職種別ではサービス職以外の職種において同様の傾向がみられる。
- サービス職については、「基本操作レベル」が最も高い。

表計算ツールに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



(%)

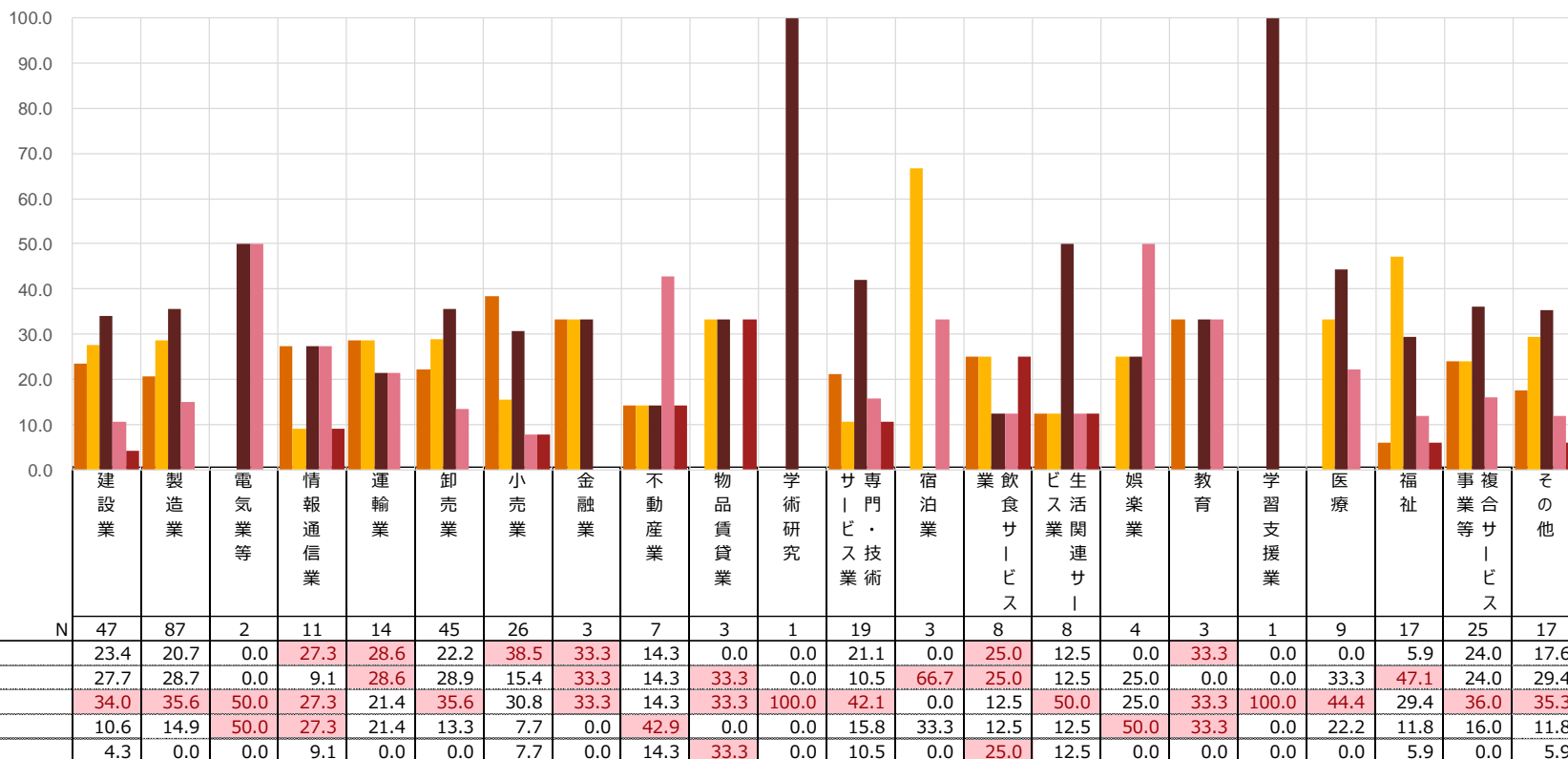
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ②文書・資料作成ツール【業種別】 1/2

- 文書・資料作成ツールに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約4割と最も高く、次いで「基本操作レベル」が約2割と高い傾向にあるのに対し、業種別では建設業、製造業及び卸売業においては同様の傾向がみられる。

文書・資料作成ツールに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）

■ 受講意向なし ■ 基本操作レベル ■ 応用操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



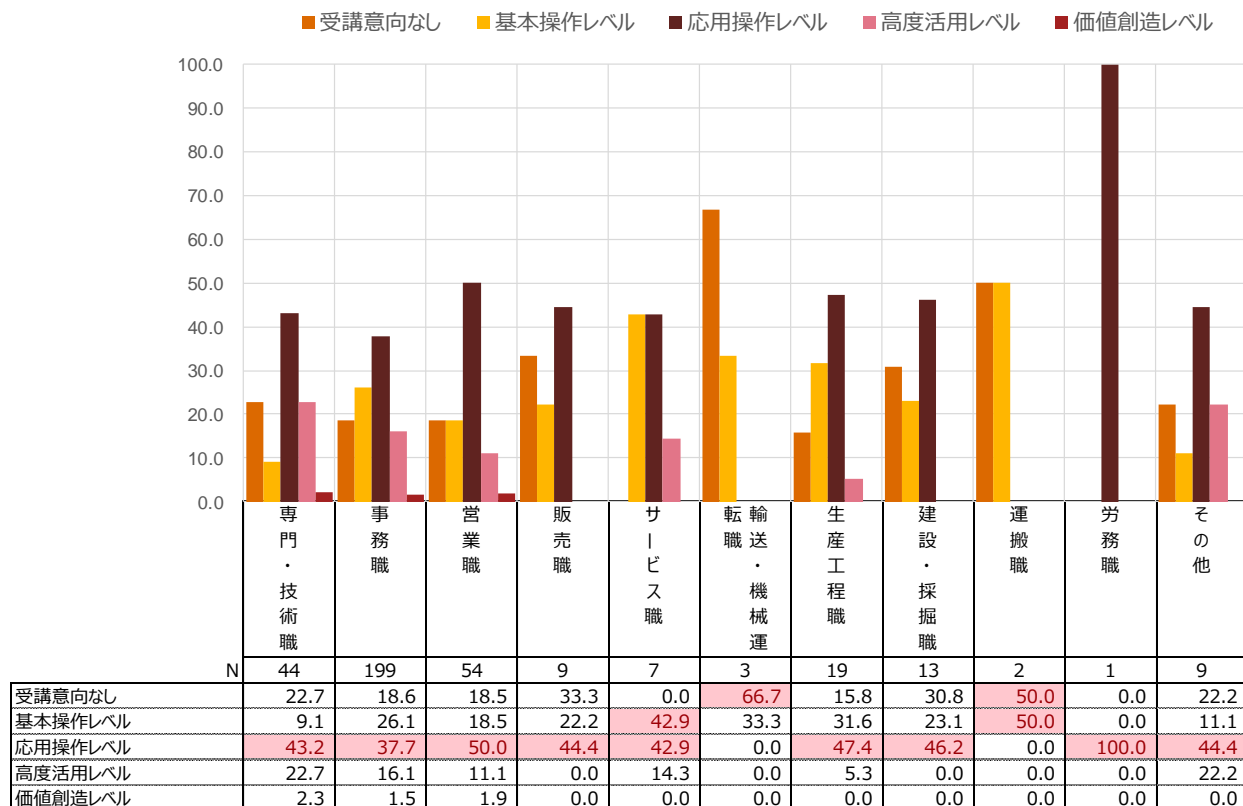
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ②文書・資料作成ツール【職種別】 2/2

- 文書・資料作成ツールに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約4割と最も高く、次いで「基本操作レベル」が約2割と高い傾向にあるのに対し、職種別では事務職及び生産工程職において同様の傾向がみられる。

文書・資料作成ツールに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



(%)

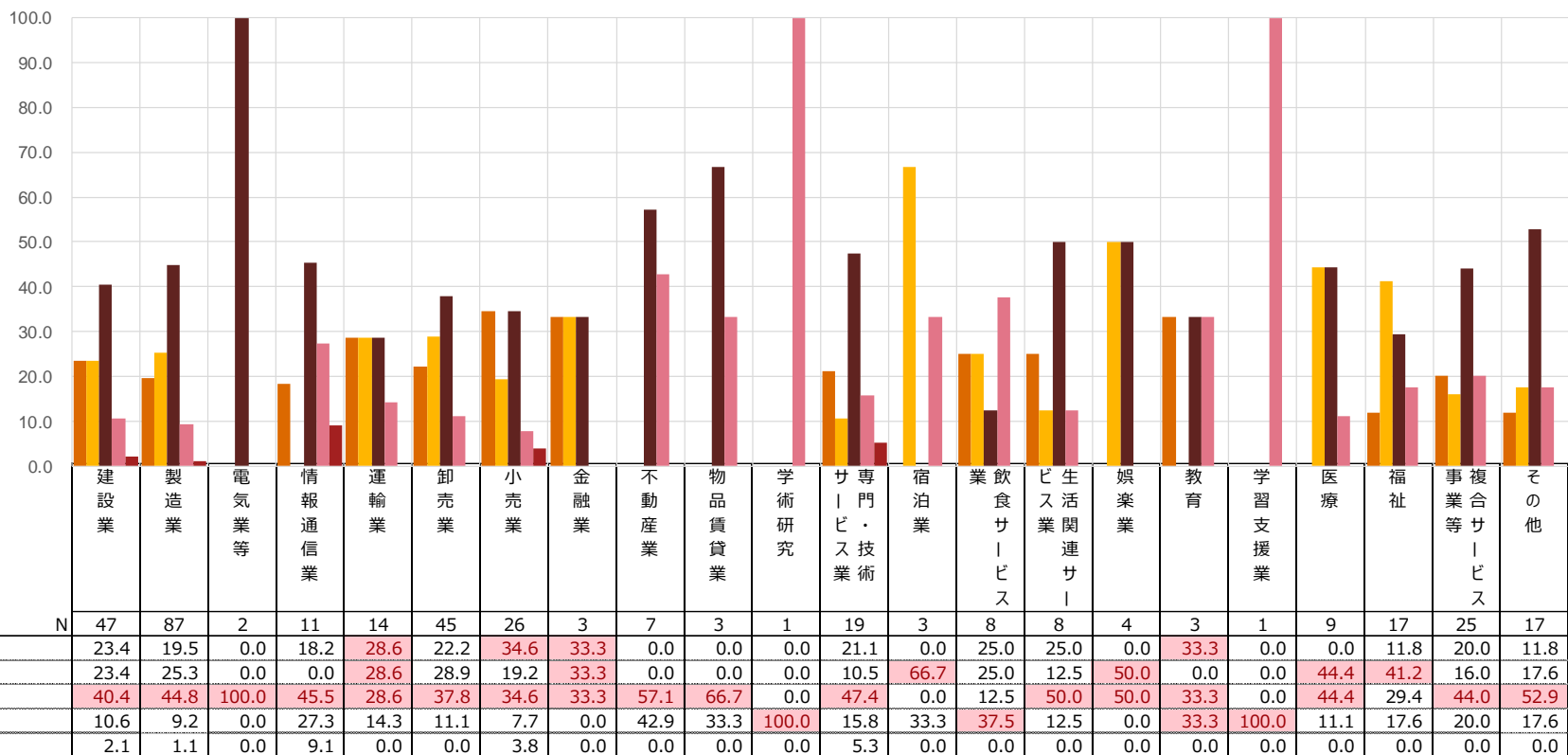
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ③コミュニケーションツール【業種別】 1/2

- コミュニケーションツールに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約3割と最も高く、次いで「基本操作レベル」が約2割強と高い傾向にあるのに対し、業種別では製造業及び卸売業において同様の傾向がみられる。

コミュニケーションツールに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）

■ 受講意向なし ■ 基本操作レベル ■ 応用操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



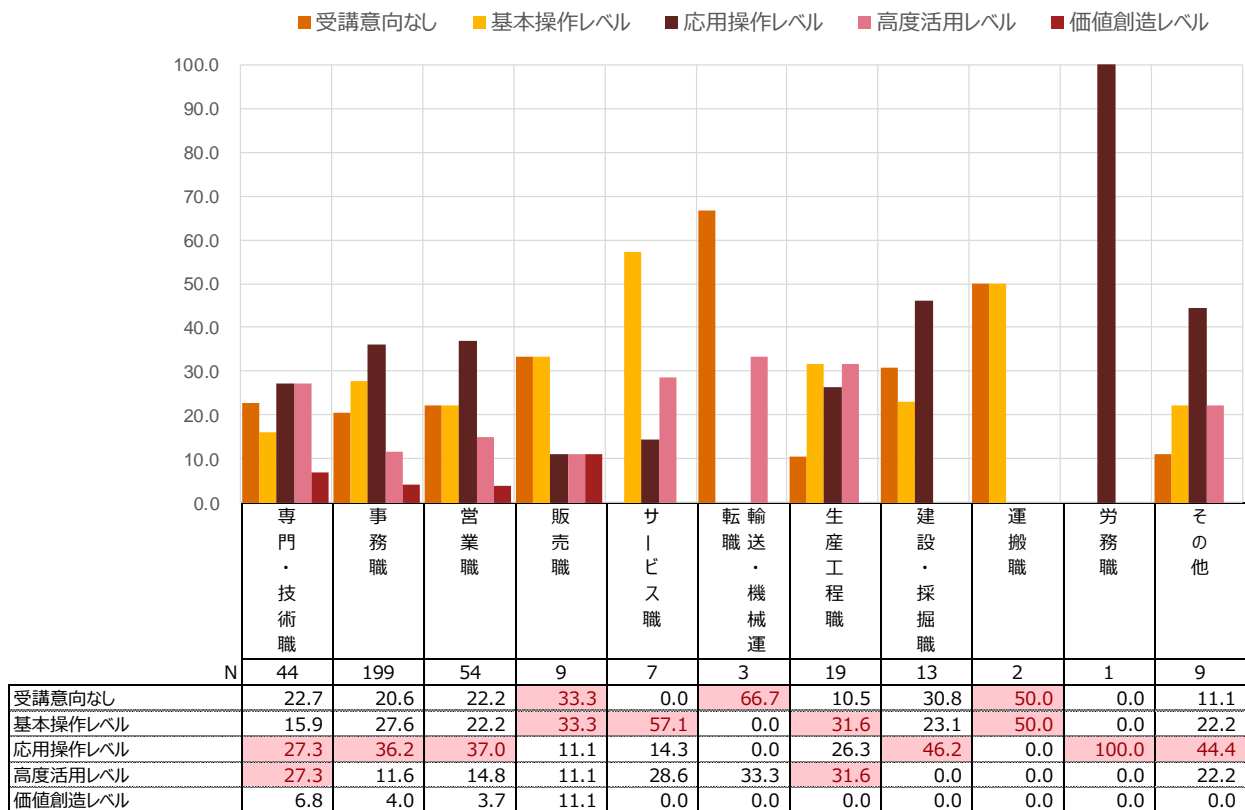
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ③コミュニケーションツール【職種別】 2/2

- コミュニケーションツールに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約3割と最も高く、次いで「基本操作レベル」が約2割強と高い傾向にあるのに対し、職種別では事務職及び営業職において同様の傾向がみられる。

コミュニケーションツールに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



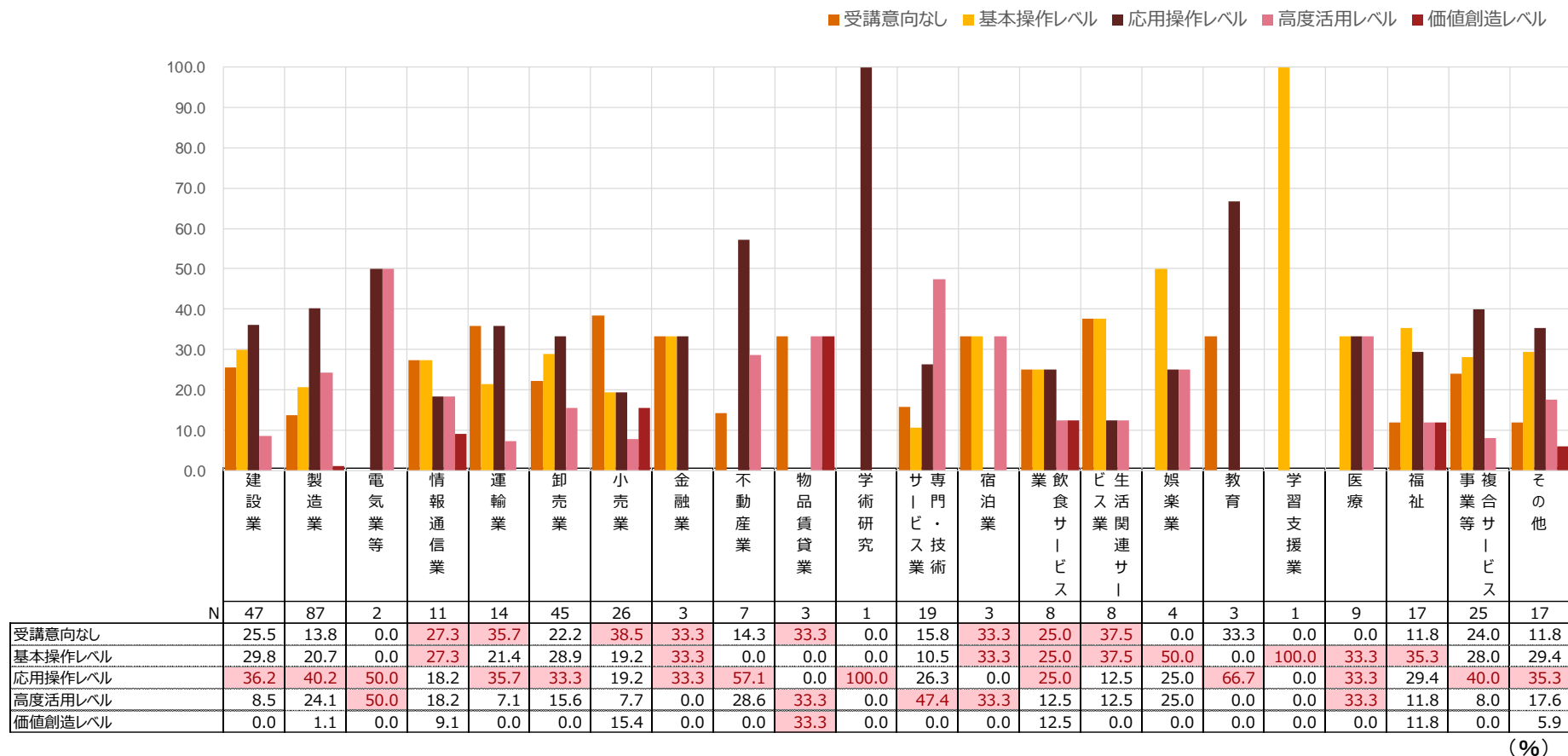
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ③業務システム【業種別】 1/2

- 業務システムに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約3割と最も高く、次いで「基本操作レベル」が約2割強と高い傾向にあるのに対し、業種別では建設業、卸売業及び複合サービス事業等において同様の傾向がみられる。

業務システムに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）



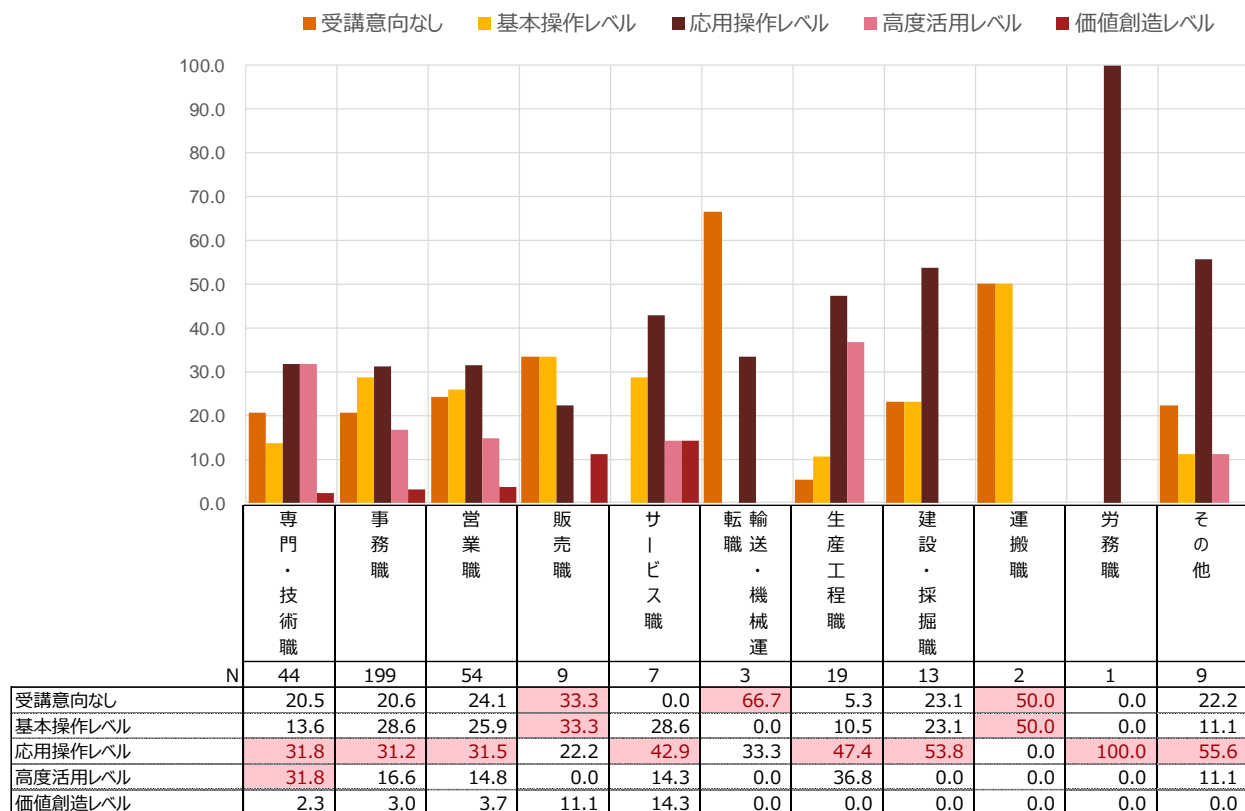
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

1) 従来技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ④業務システム【職種別】 2/2

- 業務システムに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約3割と最も高く、次いで「基本操作レベル」が約2割強と高い傾向にあるのに対し、職種別では事務職及び営業職において同様の傾向がみられる。

業務システムに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



(%)

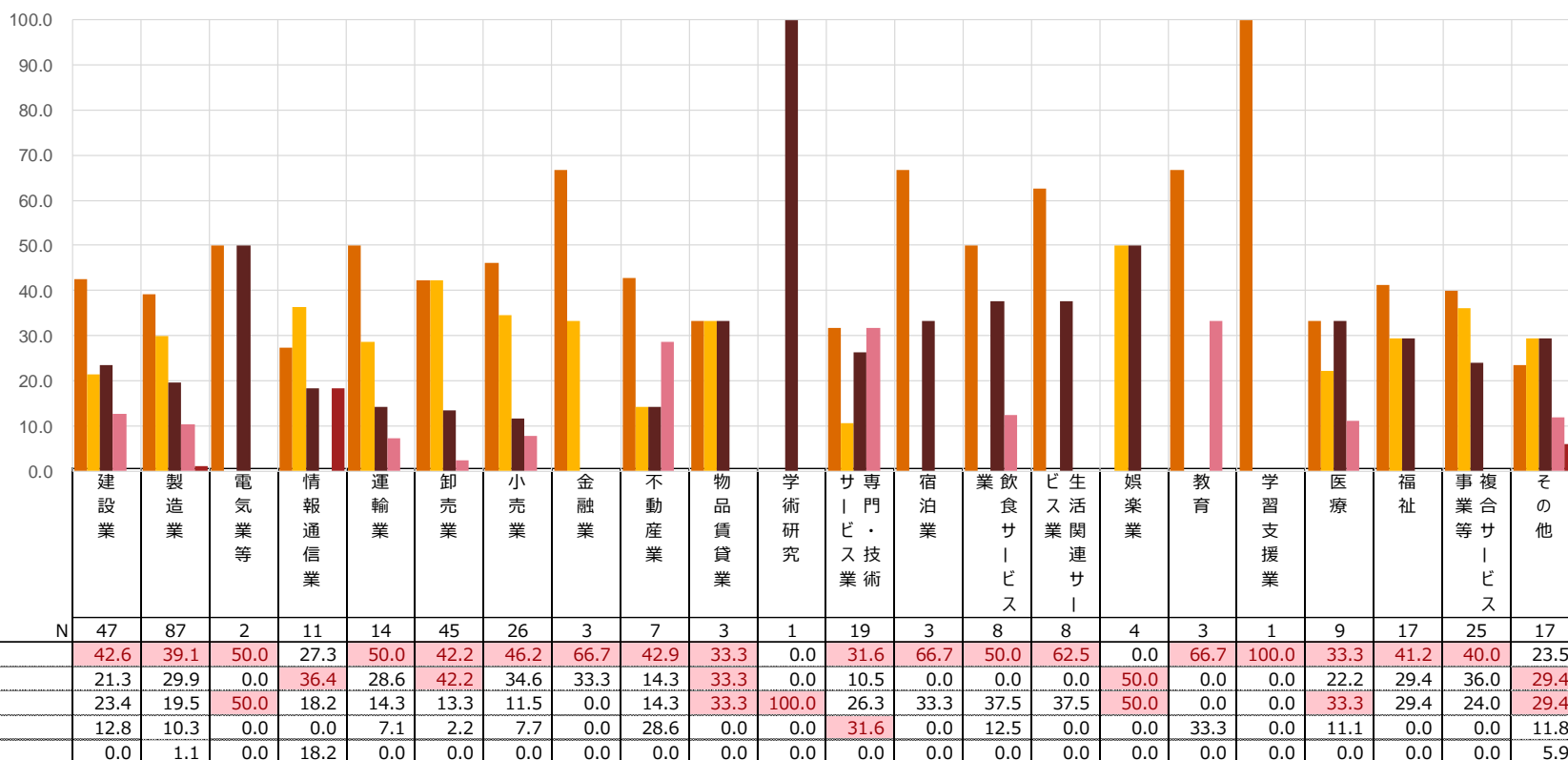
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ①IoT【業種別】 1/2

- IoTに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「受講意向なし」が約4割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業以外の業種において「受講意向なし」が最も高い。
- 情報通信業については、「概要レベル」が最も高く、次いで「受講意向なし」が高い。

IoTに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）

■ 受講意向なし ■ 概要レベル ■ 操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



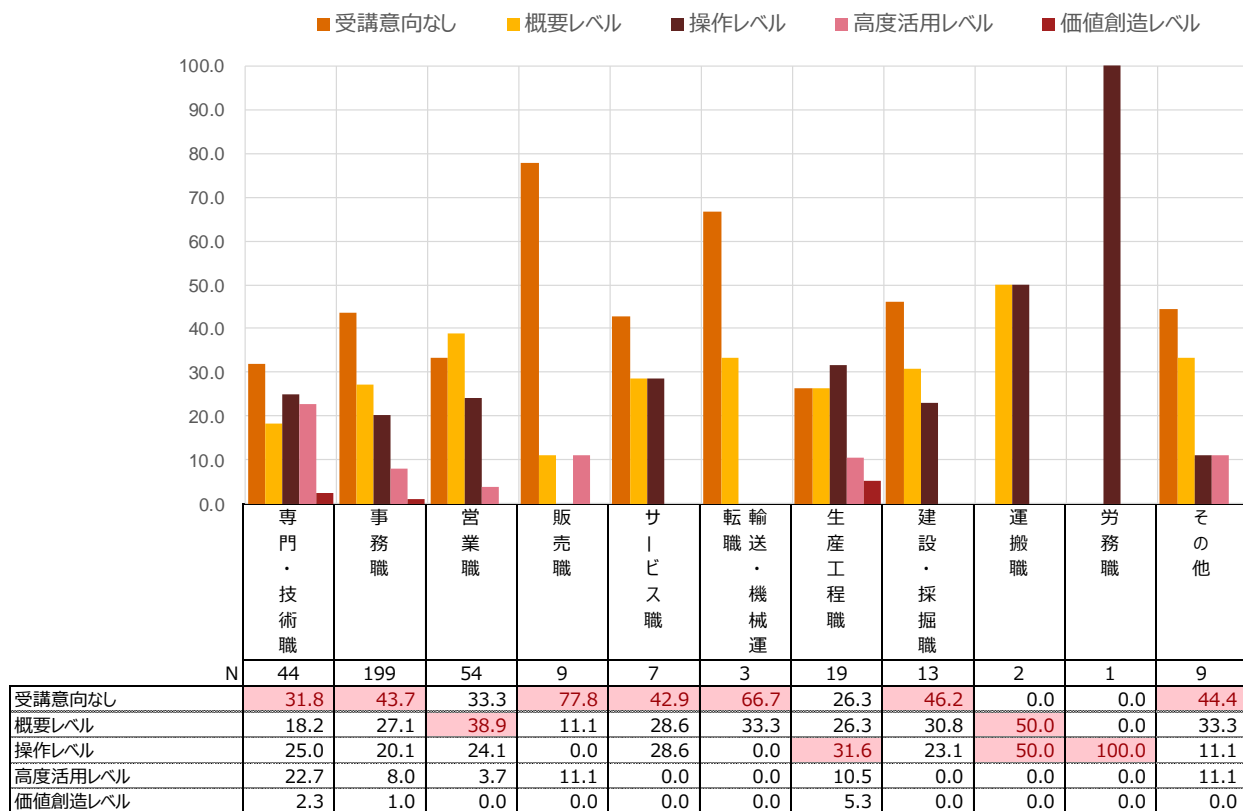
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ①IoT【職種別】 2/2

- IoTに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「受講意向なし」が約4割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では営業職及び生産工程職以外の職種において「受講意向なし」が最も高い。
- 特に販売職においては、「受講意向なし」が約8割と他の職種に比べて高い。

IoTに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



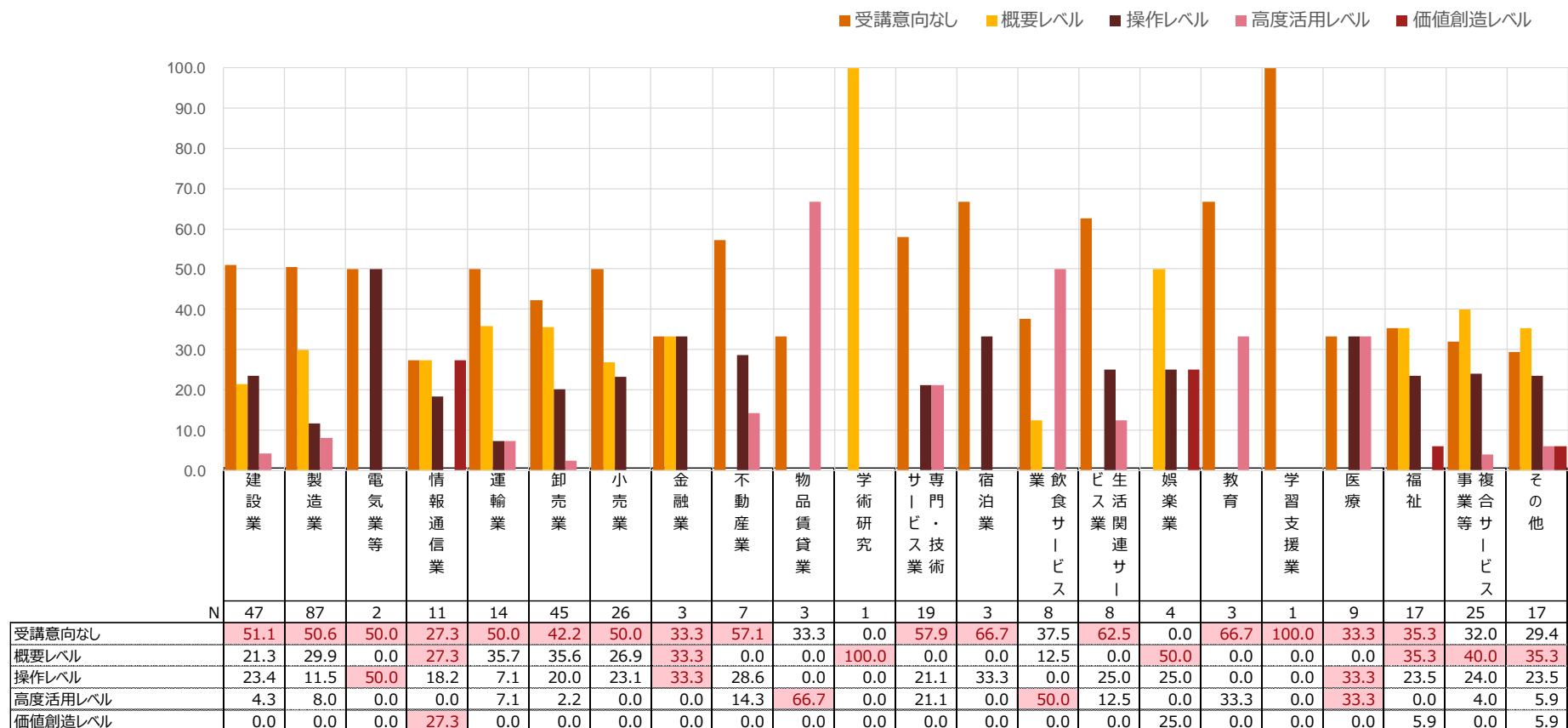
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ②ビッグデータ【業種別】 1/2

- ビッグデータに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「受講意向なし」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業、専門・技術サービス業、飲食サービス業、福祉及び複合サービス事業等以外の業種において「受講意向なし」が最も高い。
- 情報通信業については、「価値創造レベル」が「受講意向なし」及び「概要レベル」と同程度の回答がある。

ビッグデータに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）



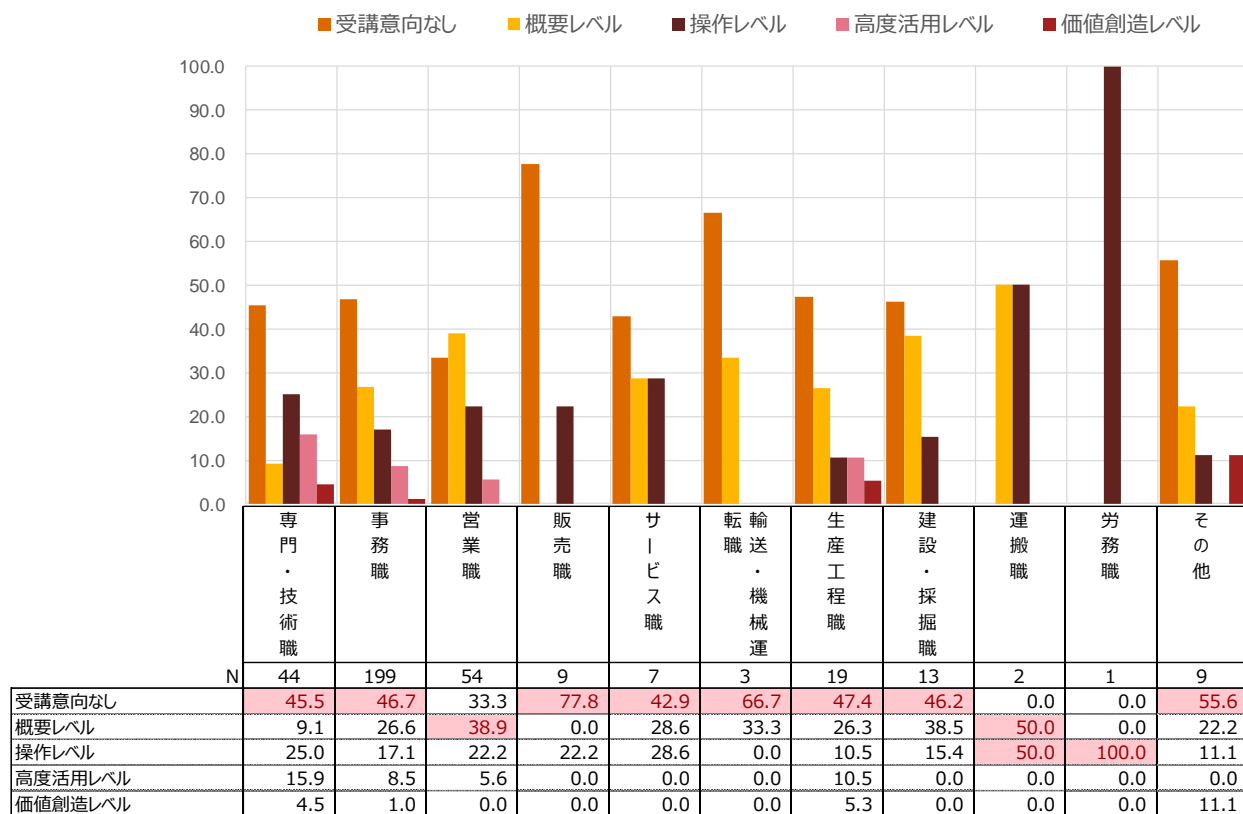
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ②ビッグデータ【職種別】 2/2

- ビッグデータに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「受講意向なし」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では営業職以外の職種において「受講意向なし」が最も高い。
- 特に販売職においては、「受講意向なし」が約8割と他の職種に比べて高い。

ビッグデータに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



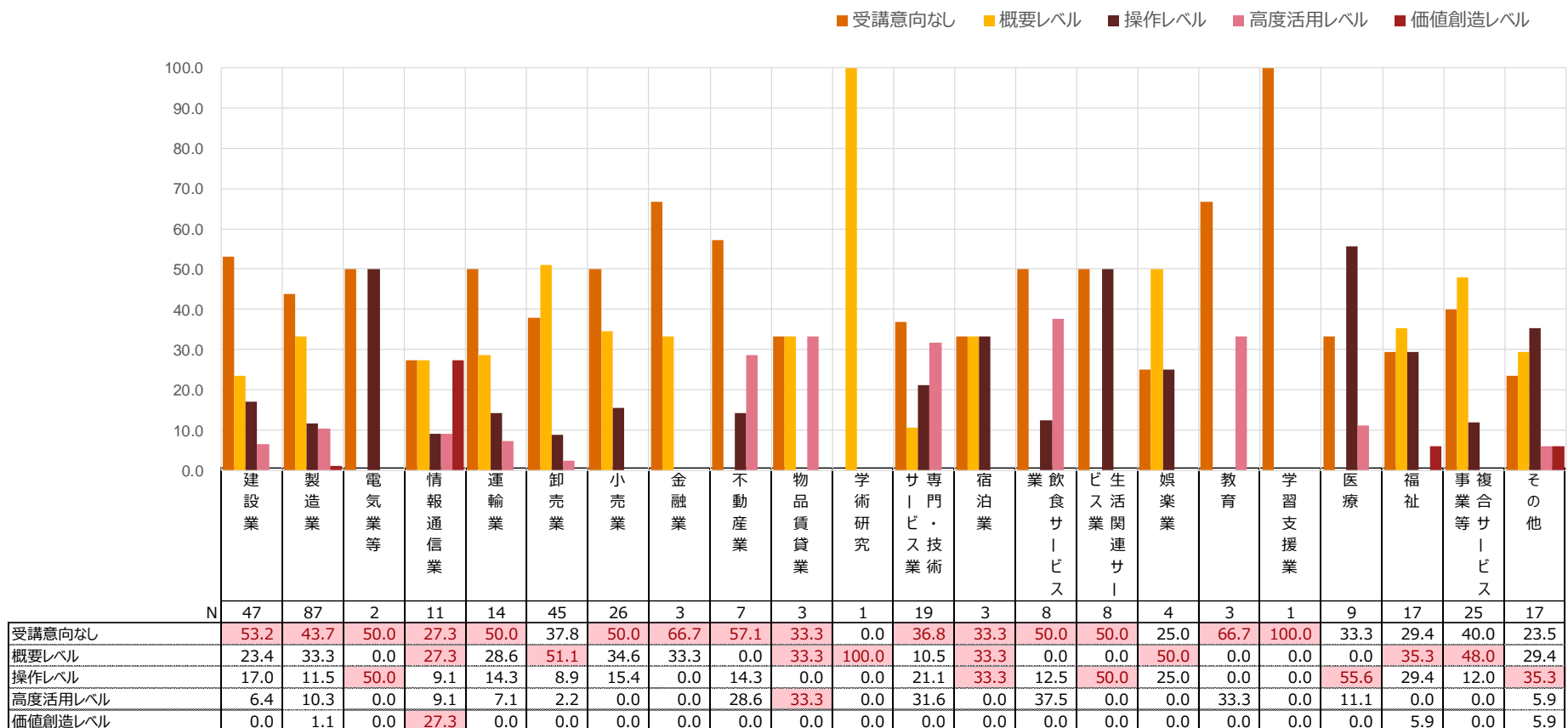
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ③AI【業種別】 1/2

- AIに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「受講意向なし」が約4割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では情報通信業、卸売業、医療、福祉及び複合サービス事業等以外の業種において「受講意向なし」が最も高い。
- 情報通信業については、「価値創造レベル」が「受講意向なし」及び「概要レベル」と同程度の回答がある。

AIに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）



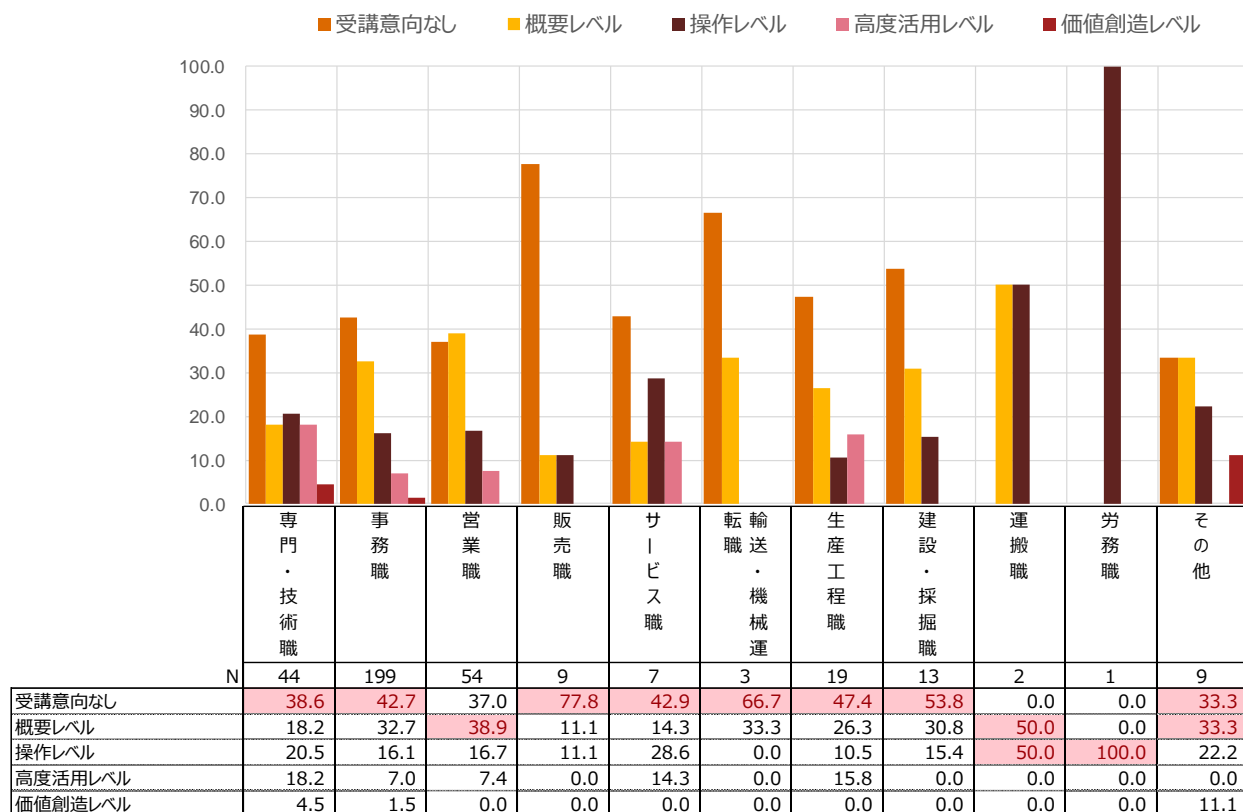
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ③AI【職種別】 2/2

- AIに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「受講意向なし」が約4割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では営業職以外の職種において「受講意向なし」が最も高い。
- 特に販売職においては、「受講意向なし」が約8割と他の職種に比べて高い。

AIに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



(%)

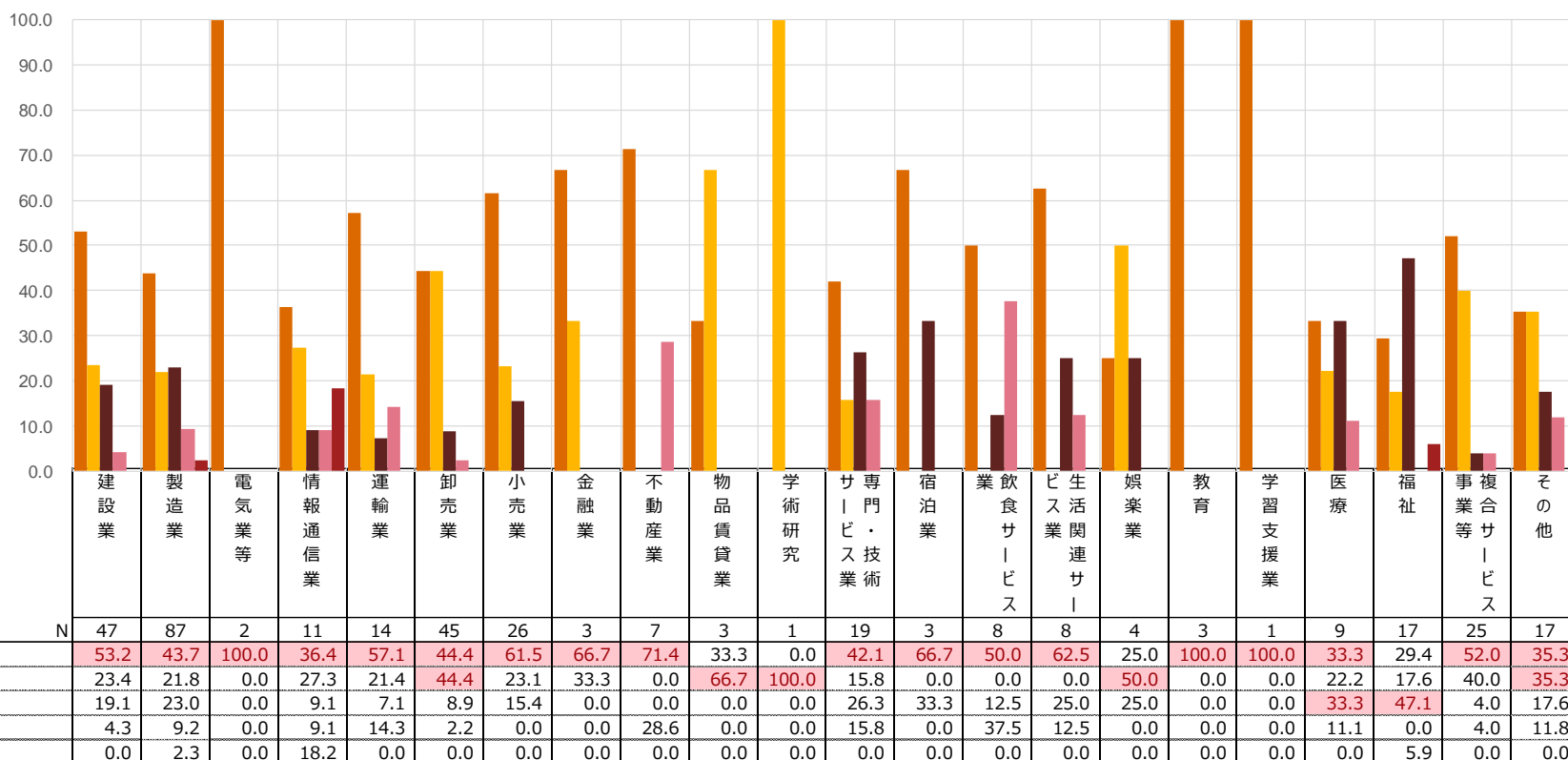
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ④ロボット【業種別】 1/2

- ロボットに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「受講意向なし」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では卸売業医療及び福祉以外の業種において「受講意向なし」が最も高い。
- 福祉については、「操作レベル」が約半数と最も高い。

ロボットに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）

■ 受講意向なし ■ 概要レベル ■ 操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



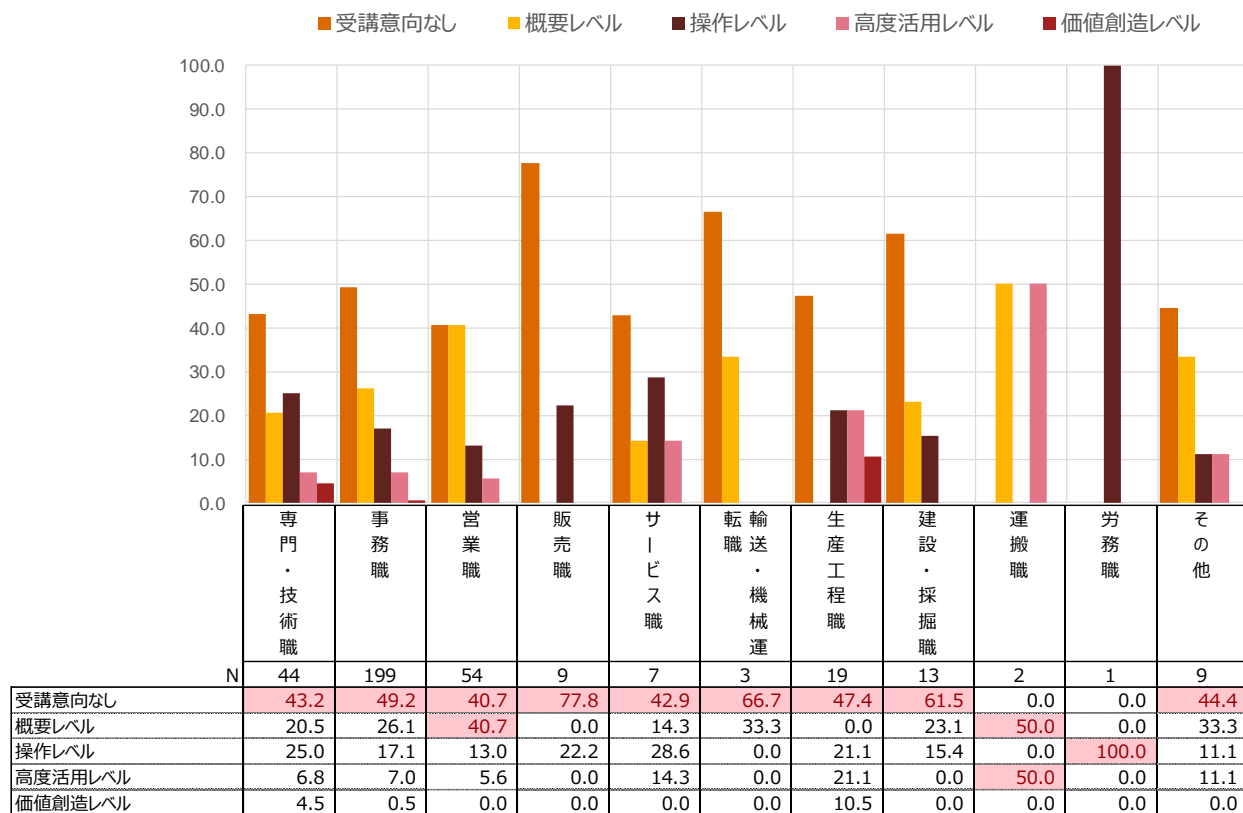
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ④ロボット【職種別】 2/2

- ロボットに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「受講意向なし」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では営業職以外の職種において「受講意向なし」が最も高い。
- 専門・技術職及び生産工程職については、「価値創造レベル」という回答がそれぞれ約1割ある。

ロボットに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



(%)

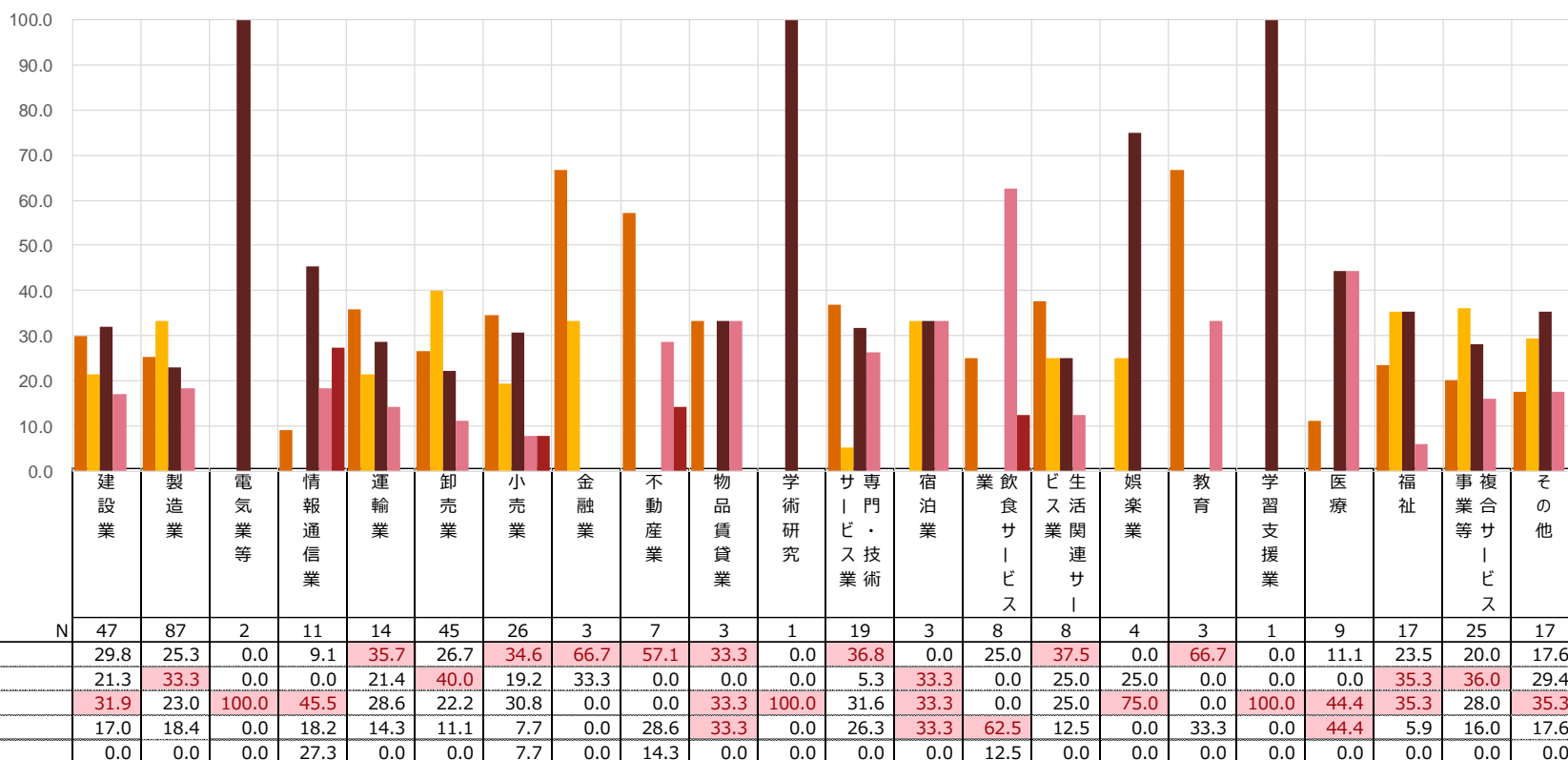
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ⑤クラウド【業種別】 1/2

- クラウドに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約2割強と最も高く、次いで「受講意向なし」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では建設業及び情報通信業において「操作レベル」が最も高い。

クラウドに係る公共職業訓練の受講意向（業種別）

■ 受講意向なし ■ 概要レベル ■ 操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



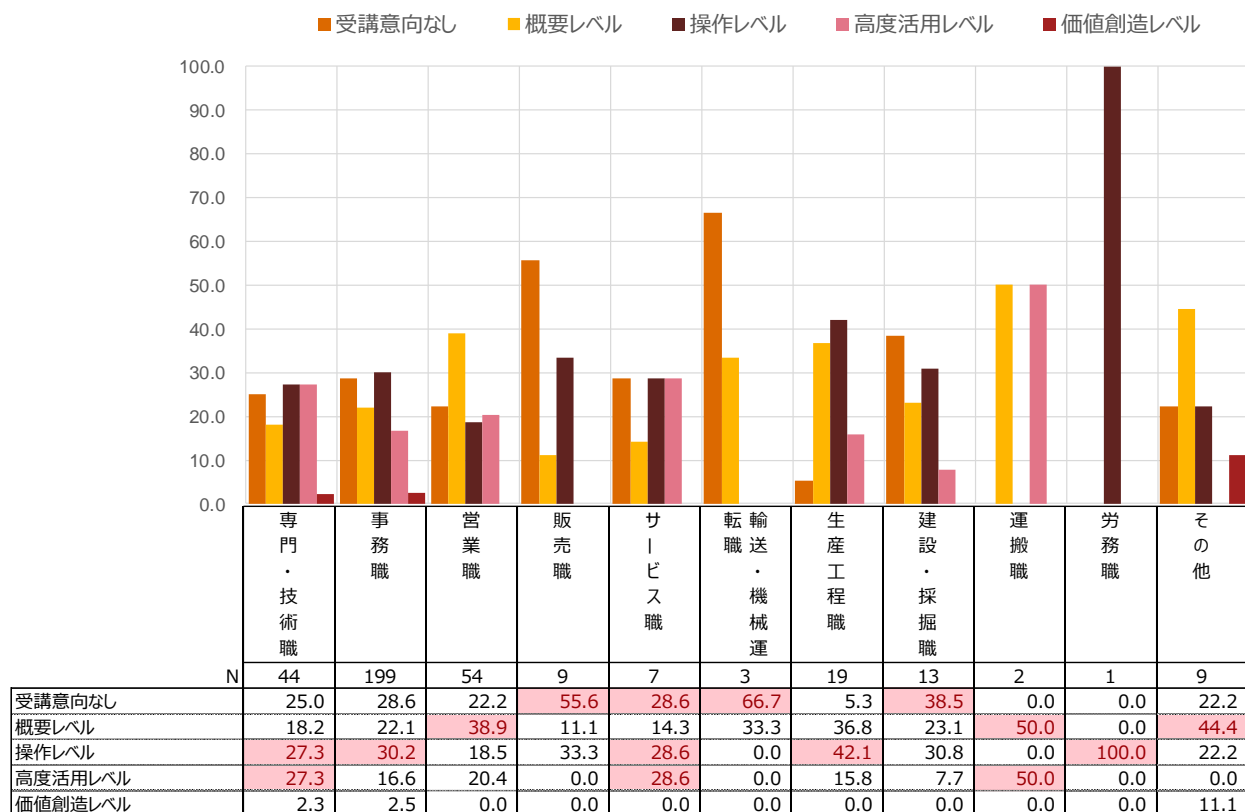
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

2) 新技術に関する公共職業訓練に関する受講意向 ⑤クラウド【職種別】 2/2

- クラウドに関する公共職業訓練に対する受講意向の全体的な傾向として「操作レベル」が約2割強と最も高く、次いで「受講意向なし」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では事務職及び生産工程職において「操作レベル」が最も高い。
- 販売職及び建設・採掘職については、「受講意向なし」が最も高い。

クラウドに係る公共職業訓練の受講意向（職種別）



(%)

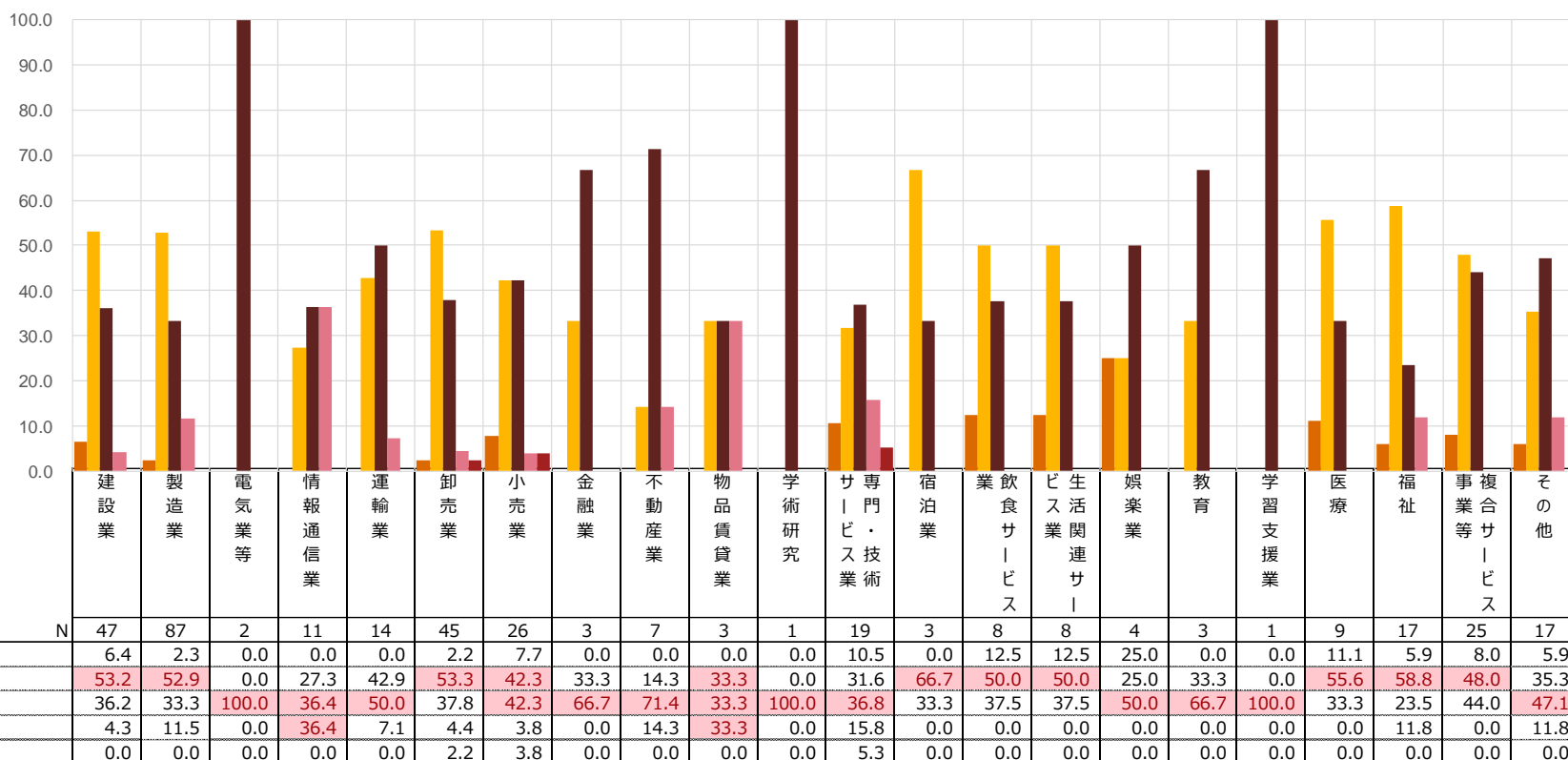
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル ①表計算ツール【業種別】 1/2

- 表計算ツールに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「基本操作レベル」が約5割と最も高く、次いで「操作レベル」が約4割と高い傾向にあるのに対し、業種別には情報通信業、運輸業、小売業、不動産業及び専門・技術サービス業以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 卸売業、小売業及び専門・技術サービス業については、「価値創造レベル」が約1割と、他業種に比べて高い。

表計算ツールに係る中途採用者の活用レベル（業種別）

■ 有してなくてよい ■ 基本操作レベル ■ 応用操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



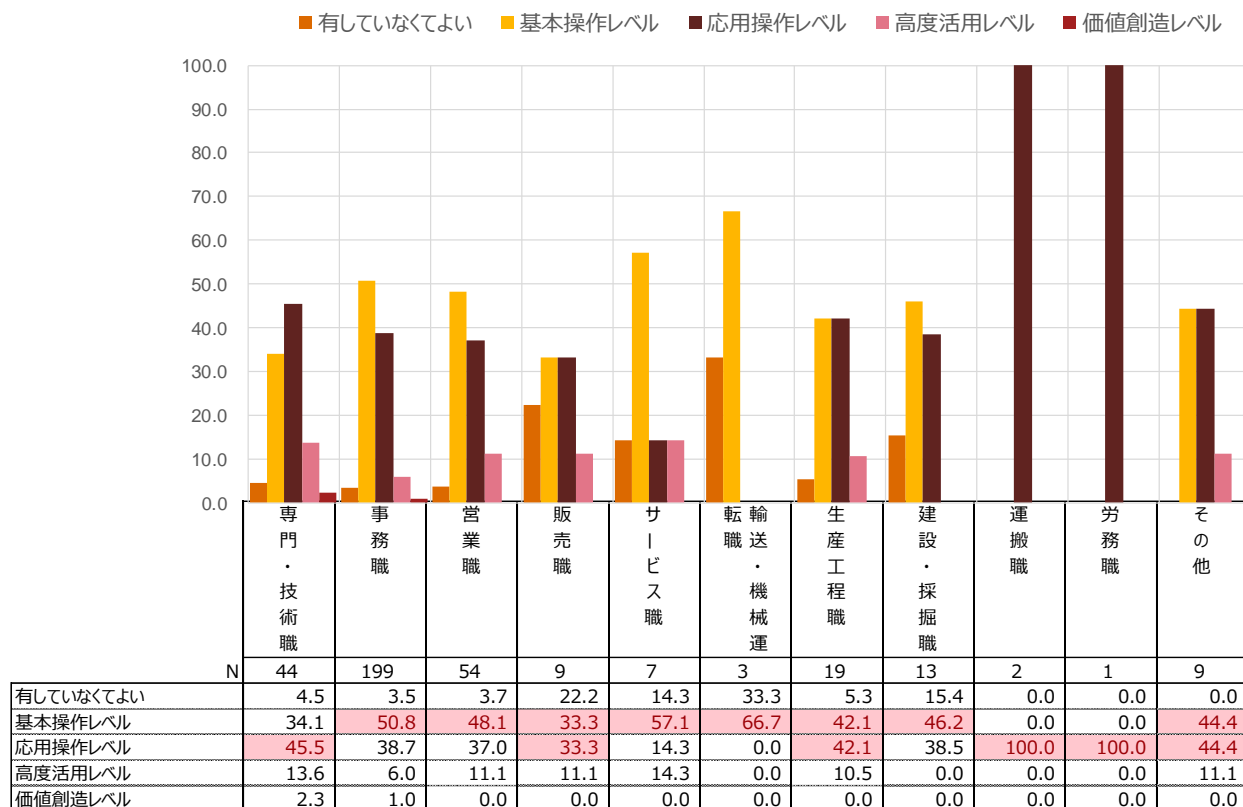
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル ①表計算ツール【職種別】 2/2

- 表計算ツールに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「基本操作レベル」が約5割と最も高く、次いで「操作レベル」が約4割と高い傾向にあるのに対し、職種別には専門・技術職以外の職種において同様の傾向がみられる。
- 専門・技術職については、「操作レベル」が最も高く、次いで「基本操作レベル」が高い。
- また、専門・技術職及び事務職については、わずかではあるが「価値創造レベル」も一部企業において求められている。

表計算ツールに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



(%)

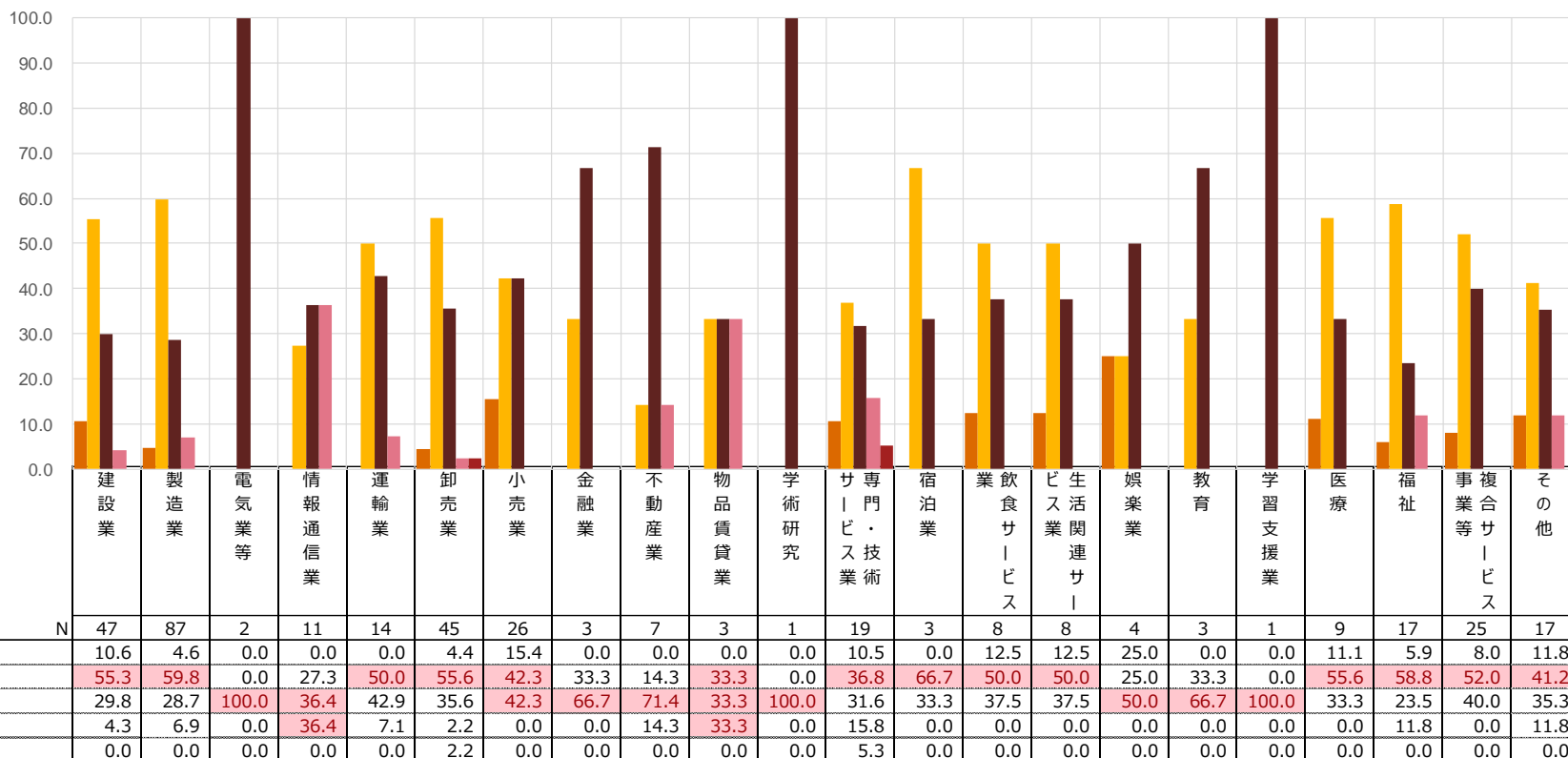
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル ②文書・資料作成ツール【業種別】 1/2

- 文書・資料作成ツールに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「基本操作レベル」が約5割と最も高く、次いで「操作レベル」が約4割と高い傾向にあるのに対し、業種別に情報通信業及び小売業以外においては同様の傾向がみられる。
- 情報通信業については、「操作レベル」と同程度の割合で「高度活用レベル」と回答した企業がある。
- 小売業については、「操作レベル」と同程度の割合で「基本操作レベル」と回答した企業がある。

文書・資料作成ツールに係る中途採用者の活用レベル（業種別）

■ 有してなくてよい ■ 基本操作レベル ■ 応用操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



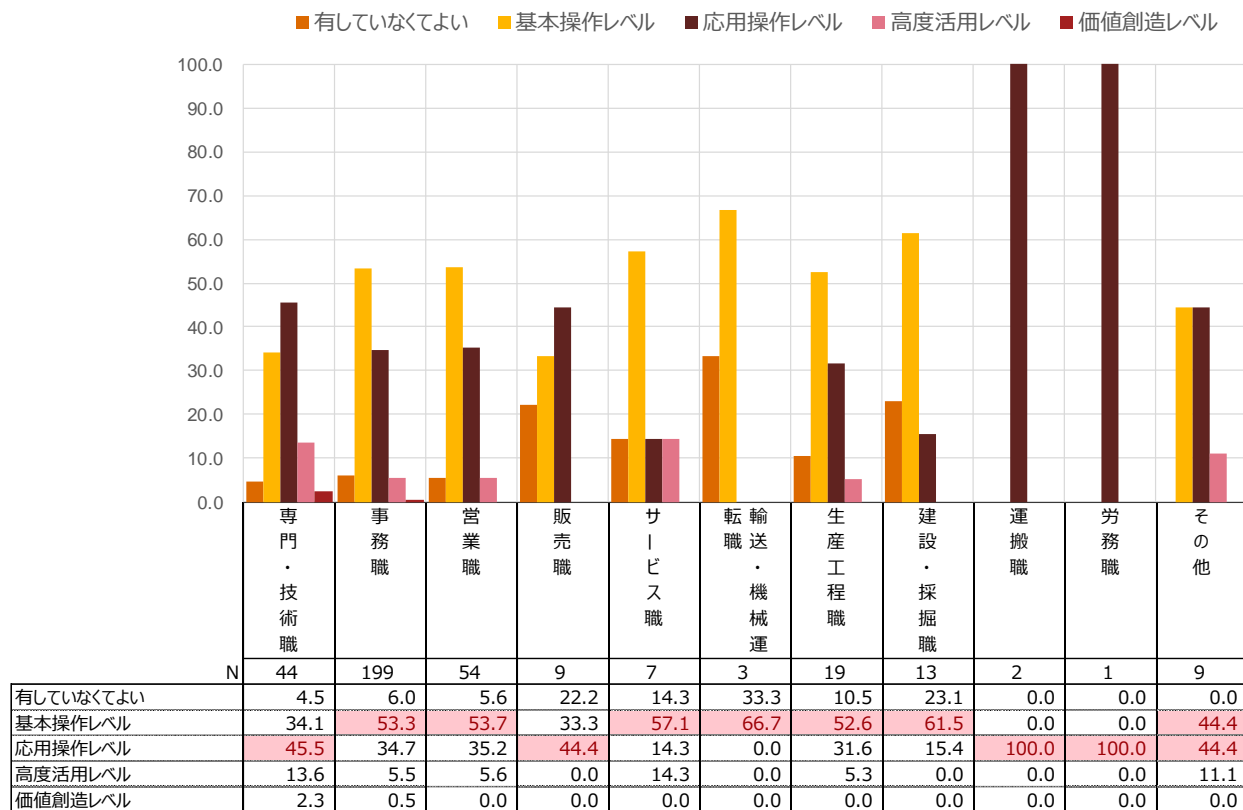
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル ②文書・資料作成ツール【職種別】 2/2

- 文書・資料作成ツールに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「基本操作レベル」が約5割と最も高く、次いで「操作レベル」が約4割と高い傾向にあるのに対し、職種別では専門・技術職及び販売職以外の職種においては同様の傾向がみられる。
- 専門・技術職及び販売職については、「操作レベル」が最も高く、次いで「基本操作レベル」が高い。

文書・資料作成ツールに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



(%)

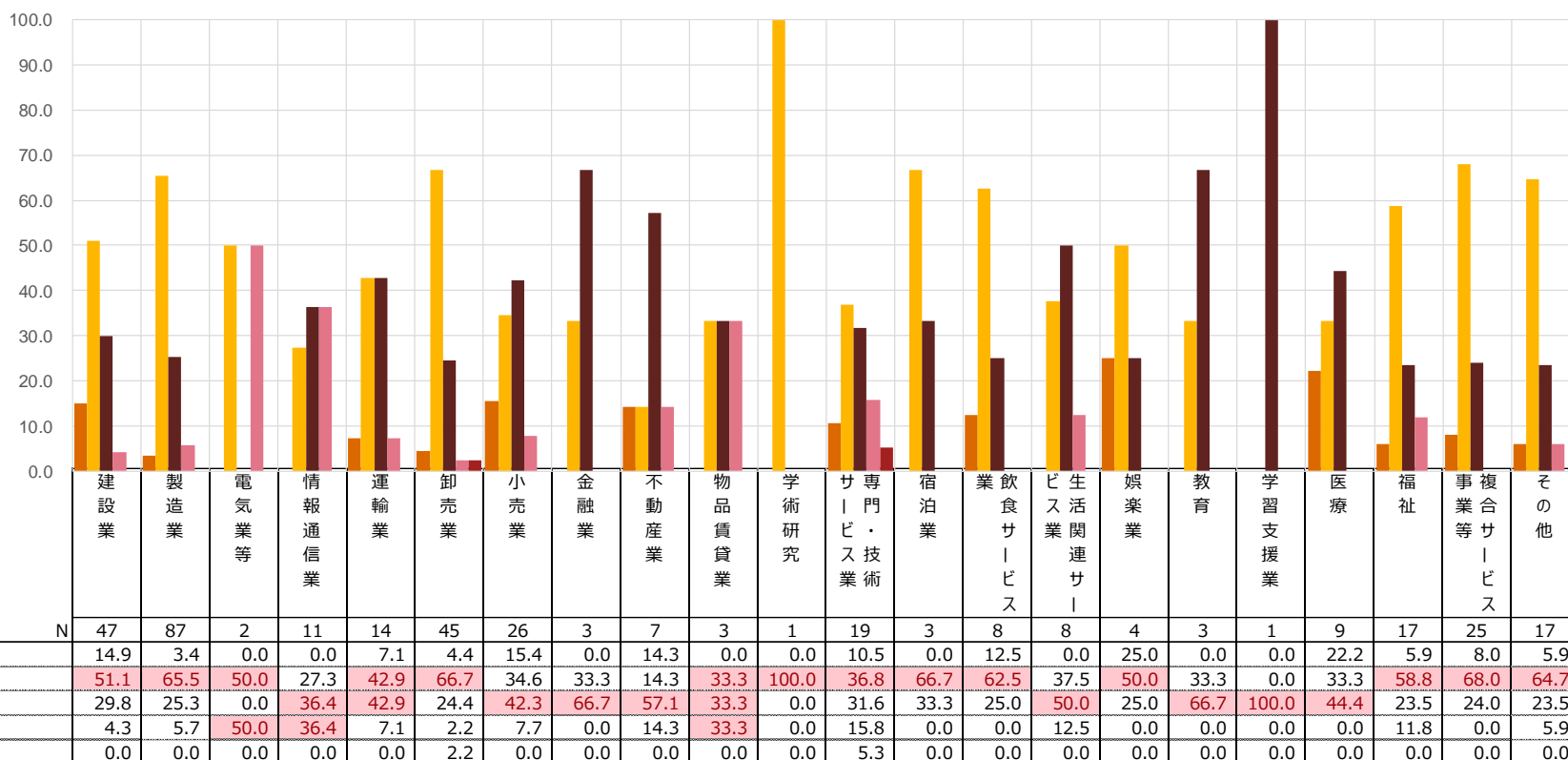
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル ③コミュニケーションツール【業種別】 1/2

- コミュニケーションツールに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「基本操作レベル」が約5割と最も高く、次いで「操作レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別に運輸業、小売業、不動産業、生活関連サービス業及び医療以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 建設業、小売業、不動産業、専門・技術サービス業及び医療については、「有してなくてよい」という回答が約1割いる。

コミュニケーションツールに係る中途採用者の活用レベル（業種別）

■ 有してなくてよい ■ 基本操作レベル ■ 応用操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



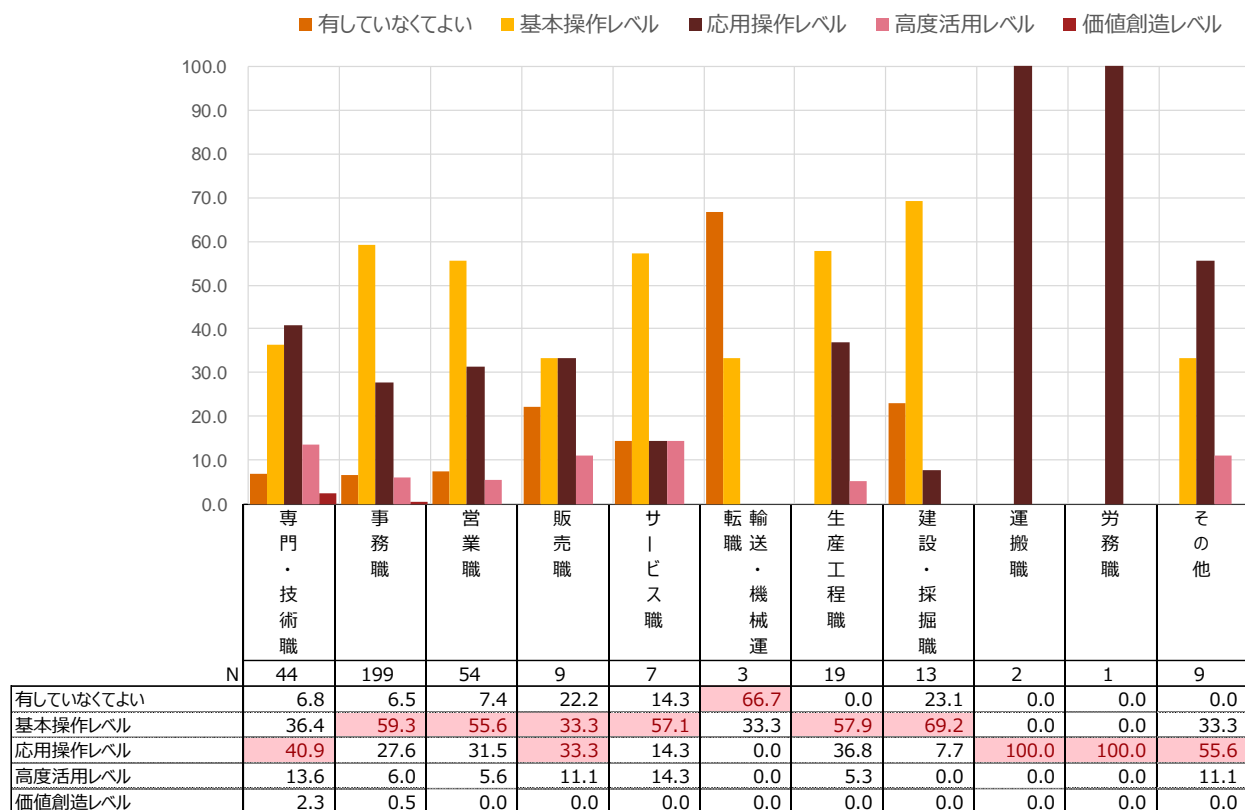
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル ③コミュニケーションツール【職種別】 2/2

- コミュニケーションツールに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「基本操作レベル」が約5割と最も高く、次いで「操作レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では専門・技術職及び販売職以外の職種において同様の傾向がみられる。
- 専門・技術職については、「操作レベル」が最も高い。
- 販売職については、「基本操作レベル」と同程度の割合で「基本操作レベル」と回答している企業がいる。
- 建設・採掘職については、「有してなくてよい」という回答が約2割と他職種に比べて高い。

コミュニケーションツールに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



(%)

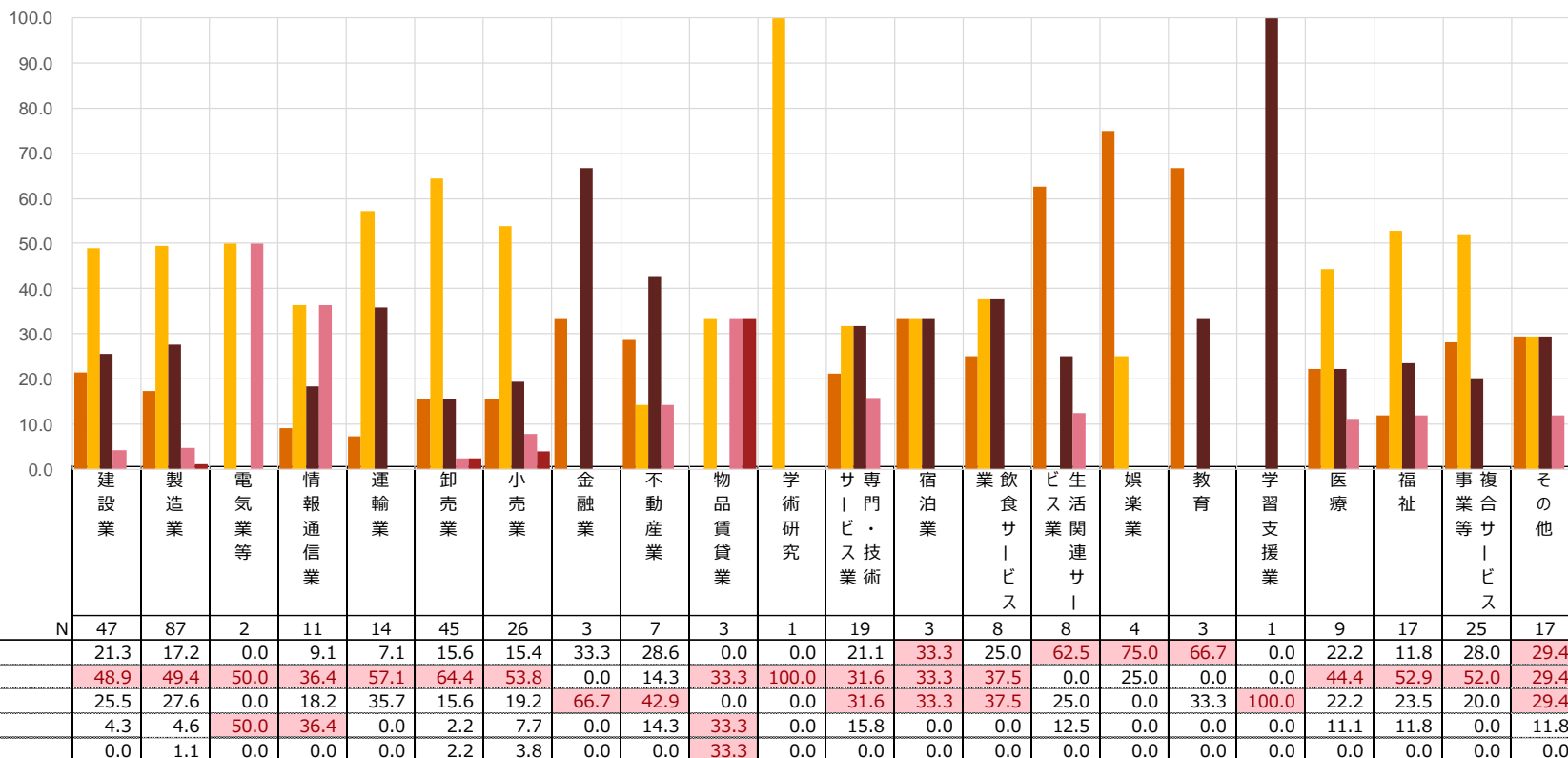
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル ④業務システム【業種別】 1/2

- 業務システムに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「基本操作レベル」が約5割と最も高く、次いで「操作レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別に不動産業、専門・技術サービス業及び飲食サービス業以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 建設業、製造業、不動産業、専門・技術サービス業、飲食サービス業、生活関連サービス業、医療及び複合サービス事業等については、「有してなくてよい」という回答が約2割ある。

業務システムに係る中途採用者の活用レベル（業種別）

■ 有してなくてよい ■ 基本操作レベル ■ 応用操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



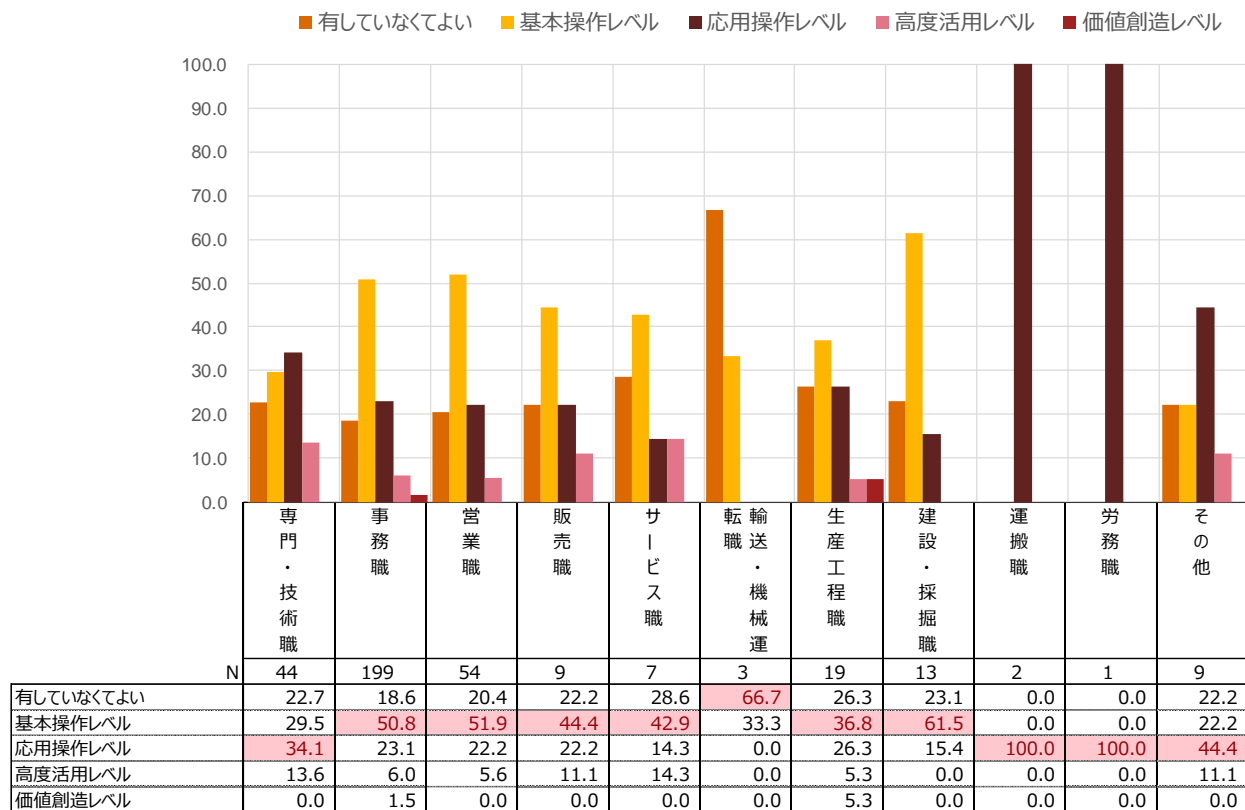
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

3) 中途採用者に求める従来技術の活用レベル ④業務システム【職種別】 2/2

- 業務システムに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「基本操作レベル」が約5割と最も高く、次いで「操作レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では専門・技術職以外の職種において同様の傾向がみられる。
- 専門・技術職については、「操作レベル」が最も高い。

業務システムに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



(%)

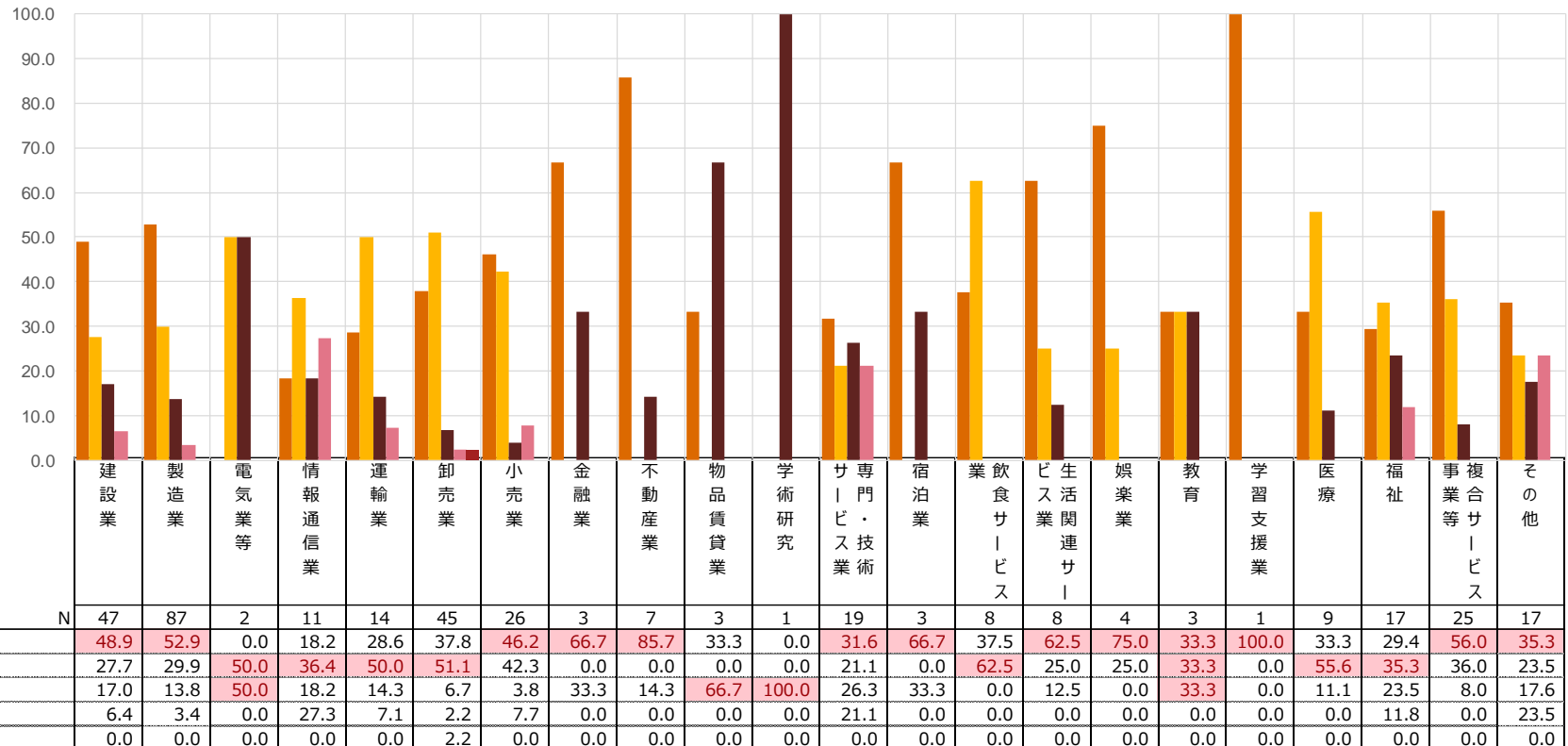
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ①IoT【業種別】 1/2

- IoTに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「有してなくてよい」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では、情報通信業、運輸業、卸売業及び飲食サービス業以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 情報通信業、運輸業、卸売業及び飲食サービス業については「概要レベル」が最も高い。

IoTに係る中途採用者の活用レベル（業種別）

■有してなくてよい ■概要レベル ■操作レベル ■高度活用レベル ■価値創造レベル



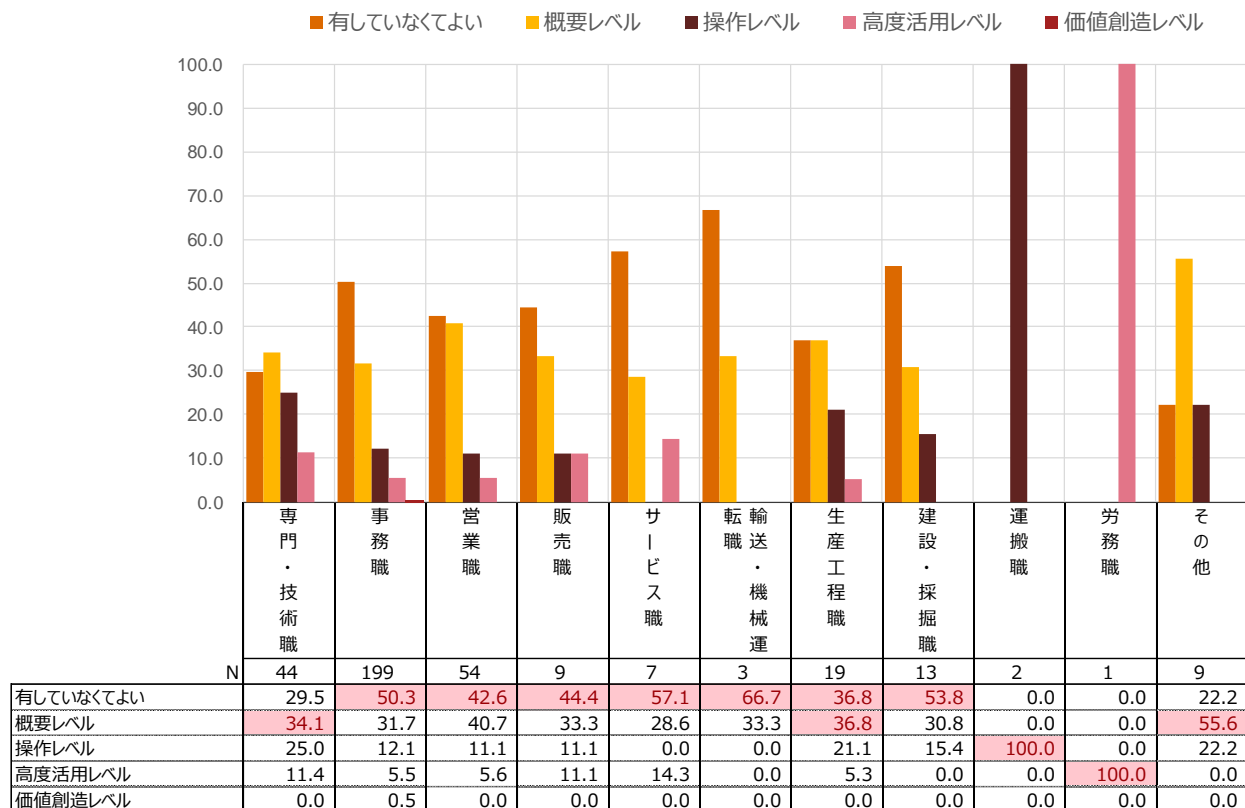
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ①IoT【職種】 2/2

- IoTに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「有してなくてよい」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では専門・技術職及び生産工程職以外の職種において同様の傾向がみられる。
- 専門・技術職については、「概要レベル」が最も高い。

IoTに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



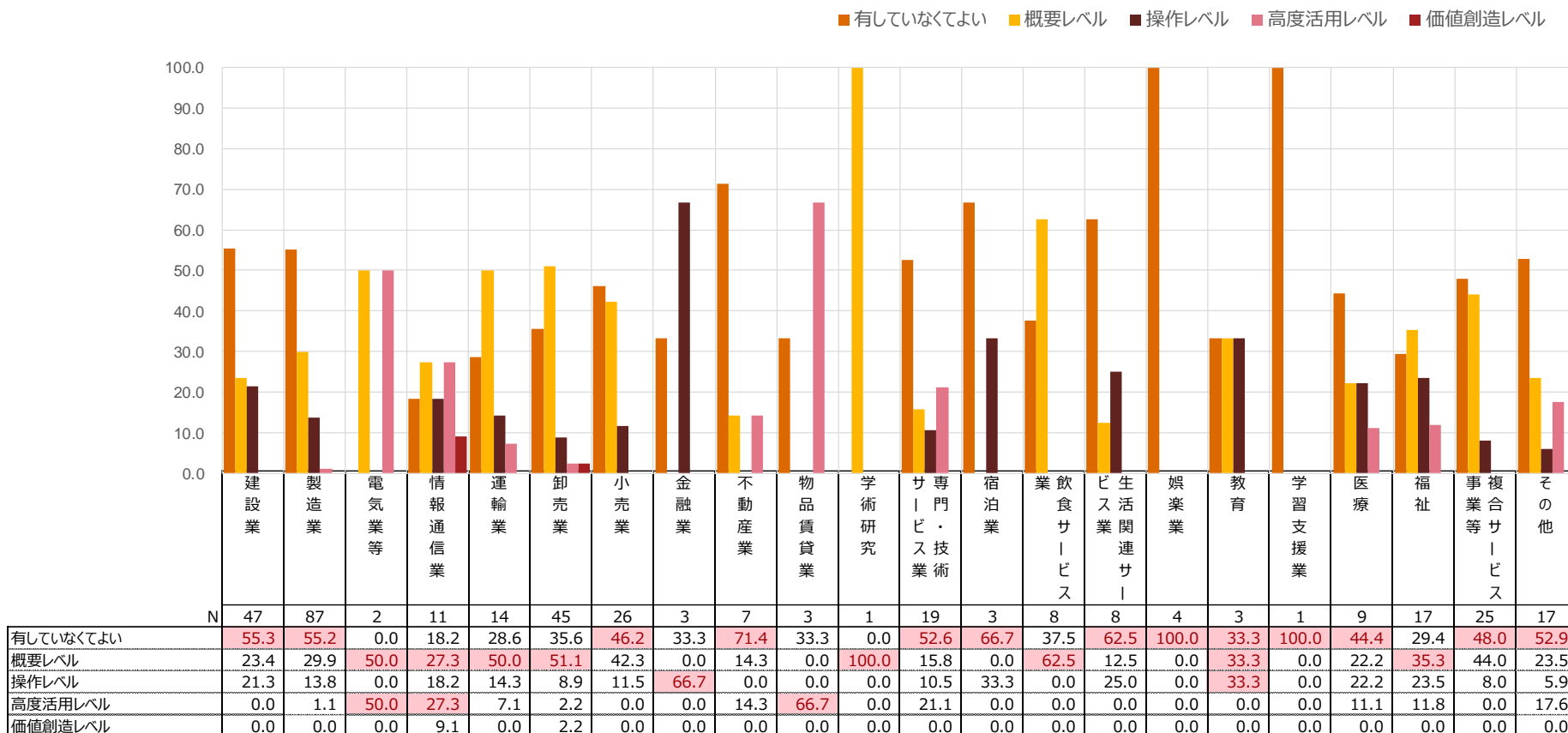
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ②ビッグデータ【業種別】 1/2

- ビッグデータに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「有してなくてよい」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では、情報通信業、運輸業、卸売業、飲食サービス業及び福祉以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 情報通信業、運輸業、卸売業、飲食サービス業及び福祉については「概要レベル」が最も高い。

ビッグデータに係る中途採用者の活用レベル（業種別）



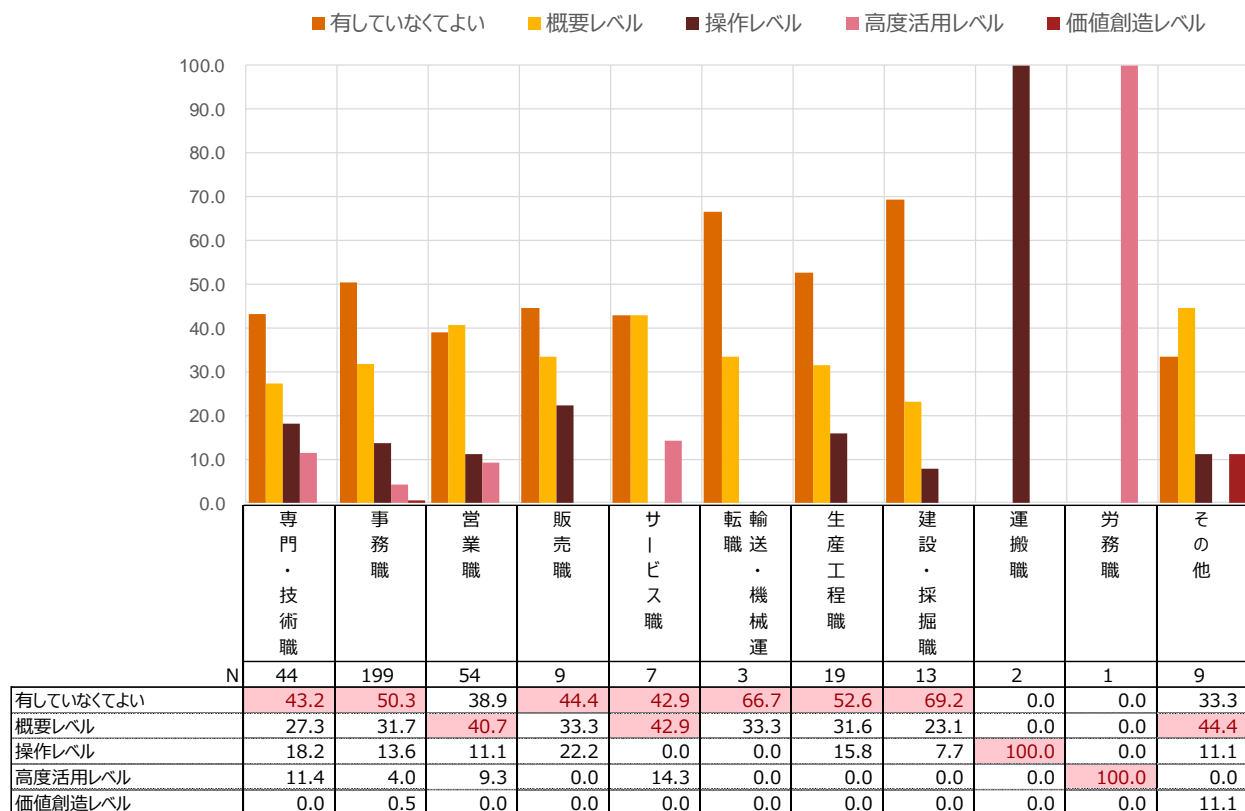
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ②ビッグデータ【職種別】 2/2

- ビッグデータに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「有してなくてよい」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では営業職以外の職種において同様の傾向がみられる。
- 営業職については、「概要レベル」が最も高い。

ビッグデータに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



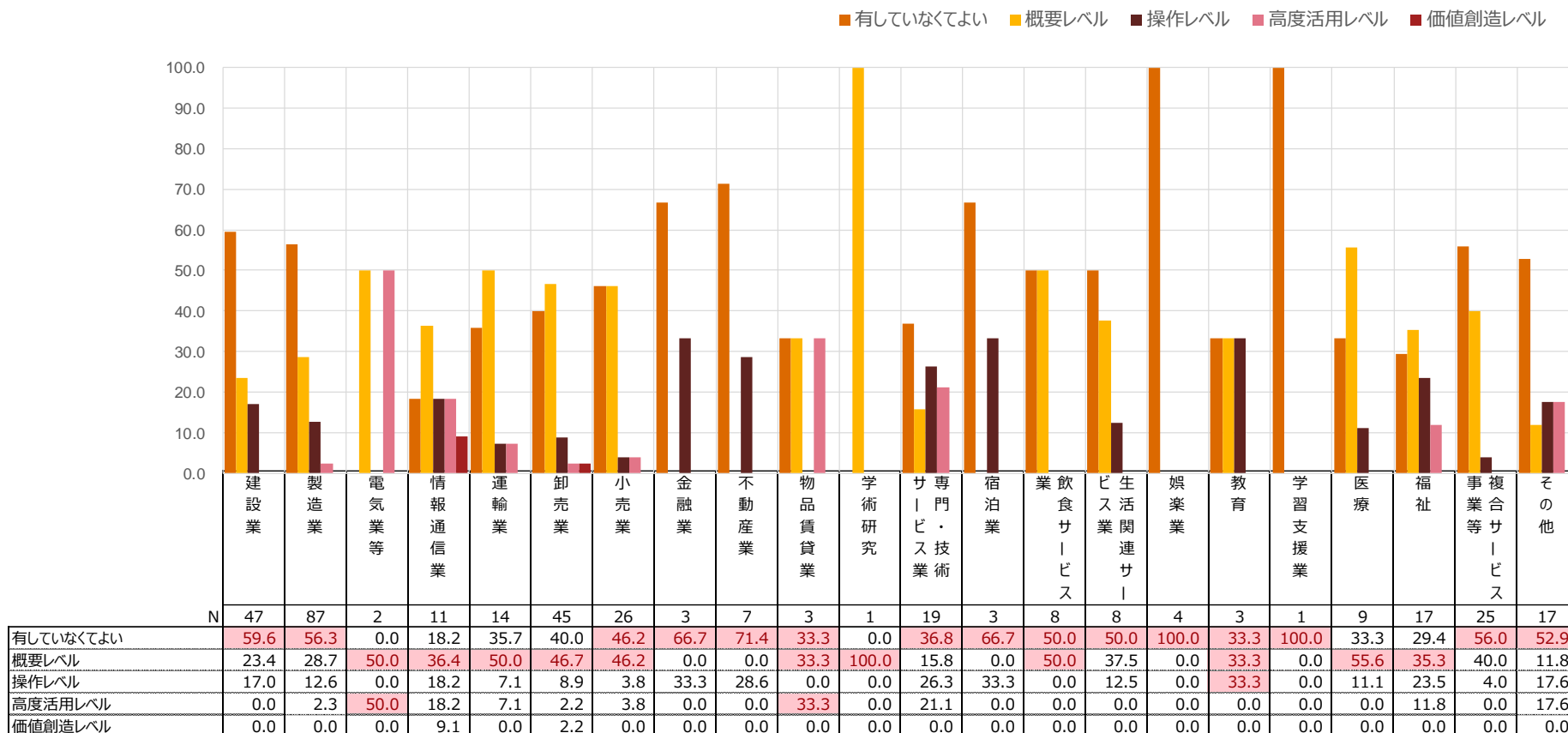
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ③AI【業種別】 1/2

- AIに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「有してなくてよい」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では、情報通信業、運輸業、卸売業、小売業、飲食サービス業、医療及び福祉以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 情報通信業、運輸業、卸売業、小売業、飲食サービス業、医療及び福祉については「概要レベル」が最も高い。

AIに係る中途採用者の活用レベル（業種別）



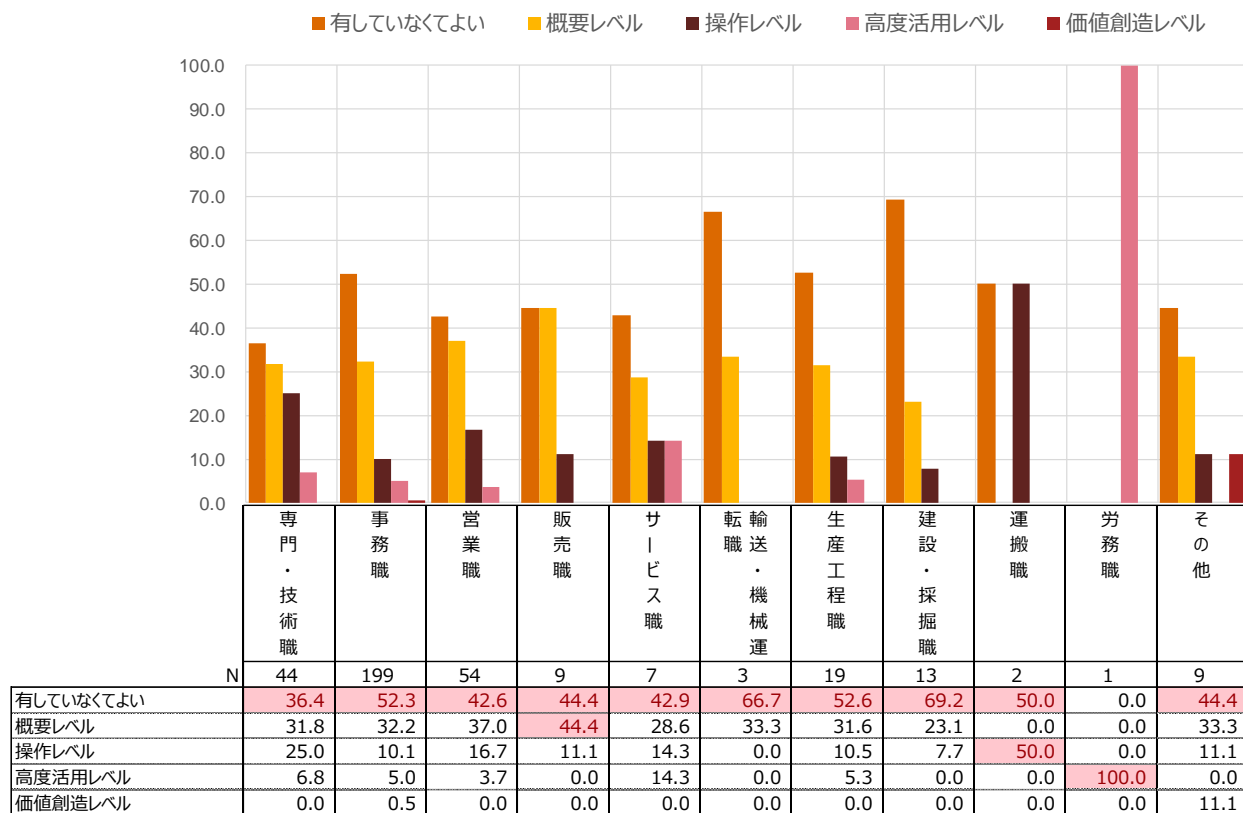
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ③AI【職種別】 2/2

- AIに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「有してなくてよい」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別でも同様の傾向がみられる。

AIに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



(%)

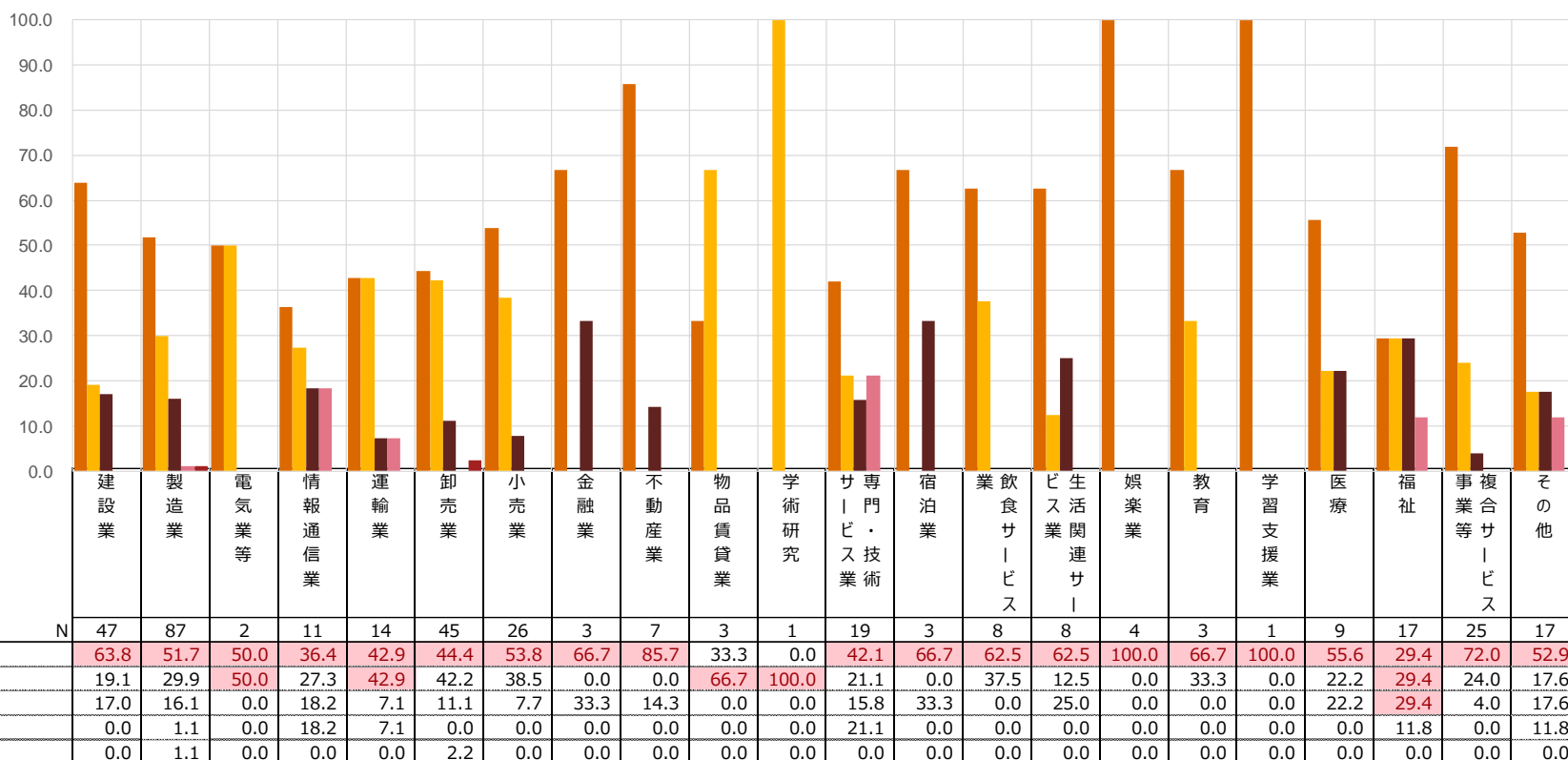
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ④ロボット【業種別】 1/2

- ロボットに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「有してなくてよい」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では、福祉以外の業種において同様の傾向がみられる。
- 福祉については「有してなくてよい」「概要レベル」及び「操作レベル」が同程度の割合ある。

ロボットに係る中途採用者の活用レベル（業種別）

■ 有してなくてよい ■ 概要レベル ■ 操作レベル ■ 高度活用レベル ■ 価値創造レベル



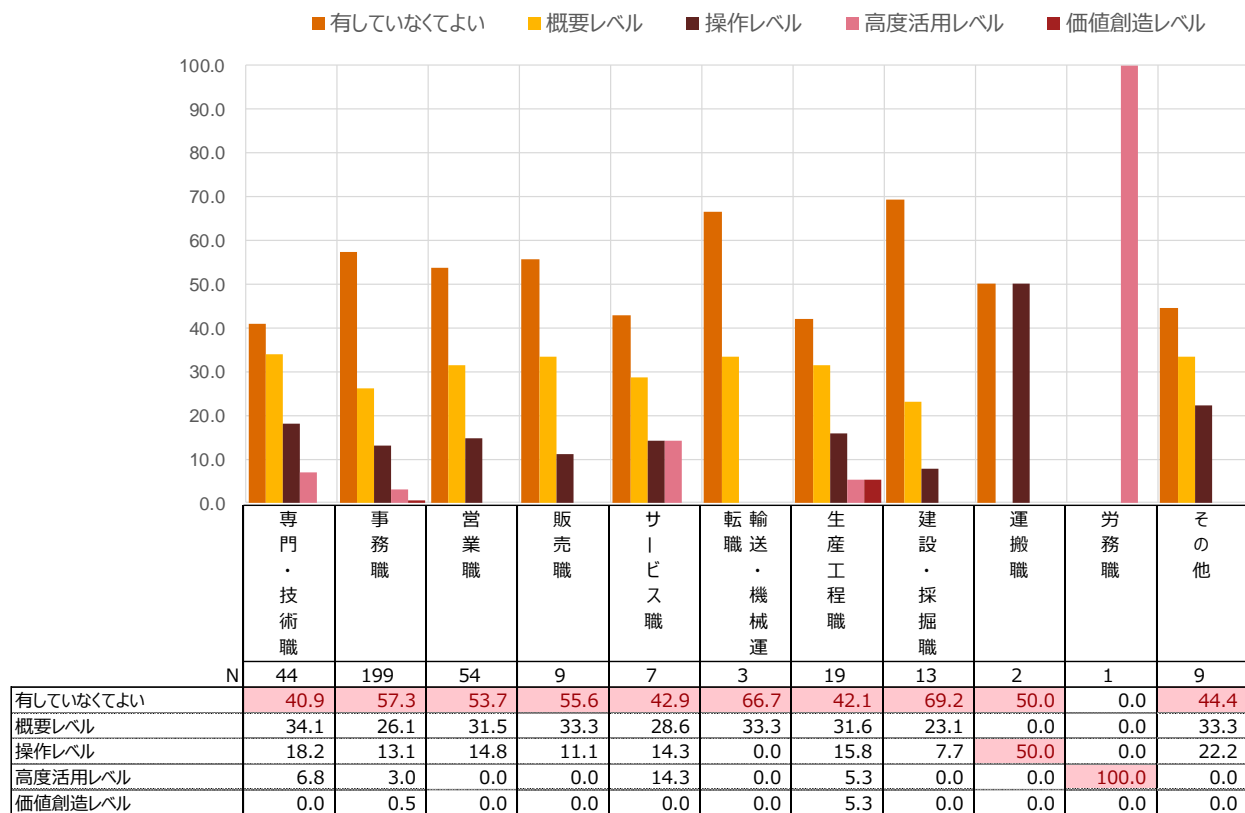
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ④ロボット【職種別】 2/2

- ロボットに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「有してなくてよい」が約5割と最も高く、次いで「概要レベル」が約3割と高い傾向にあり、職種別でも同様の傾向がみられる。

ロボットに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



(%)

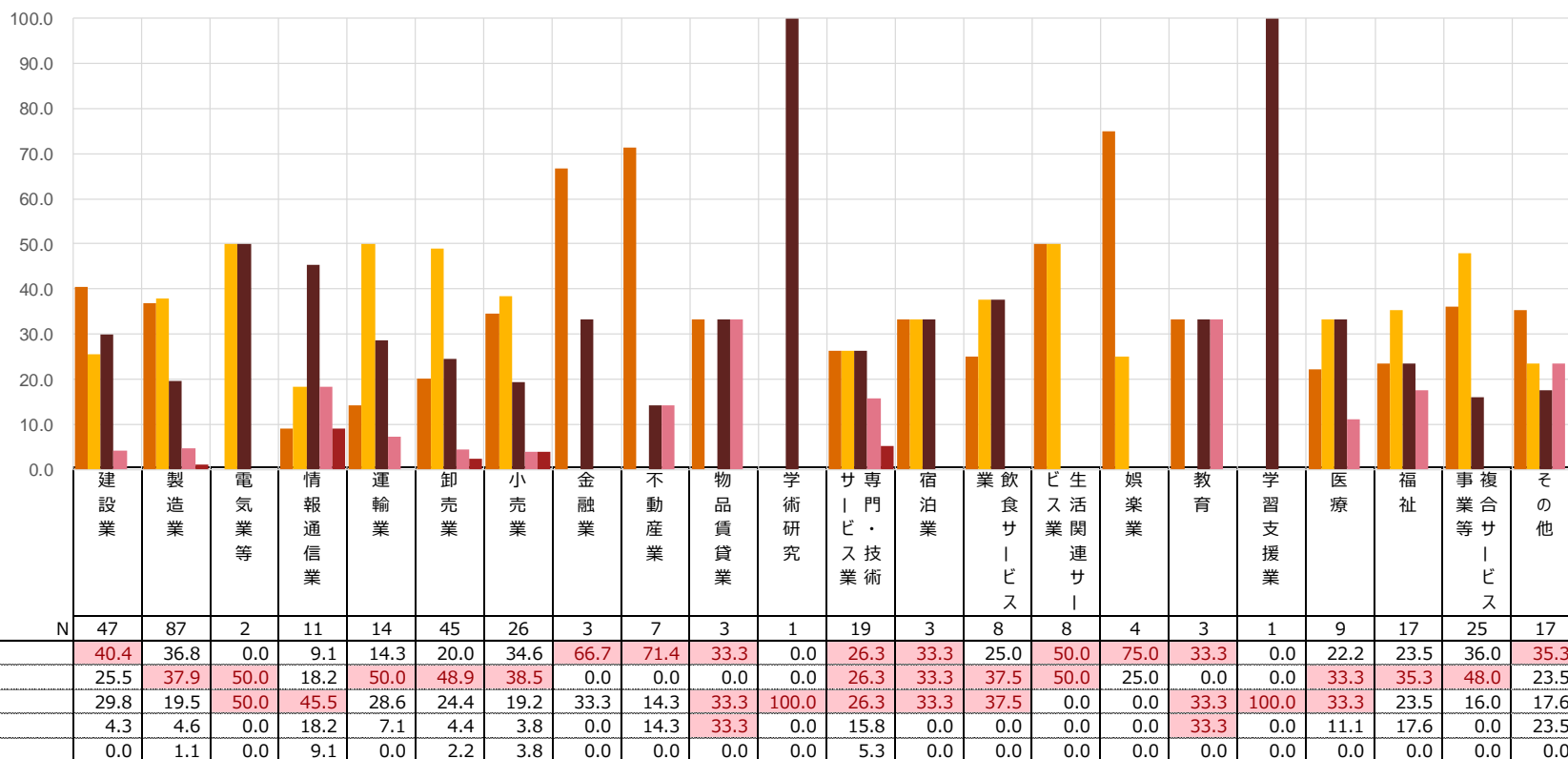
Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ⑤クラウド【業種別】 1/2

- クラウドに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「概要レベル」が約4割と最も高く、次いで「有してなくてよい」が約3割と高い傾向にあるのに対し、業種別では、建設業及び専門・技術サービス業以外の業種において同様の傾向がみられる。

クラウドに係る中途採用者の活用レベル（業種別）

■有してなくてよい ■概要レベル ■操作レベル ■高度活用レベル ■価値創造レベル



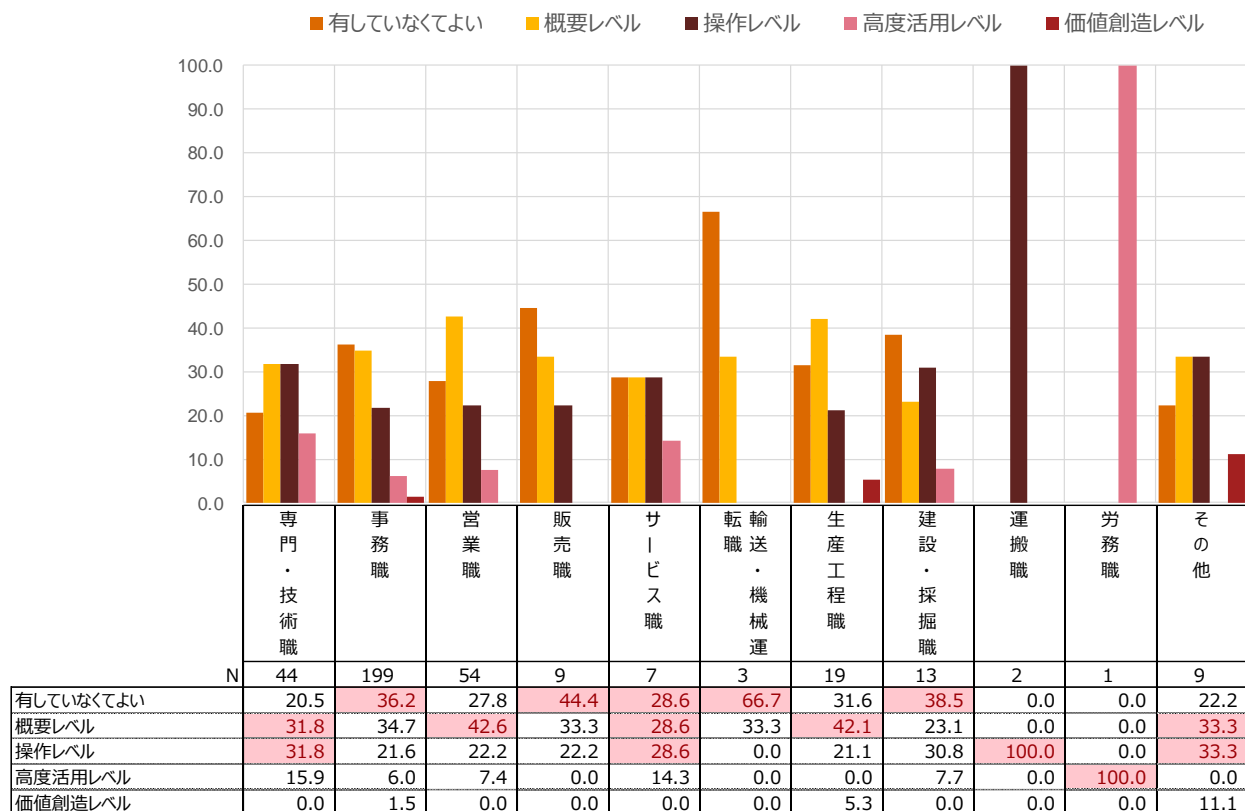
(%)

Ⅲ. 業種別/職種別の集計結果 3. 人材確保方法、従業員育成状況

4) 中途採用者に求める新技術の活用レベル ⑤クラウド【職種別】 2/2

- クラウドに係る中途採用者に求める活用レベルに関する全体的な傾向として「概要レベル」が約4割と最も高く、次いで「有してなくてよい」が約3割と高い傾向にあるのに対し、職種別では営業職及び生産工程職において同様の傾向がみられる。

クラウドに係る中途採用者の活用レベル（職種別）



(%)